



平成28年度 小山町町民意識調査 分析結果まとめ

- 調査方法 : 往復郵便・留置記入方式
(質問と回答が一体となったアンケート用紙に回答を直接記入し、その用紙を返信用封筒でそのまま返信していただく調査方法)
- 調査対象 : 町内在住20歳以上の男女
(町内5地域よりバランスよく無作為抽出)
- 配布票数 : 1,500票
- 調査期間 : 平成28年7月15日 ~ 平成28年8月5日
- 回収結果 : 回収票数565通 ※回収率 37.7%

平成28年12月

目次

ページ

・基本事項集計結果（問1～問5）	1
・後期基本計画の目標（指標）に関する結果一覧表	2
・問6「あなたは今後とも小山町に住み続けたいと思いますか」	3
・問7「あなたは町の施策全般について、どの程度満足していますか」	5
・問8－（1）「自然環境が保全されている」	7
・問8－（2）「清らかで豊かな水資源が守られている」	8
・問8－（3）「ごみの減量化や資源化が進んでいる」	9
・問8－（4）「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした 美しいまちづくりができています」	10
・問8－（5）「安全な水道水が安定供給されている」	11
・問8－（6）「汚水（下水）が適切に処理されている」	12
・問8－（7）「計画的な土地利用が行われている」	13
・問8－（8）「道路網が便利で快適である」	14
・問8－（9）「小山町は快適な公共交通の整備に取り組んでいる」	15
・問8－（10）「誰もが住みやすい住環境が整っている」	16
・問8－（11）「公園・緑地が確保されている」	17
・問8－（12）「町民が地域で互いに支え合って暮らしている」	18
・問8－（13）「みんなが主体的に健康づくりに取り組んでいる」	19
・問8－（14）「必要な時に適切な医療が受けられる」	20
・問8－（15）「地域（近所）において、自身や家族の悩み事などを 真剣に相談できる人間関係が構築されている」	21
・問8－（16）「高齢者が自立していきいきと暮らしている」	22
・問8－（17）「介護が必要な状態になった場合、 適切な公的サービスを受けることができる」	23
・問8－（18）「障がいのある人が社会参加し、自立している」	24
・問8－（19）「安心して子どもを産み育てる環境が整っている」	25
・問8－（20）「地域に安心できる防災の仕組みがある」	26

・問 8－(2 1)「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」	2 7
・問 8－(2 2)「消防・救急体制が整っている」	2 8
・問 8－(2 3)「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」	2 9
・問 8－(2 4)「生涯学習活動の機会や場が充実している」	3 0
・問 8－(2 5)「図書館が便利で使いやすい」	3 1
・問 8－(2 6)「伝統文化や郷土を大切にしている」	3 2
・問 8－(2 7)「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」	3 3
・問 8－(2 8)「みんなが気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」	3 4
・問 8－(2 9)「生きる力を育む学校教育が行われている」	3 5
・問 8－(3 0)「子どもの教育について、 学校・家庭・地域の連携が取れている」	3 6
・問 8－(3 1)「地域間交流や国際交流が活発に行われている」	3 7
・問 8－(3 2)「普段の生活の中で、男女が平等である」	3 8
・問 8－(3 3)「企業誘致を活発に進めている」	3 9
・問 8－(3 4)「小山町が“農業”の活性化に取り組んでいる」	4 0
・問 8－(3 5)「小山町が“林業”の活性化に取り組んでいる」	4 1
・問 8－(3 6)「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」	4 2
・問 8－(3 7)「“金太郎生誕の地おやま”の PR が行われている」	4 3
・問 8－(3 8)「富士山須走口について情報発信が行われている」	4 4
・問 8－(3 9)「賑わいのある商業地づくりを行っている」	4 5
・問 8－(4 0)「周辺市町村との連携が進んでいる」	4 6
・問 8－(4 1)「町の財政運営が健全である」	4 7
・問 8－(4 2)「町民のための行政運営が行われている」	4 8
・問 8－(4 3)「地域コミュニティが活発である」	4 9
・問 8－(4 4)「町民が参加してまちづくりを進めている」	5 0
・問 8－(4 5)「役場からの必要な情報が伝わっている」	5 1

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 基本事項集計結果 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

問1 あなたの性別は。

男性：250人(44%) 女性：310人(55%) 無回答：5人(1%)

問2 あなたの年齢は。

20代：35人(6%) 50代：95人(17%) 80代：4人(1%)
30代：81人(14%) 60代：159人(28%) 無回答：4人(1%)
40代：73人(13%) 70代：114人(20%)

問3 あなたのお住いの地区はどこですか。

成美地区：120人(21%) 北郷地区：183人(32%)
明倫地区：82人(15%) 須走地区：114人(20%)
足柄地区：64人(11%) 無回答：2人(1%)

問4 あなたは現在結婚されていますか。

結婚している(事実婚を含む)：427人(75%)
結婚していない：88人(15%)
結婚していたが、離婚・死別した：49人(9%) 無回答：1人(1%)

問5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(別居を含む)

子どもがいる：441人(78%)
子どもはいない：121人(21%) 無回答：3人(1%)

※各項目の分析について

問6以降の結果について、全体・地区別・男女(年齢)別に分析をしました。なお分析は、第4次小山町総合計画後期基本計画の目標(指標)に関するもの(次頁参照)のみとしています。

今回、同時に調査を行った「男女共同参画について」「結婚支援及び移住・定住施策等について」「健康・子育て・保健事業について」「町からのお知らせに関する情報入手元について」の結果につきましては、それぞれの所管課での事業立案や各種計画の策定に活用されます。

担当・問合せ：小山町 町長戦略課

76-6133

後期基本計画の目標(指標)に関する結果一覧表

後期基本計画の施策(ナンバーとタイトル)		アンケートNo.	町民アンケートによる目標(指標)		H27(前回)	H28(今回)	前回の比較	H31(目標)
1-1	恵まれた環境の保全	問8-(1)	「自然環境が保全されている」と回答する町民の割合		72%	70%	↓	80%
1-2	清らかで豊かな水資源の保全と活用	問8-(2)	「清らかで豊かな水資源が守られている」と回答する町民の割合		83%	84%	↑	90%
1-3	ごみの減量化と適切な処理	問8-(3)	「ごみの減量化や資源化が進んでいる」と回答する町民の割合		47%	61%	↑	70%
1-4	人と自然が調和する景観の形成と環境美化の推進	問8-(4)	「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができている」と回答する町民の割合		45%	48%	↑	70%
1-5	安全な水の安定供給	問8-(5)	「安全な水道水が安定供給されている」と回答する町民の割合		93%	94%	↑	95%
1-6	適切な汚水処理の推進	問8-(6)	「汚水(下水)が適切に処理されている」と回答する町民の割合		62%	62%	→	70%
1-7	活力ある土地利用の推進	問8-(7)	「計画的な土地利用が行われている」と回答する町民の割合		25%	32%	↑	50%
1-8	便利で快適な道路網の整備	問8-(8)	「道路網が便利で快適である」と回答する町民の割合		29%	31%	↑	50%
1-9	公共交通の活性化	問8-(9)	町が「快適な公共交通の整備に取り組んでいる」と回答する町民の割合		18%	26%	↑	50%
1-10	良好な住環境の実現	問8-(10)	「誰もが住みやすい住環境が整っている」と回答する町民の割合		23%	25%	↑	50%
1-11	公園・緑地整備の推進	問8-(11)	「公園・緑地が確保されている」と回答する町民の割合		42%	41%	↓	50%
2-1	地域で支え合う福祉の推進	問8-(12)	「町民が地域で互いに支え合って暮らしている」と回答する町民の割合		59%	51%	↓	65%
2-2	町民主体の健康づくりと地域医療の推進	問8-(13)	「みんなが主体的に健康づくりに取り組んでいる」と回答する町民の割合		33%	40%	↑	50%
2-2	町民主体の健康づくりと地域医療の推進	問8-(14)	「必要な時に適切な医療が受けられる」と回答する町民の割合		46%	46%	→	60%
2-2	町民主体の健康づくりと地域医療の推進(参考)	問8-(15)	「地域(近所)において、自身や家族の悩み事などを真剣に相談できる人間関係が構築されている」と回答する町民の割合		-	25%	-	-
2-3	高齢者福祉の推進	問8-(16)	「高齢者が自立していきいきと暮らしている」と回答する町民の割合		36%	34%	↓	50%
2-4	介護予防事業と介護給付事業の充実	問8-(17)	「介護が必要な状態になった場合、適切な公的サービスを受けることができる」と回答する町民の割合		37%	38%	↑	50%
2-5	障がい者福祉の充実	問8-(18)	「障がいのある人が社会参加し、自立している」と回答する町民の割合		22%	27%	↑	50%
2-6	子ども・子育て支援の充実	問8-(19)	「安心して子どもを育てる環境が整っている」と回答する町民の割合		42%	44%	↑	50%
2-7	災害に強いまちづくり	問8-(20)	「地域に安心できる防災の仕組みがある」と回答する町民の割合		51%	53%	↑	60%
2-8	交通事故・犯罪のないまちづくり	問8-(21)	「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」と回答する町民の割合		72%	71%	↓	80%
2-9	消防・救急対策の推進	問8-(22)	「消防・救急体制が整っている」と回答する町民の割合		70%	77%	↑	80%
2-10	消費者教育の推進	問8-(23)	「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」と回答する町民の割合		66%	69%	↑	80%
3-1	心豊かな生涯学習の推進	問8-(24)	「生涯学習活動の機会や場が充実している」と回答する町民の割合		44%	49%	↑	50%
3-1	心豊かな生涯学習の推進	問8-(25)	「図書館が便利で使いやすい」と回答する町民の割合		42%	42%	→	50%
3-2	地域文化の振興と健全な青少年の育成	問8-(26)	「伝統文化や郷土を大切にしている」と回答する町民の割合		65%	54%	↓	70%
3-2	地域文化の振興と健全な青少年の育成	問8-(27)	「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」と回答する町民の割合		64%	65%	↑	70%
3-3	スポーツ・レクリエーション活動の振興	問8-(28)	「みんなが気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」と回答する町民の割合		37%	43%	↑	50%
3-4	生きる力を育む学校教育の充実	問8-(29)	「生きる力を育む学校教育が行われている」と回答する町民の割合		44%	44%	→	50%
3-4	生きる力を育む学校教育の充実	問8-(30)	「子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている」と回答する町民の割合		51%	47%	↓	55%
3-5	地域間交流・国際交流の推進	問8-(31)	「地域間交流や国際交流が活発に行われている」と回答する町民の割合		27%	33%	↑	50%
3-6	誰もが活躍できる男女共同参画の推進	問8-(32)	「普段の生活の中で、男女が平等である」と回答する町民の割合		46%	46%	→	55%
3-7	三来拠点事業の推進	問8-(33)	「企業誘致を活発に進めている」と回答する町民の割合		30%	42%	↑	50%
3-8	活気ある農業の振興	問8-(34)	「小山町が“農業”の活性化に取り組んでいる」と回答する町民の割合(H27の数値は参考値)		24%	35%	↑	50%
3-9	適切な森林整備を通じた林業の活性化	問8-(35)	「小山町が“林業”の活性化に取り組んでいる」と回答する町民の割合(H27の数値は参考値)		24%	25%	↑	50%
3-10	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興(参考)	問8-(36)	「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」と回答する町民の割合		-	20%	-	-
3-10	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興(参考)	問8-(37)	「“金太郎生誕の地おやま”のPRが行われている」と回答する町民の割合		-	47%	-	-
3-10	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興(参考)	問8-(38)	「富士山須走口について情報発信が行われている」と回答する町民の割合		-	32%	-	-
3-11	賑わいと活気があふれる商工業の振興	問8-(39)	「賑わいのある商業地づくりを行っている」と回答する町民の割合		6%	9%	↑	50%
3-12	定住・移住の促進と婚活支援		—(総合戦略に掲げる指標のみ)					
4-1	広域連携の推進	問8-(40)	「周辺市町村との連携が進んでいる」と回答する町民の割合		23%	26%	↑	50%
4-2	健全な財政運営の確立	問8-(41)	「町の財政運営が健全である」と回答する町民の割合		28%	29%	↑	50%
4-3	効率的な行政運営の推進	問8-(42)	「町民のための行政運営が行われている」と回答する町民の割合		30%	35%	↑	50%
4-4	参加と協働によるまちづくり	問8-(43)	「地域コミュニティが活発である」と回答する町民の割合		29%	33%	↑	50%
4-4	参加と協働によるまちづくり	問8-(44)	「町民が参加してまちづくりを進めている」と回答する町民の割合		28%	29%	↑	50%
4-4	参加と協働によるまちづくり	問8-(45)	「役場からの必要な情報が伝わっている」と回答する町民の割合		56%	53%	↓	70%

●アンケート実施期間：平成28年7月15日～平成28年8月5日

●アンケート発送数：1,500通 ⇒ 回収数：565通(最終便の到達は8月16日) ⇒ 回収率：37.7%

●前回よりも評価が上がったもの(↑)：28件

横ばいなもの(→)：5件

下がったもの(↓)：8件

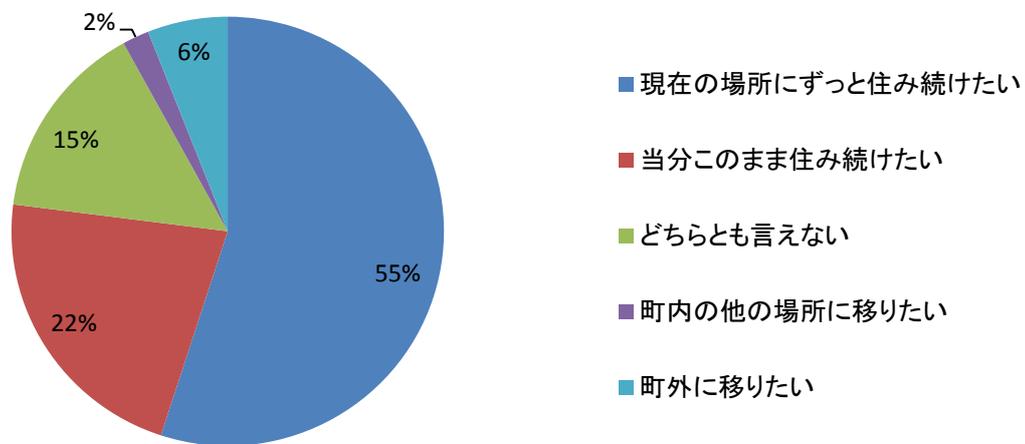
判定対象外(-)：4件

問6 「あなたは今後とも小山町に住み続けたいと思いますか。」

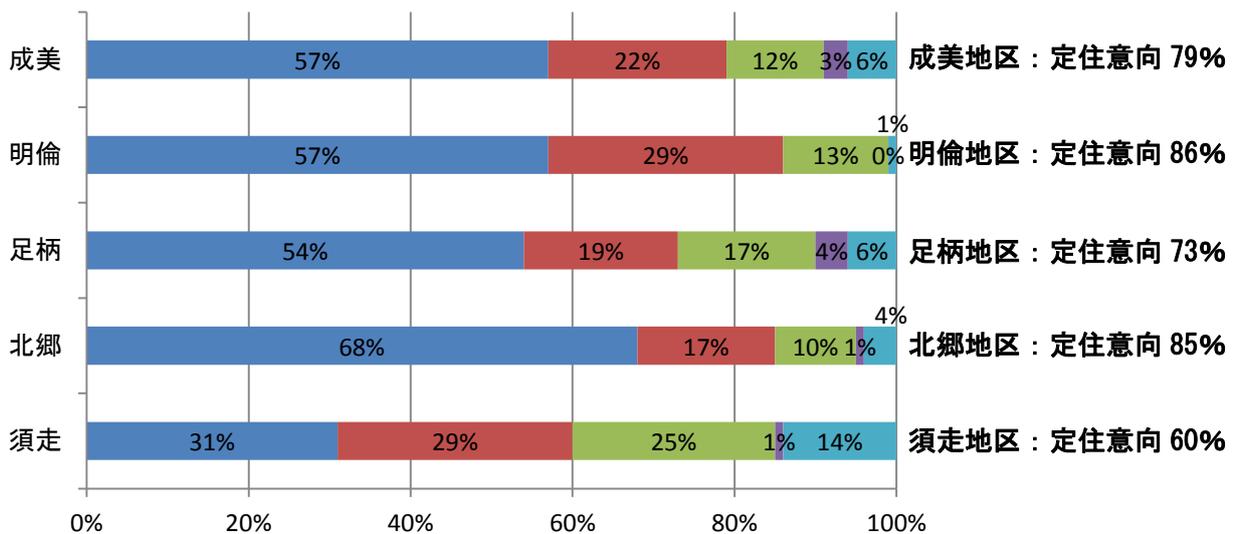
定住意向がある人の割合 ⇒ 77%

今回の調査で、「現在の場所にずっと住み続けたい」及び「当分このまま住み続けたい」と回答した町民の割合を、「今後とも小山町に住み続けたい」という“定住意向”がある人の割合とします。

上記の数値は、前回の74.5%から今回の77%に2.5%増加しています。全体の結果は、以下のグラフのとおりです。



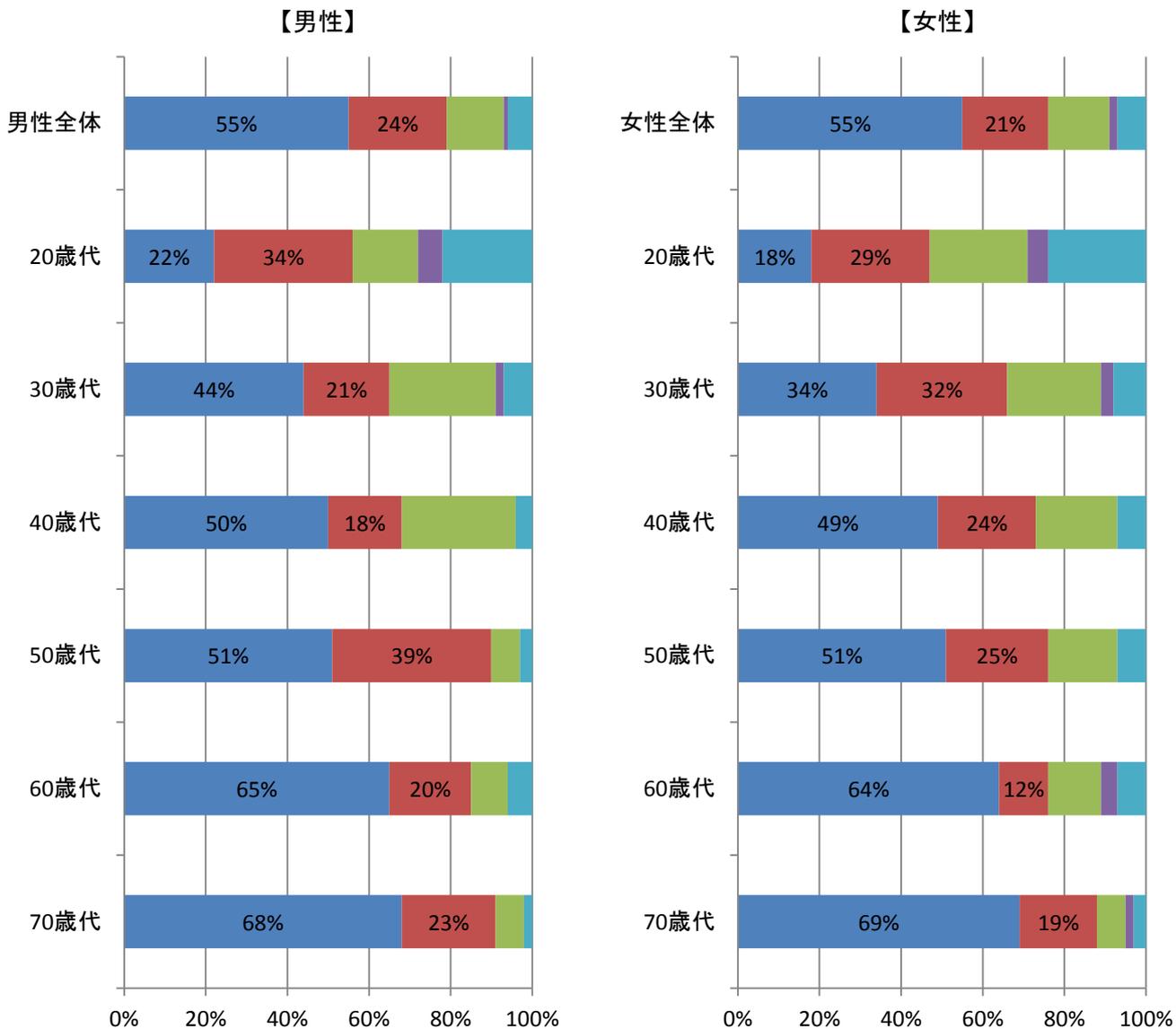
次に、地区別の結果を以下に示します。



須走を除く4地区での定住意向が強く、特に明倫地区と北郷地区における定住意向の高さが目立ちます。また、北郷地区においては、定住意向85%のうち、実に68%の方が“現在の場所にずっと住み続けたい”と回答しています。

次に男女別（年齢別）を比較します。

※今回の調査では、男女とも 80 歳以上の方の回答が非常に少なかったため、全ての設問における年齢別比較においては、70 歳代までの方の回答でグラフ作成及び比較を行っています。



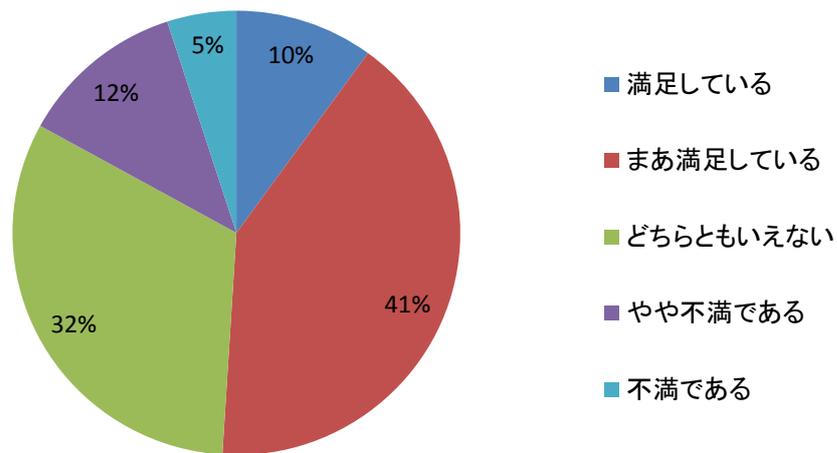
男女ともに年齢を重ねるごとに定住意向が強まる傾向にあるため、どちらも似た傾向を示すグラフ構成となっています。しかし、男女問わず、若者（特に 20 歳代）の定住意向が非常に低く、特に 20 歳代女性に至っては、定住意向は 50%を下回っています。また、男女別で比較すると、男性の方が定住意向はやや高い傾向にあります。

問7 「あなたは町の施策全般について、どの程度満足していますか。」

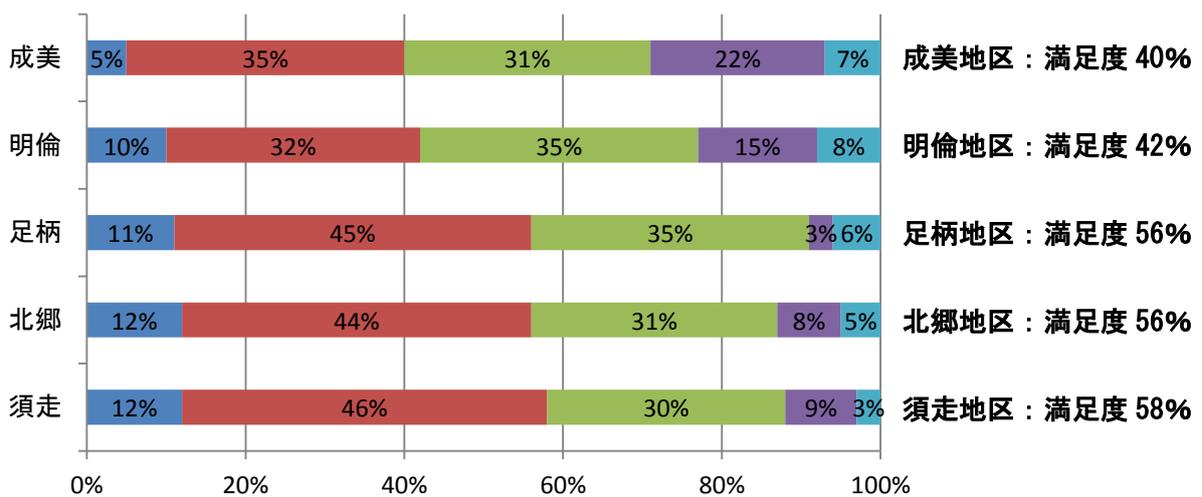
施策全般に満足している人の割合 ⇒ **51%**

（ 今回の調査で、「満足している」及び「まあ満足している」と回答した町民の割合を、町の施策全般に満足している人の割合とします。 ）

上記の数値は、前回の42%から今回の51%に9%増加しています。全体の結果は以下のグラフのとおりです。

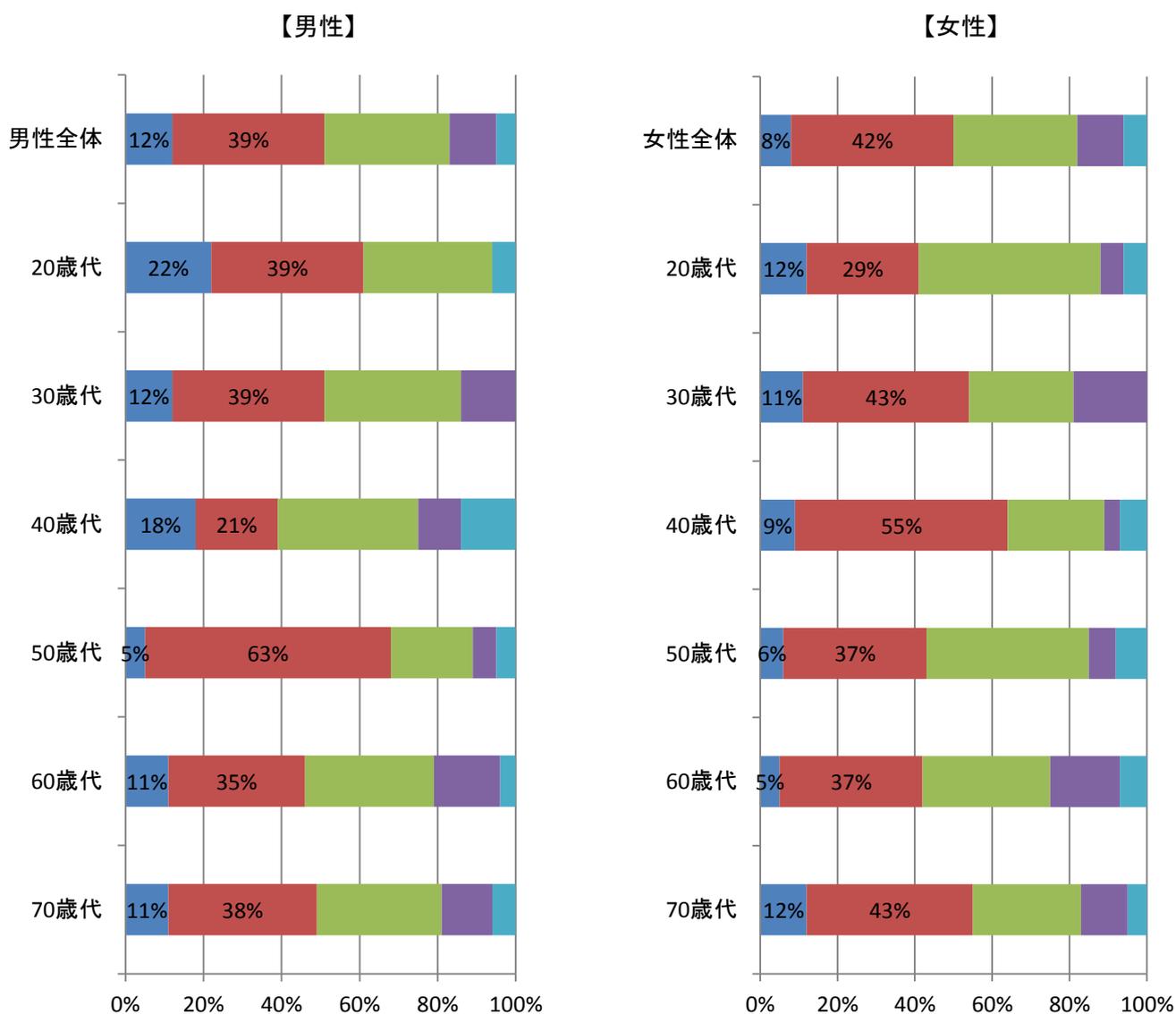


町の施策全般に満足している人の割合は51%となっていますが、その内41%が「まあ満足している」と回答した方々です。また、「どちらともいえない」と回答した方が32%と多い傾向にあります。次に、地区別の結果を以下に示します。



地区別で比較すると、成美地区と明倫地区において、町の施策全般に満足している人の割合が低い結果となっています。

次に男女別（年齢別）を比較します。



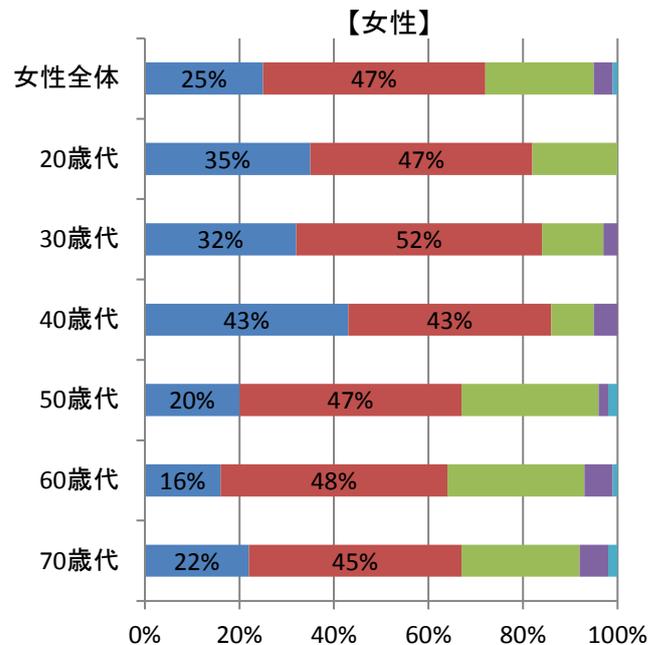
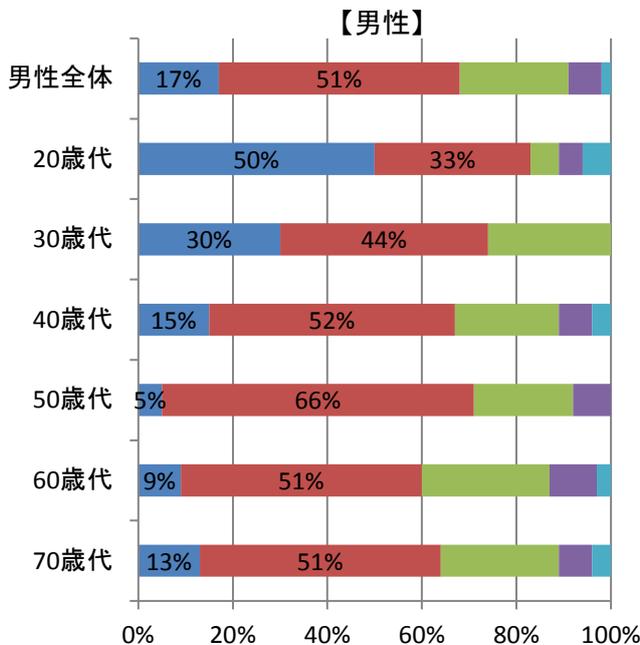
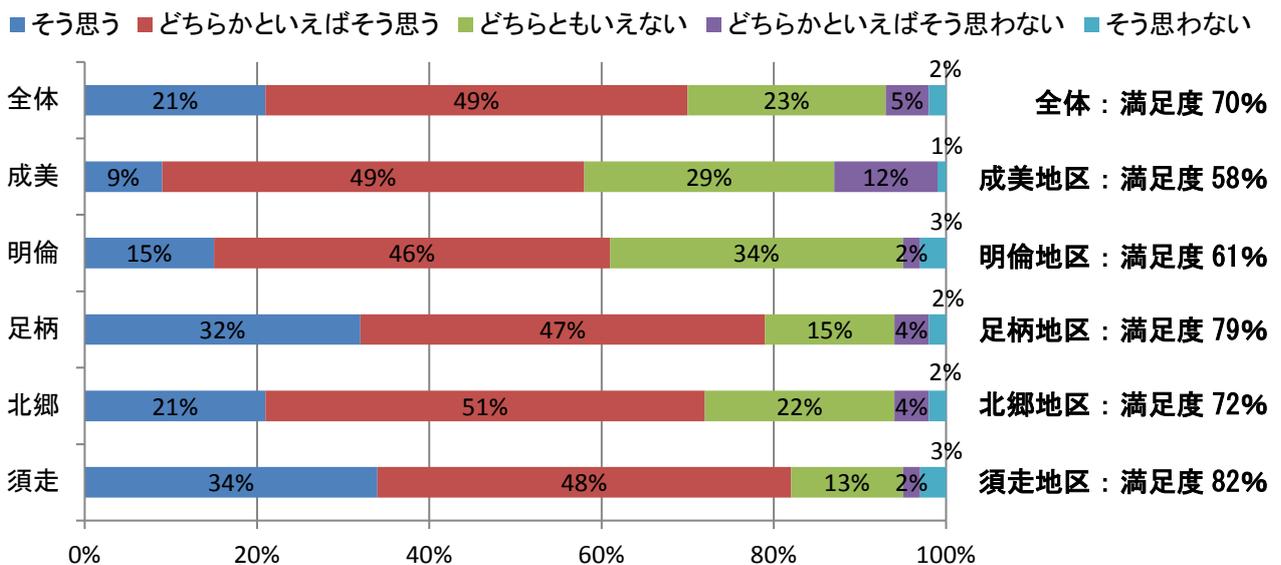
男女（年齢）別の比較ではかなりばらつきがありますが、男性は50歳代、女性は40歳代で最も高い満足度を示しています。

※問8の全ての質問において、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合を『町民の満足度』としています。

問8－(1) 「自然環境が保全されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 70%

上記の値は、前回の72%から今回の70%に2%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

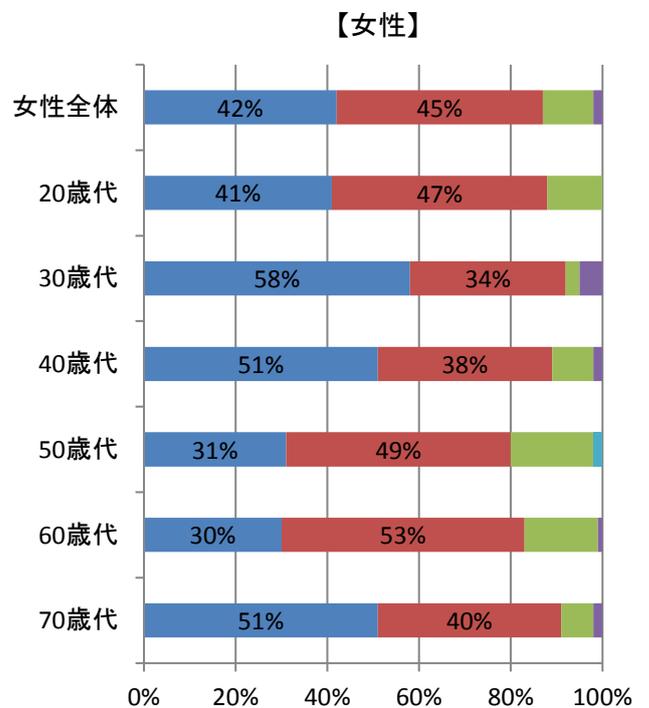
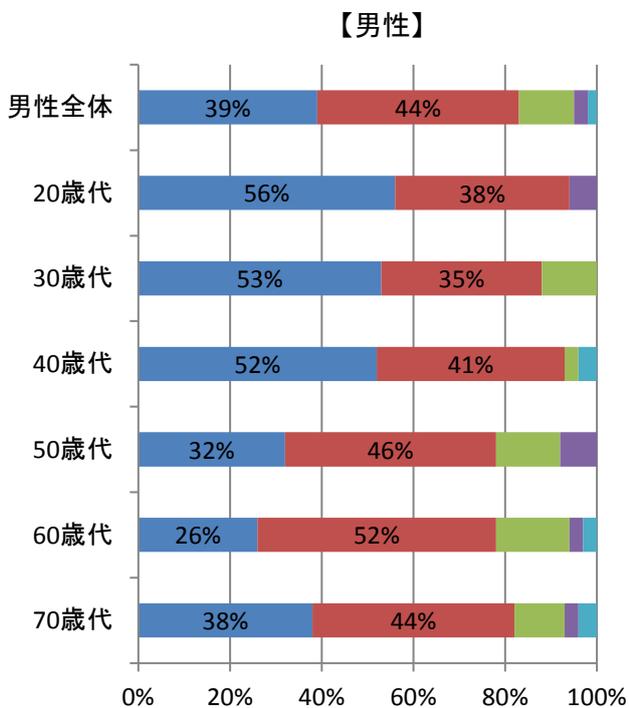
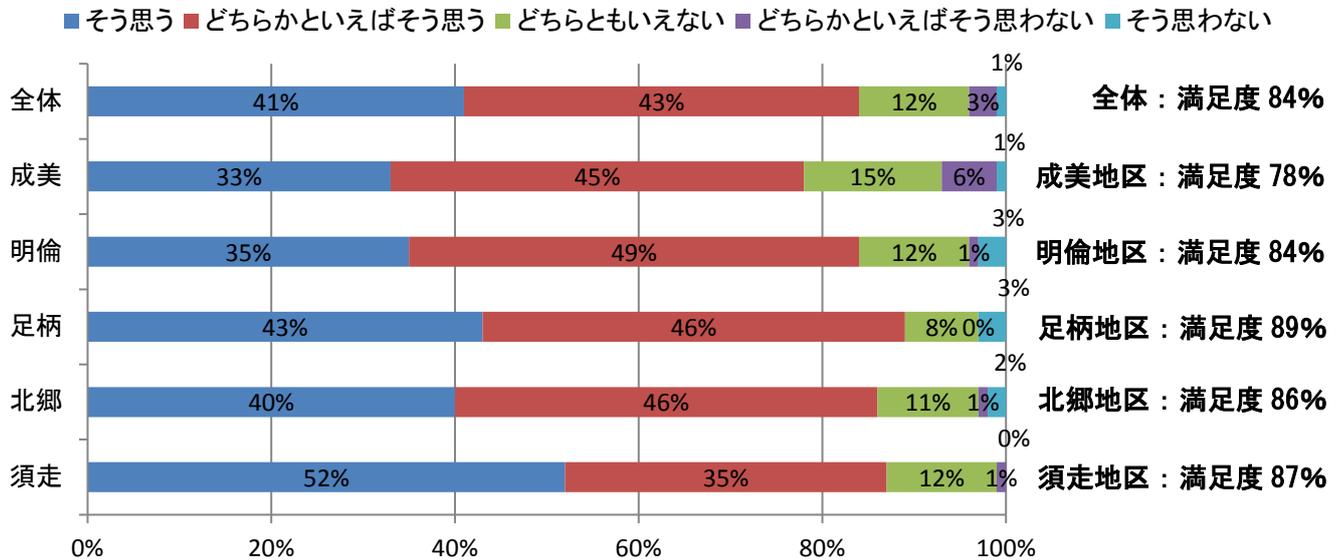


地区別で比較すると、須走地区の満足度が82%と最も高く、次いで足柄地区が79%となっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに高齢になるにつれて満足度が少しずつ減少していく傾向にあります。

問8－(2) 「清らかで豊かな水資源が守られている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **84%**

上記の値は、前回の83%から今回の84%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

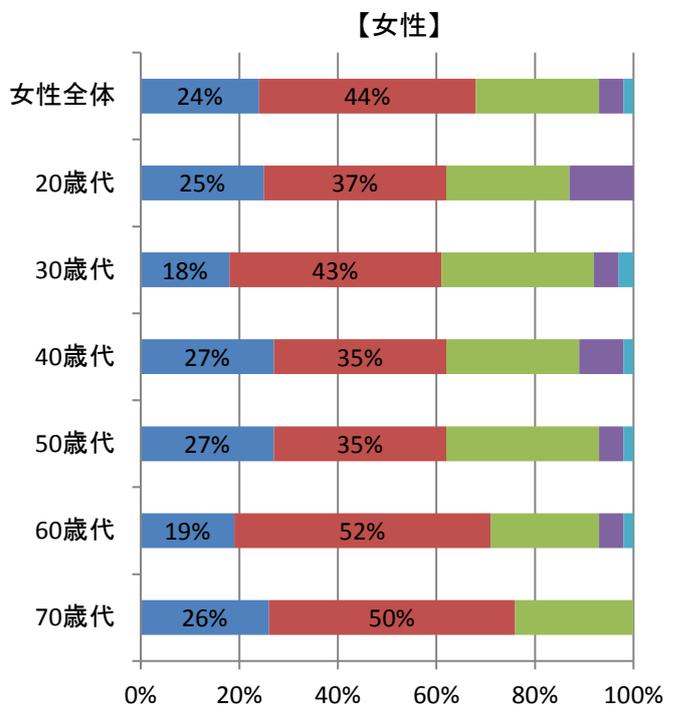
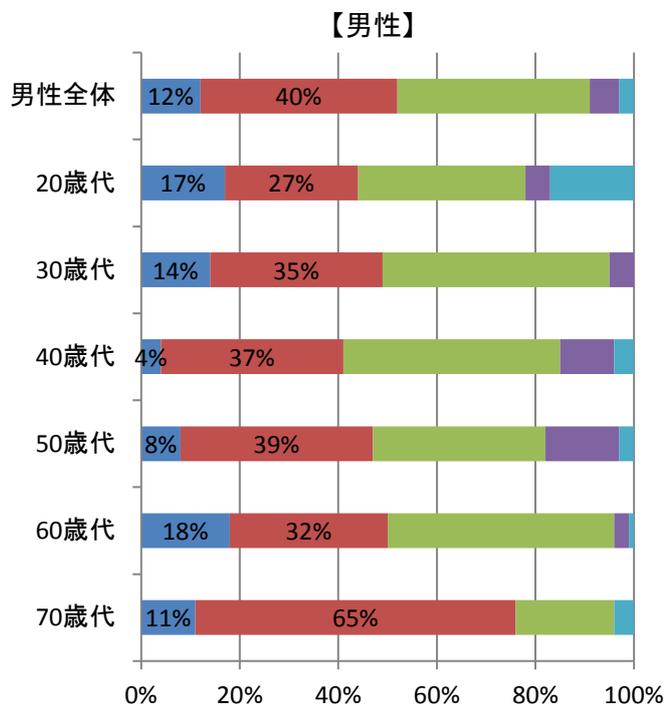
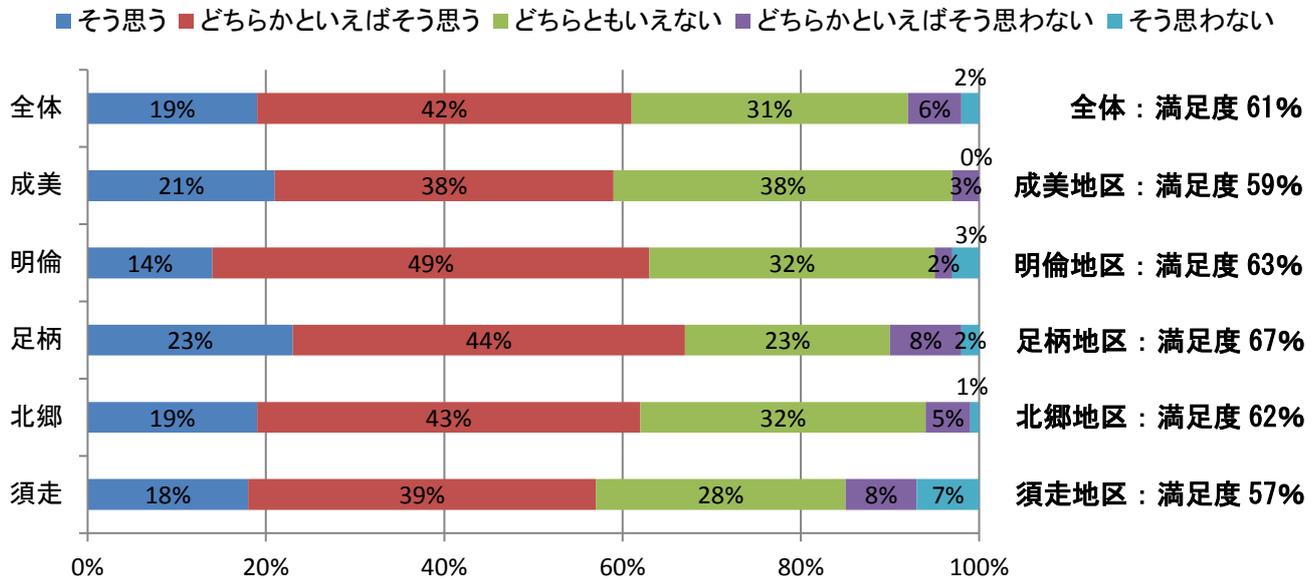


この質問に関しては、男女の別を問わず全ての地区及び世代で高い満足度となっています。ただし、全ての集計において「どちらかといえばそう思う」を選んでいる人の割合が高い傾向があります。

問 8 - (3) 「ごみの減量化や資源化が進んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **61%**

上記の値は、前回の47%から今回の61%に14%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は以下のグラフのとおりです。

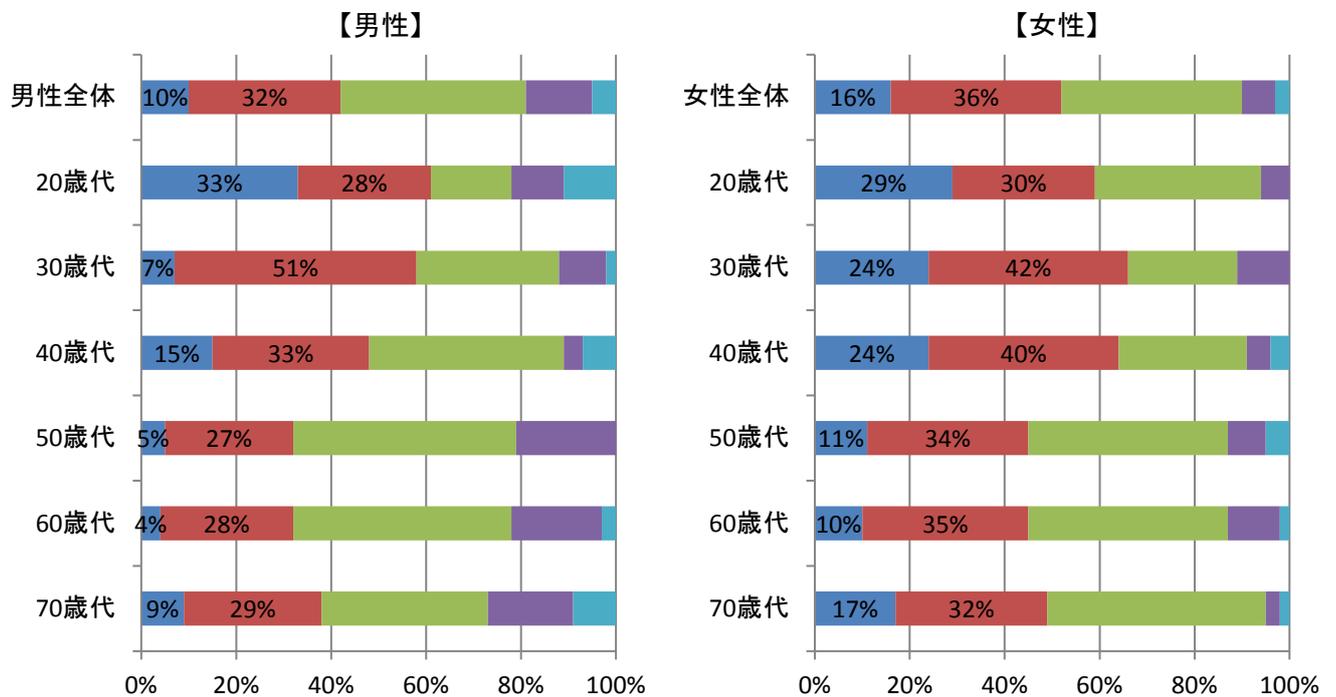
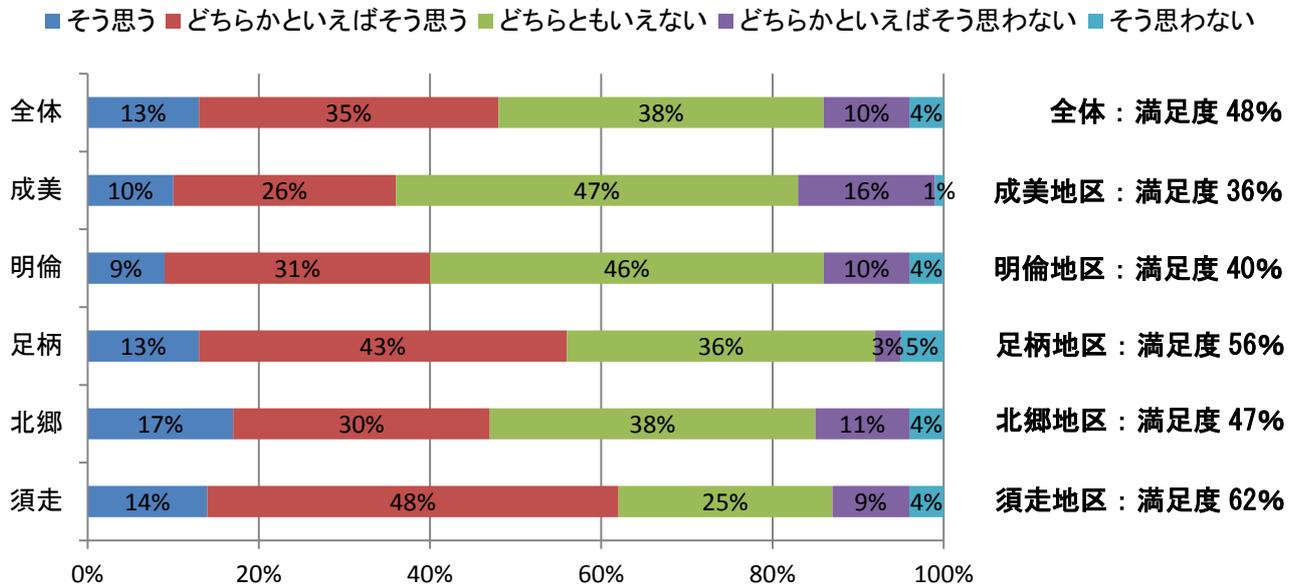


地区別での比較に大きな差はありませんが、足柄地区の満足度がやや高い傾向にあります。また、男女（年齢）別の比較では、圧倒的に女性の満足度が高く、特に40歳代以上の女性の満足度が高いです。また、男性は40歳代以降、年齢を重ねるごとに満足度が増加していく傾向が見られます。

問 8 - (4) 「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができています」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **48%**

上記の値は、前回の45%から今回の48%に3%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



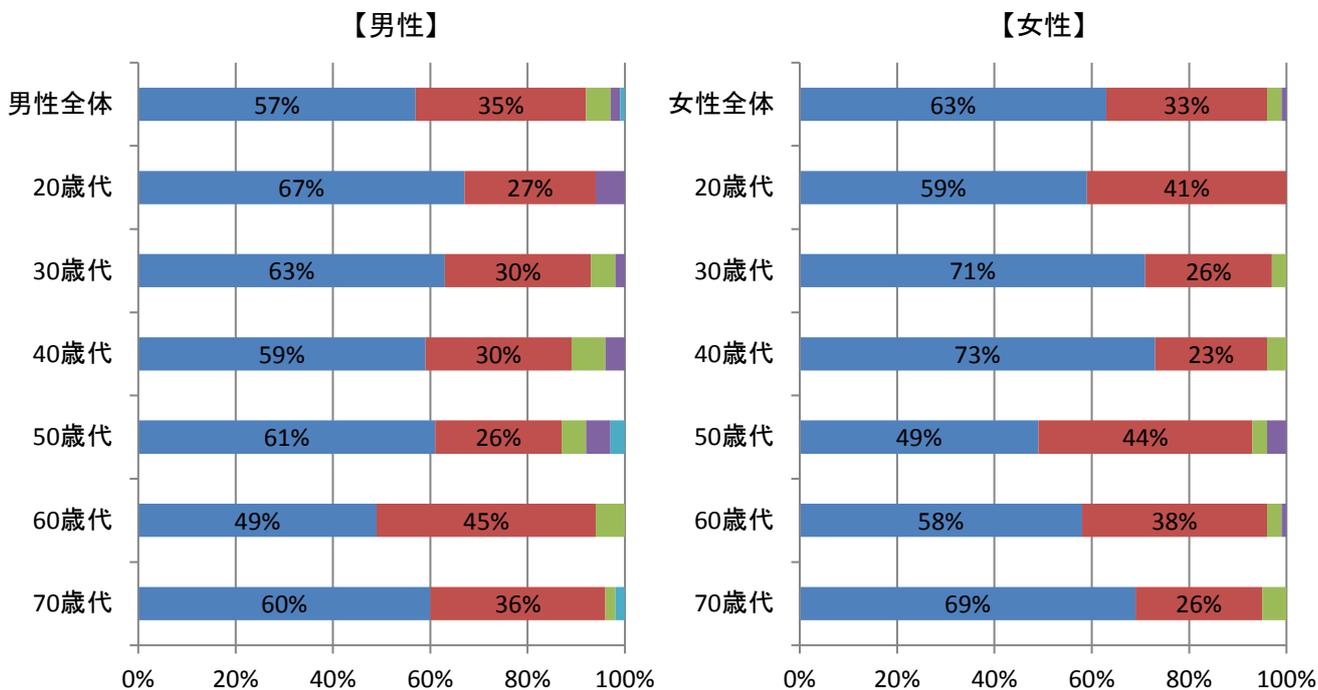
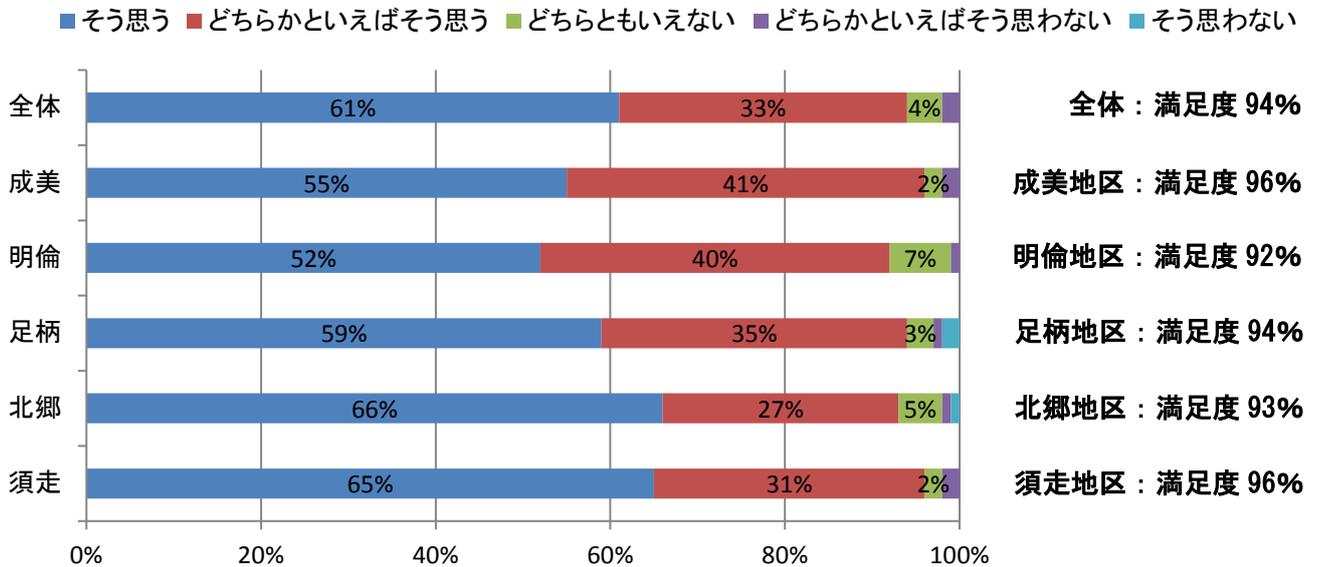
全体としての満足度は48%となっていますが、地区別での比較では、須走地区と足柄地区の満足度が高く、成美地区と明倫地区が低い結果となっています。

また、男女ともに、若い世代はある程度の満足度を示していますが50歳代以降の満足度が低い傾向にあり、特に男性の50歳代と60歳代の満足度は、他の年代に比べて低い値を示しています。

問8－(5) 「安全な水道水が安定供給されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **94%**

上記の値は、前回の93%から今回の94%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

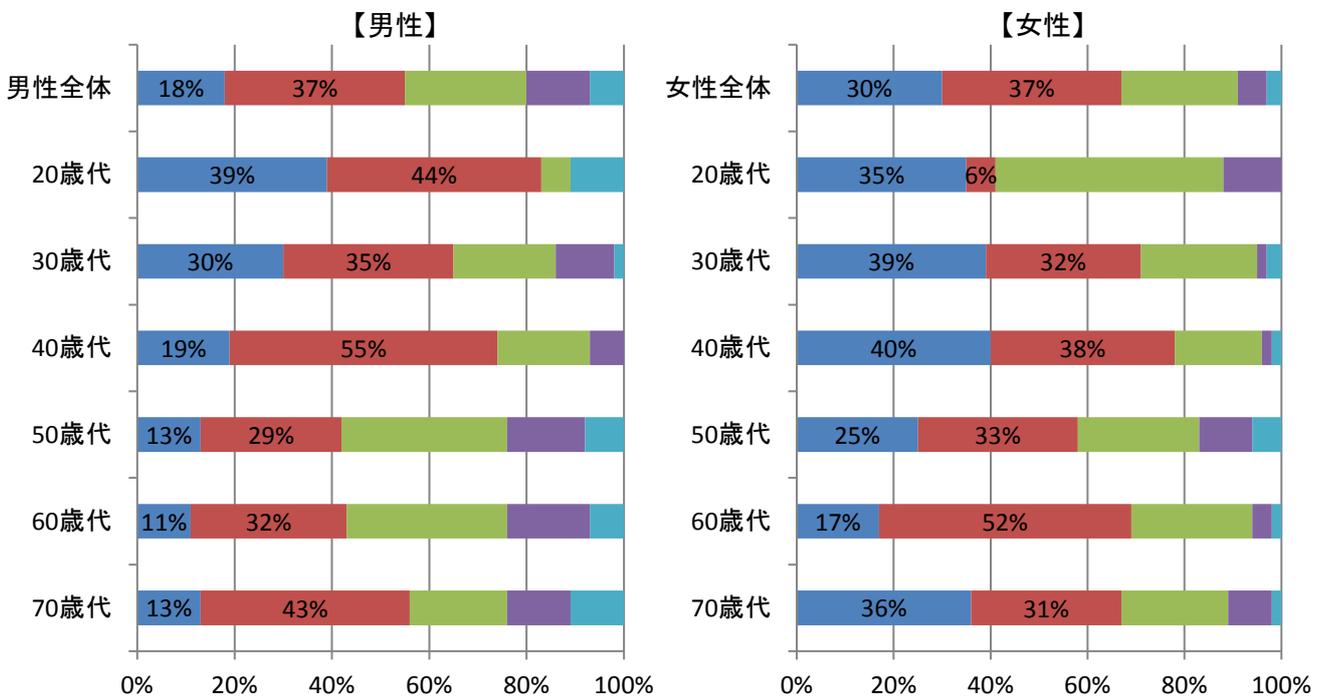
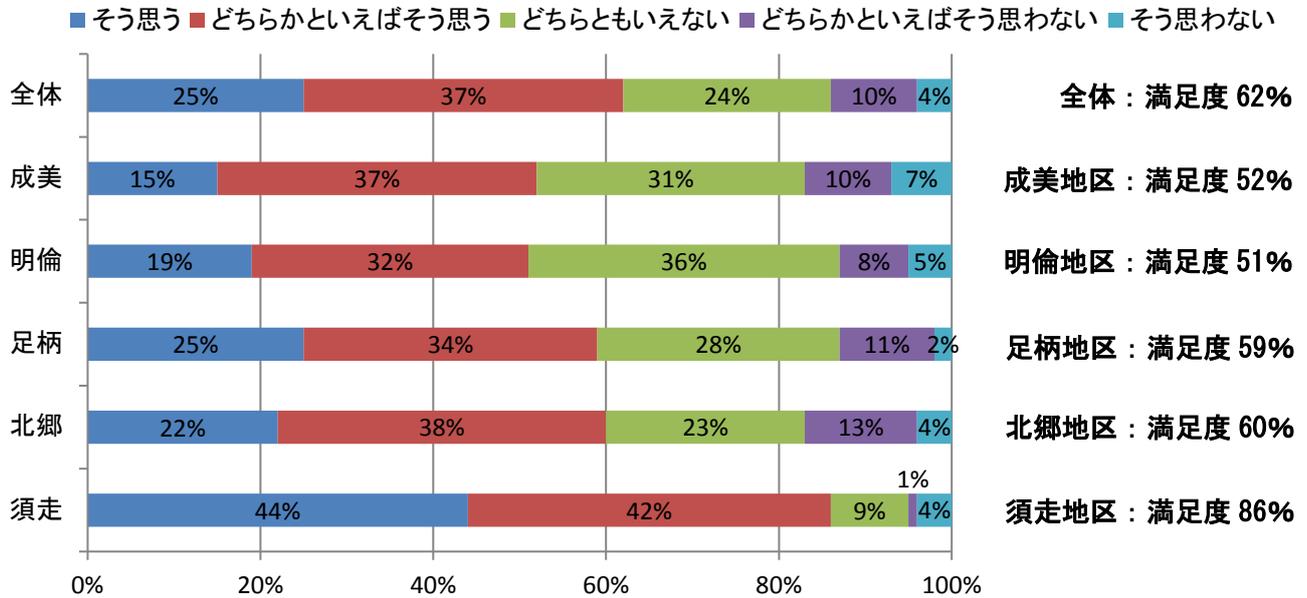


この質問に関しては、男女の別を問わず全ての地区及び世代で高い満足度となっています。

問8－(6) 「汚水（下水）が適切に処理されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 62%

上記の値は、前回調査時と同様の62%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

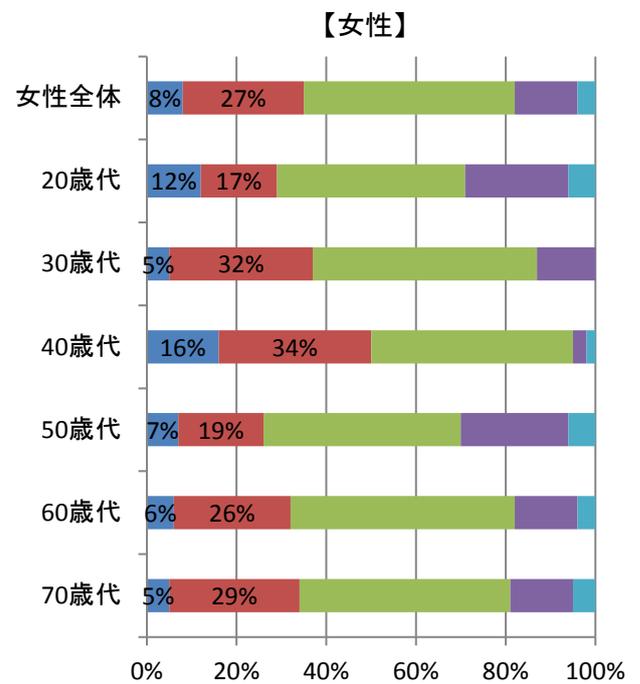
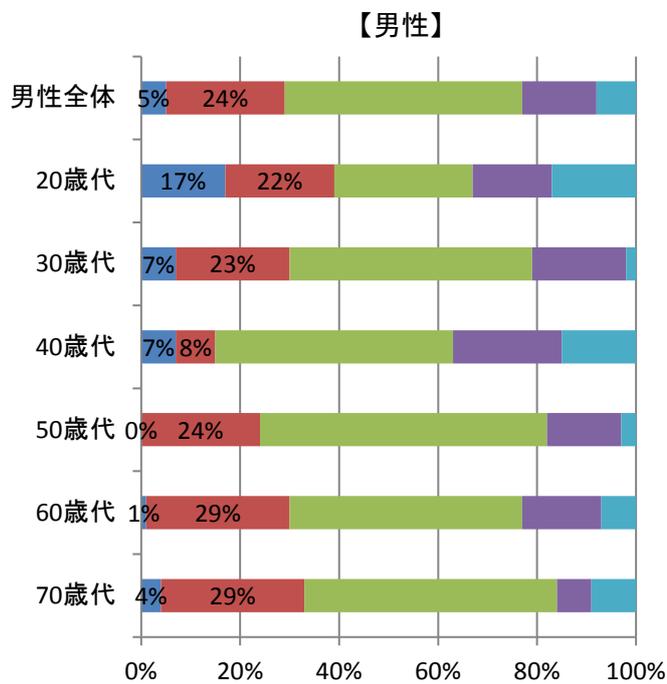
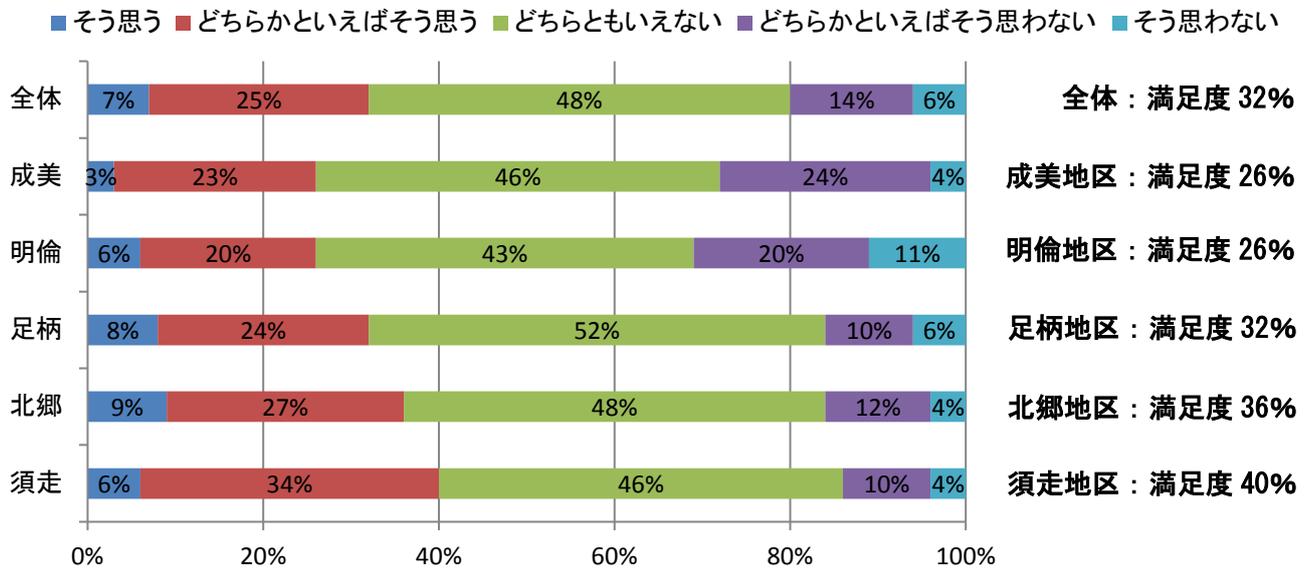


地区別での比較では、下水道処理施設が整備されている須走地区での満足度は非常に高くなっています。また、須走地区以外の4地区においては、特に成美地区と明倫地区の満足度が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、女性の方が、やや満足度が高い傾向にあります。

問8－(7) 「計画的な土地利用が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **32%**

上記の値は、前回の25%から今回の32%に7%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

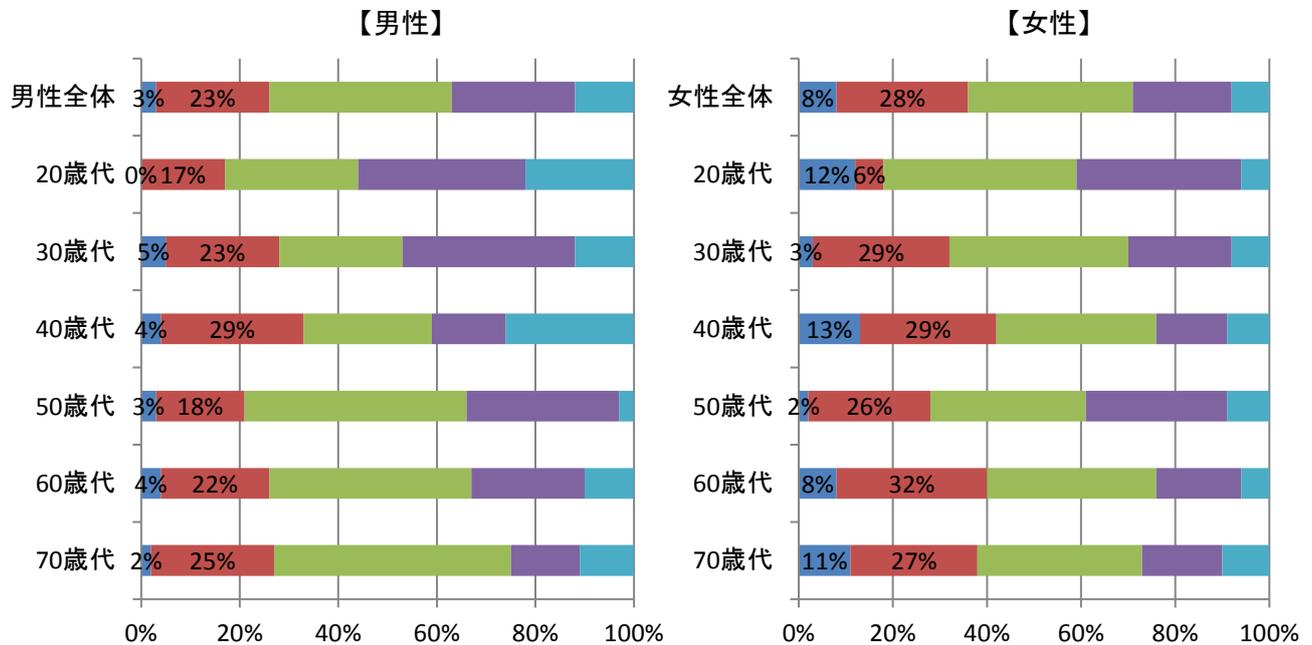
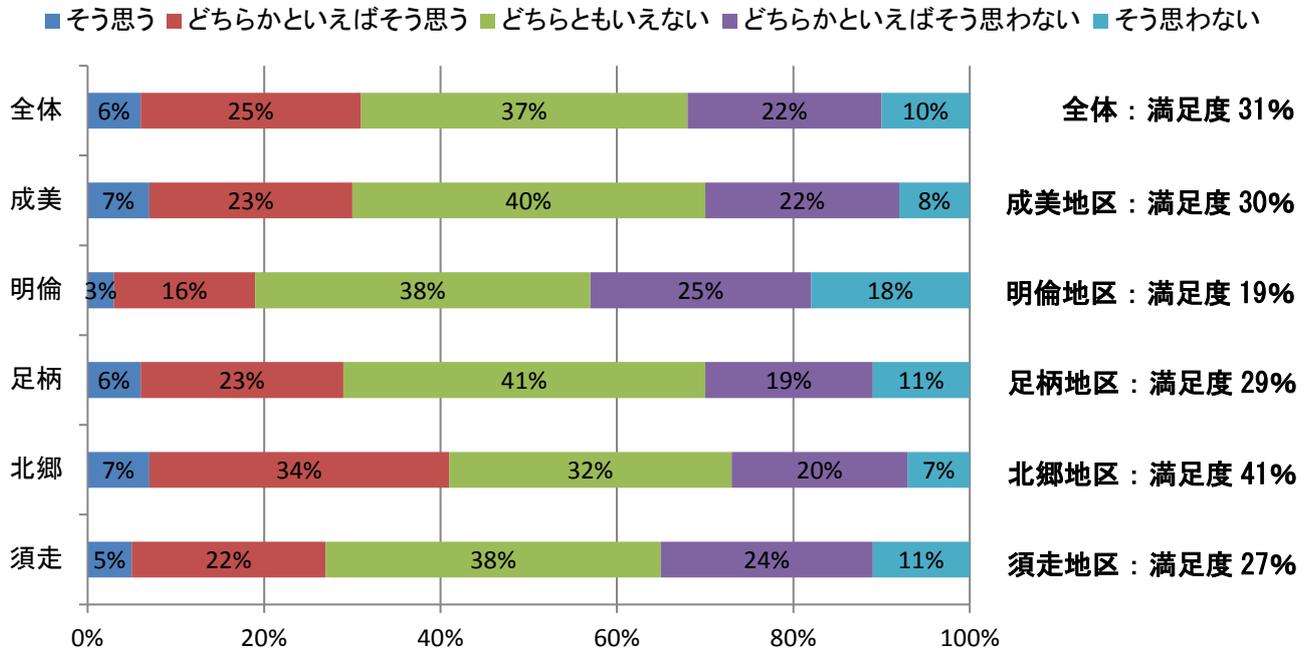


地区別での比較では、須走地区の満足度がやや高く、成美地区と明倫地区の満足度は低いです。また、全ての地区に共通して「どちらともいえない」と回答する人の割合が、かなり高い傾向が見られます。

問8－(8) 「道路網が便利で、快適である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 31%

上記の値は、前回の29%から今回の31%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

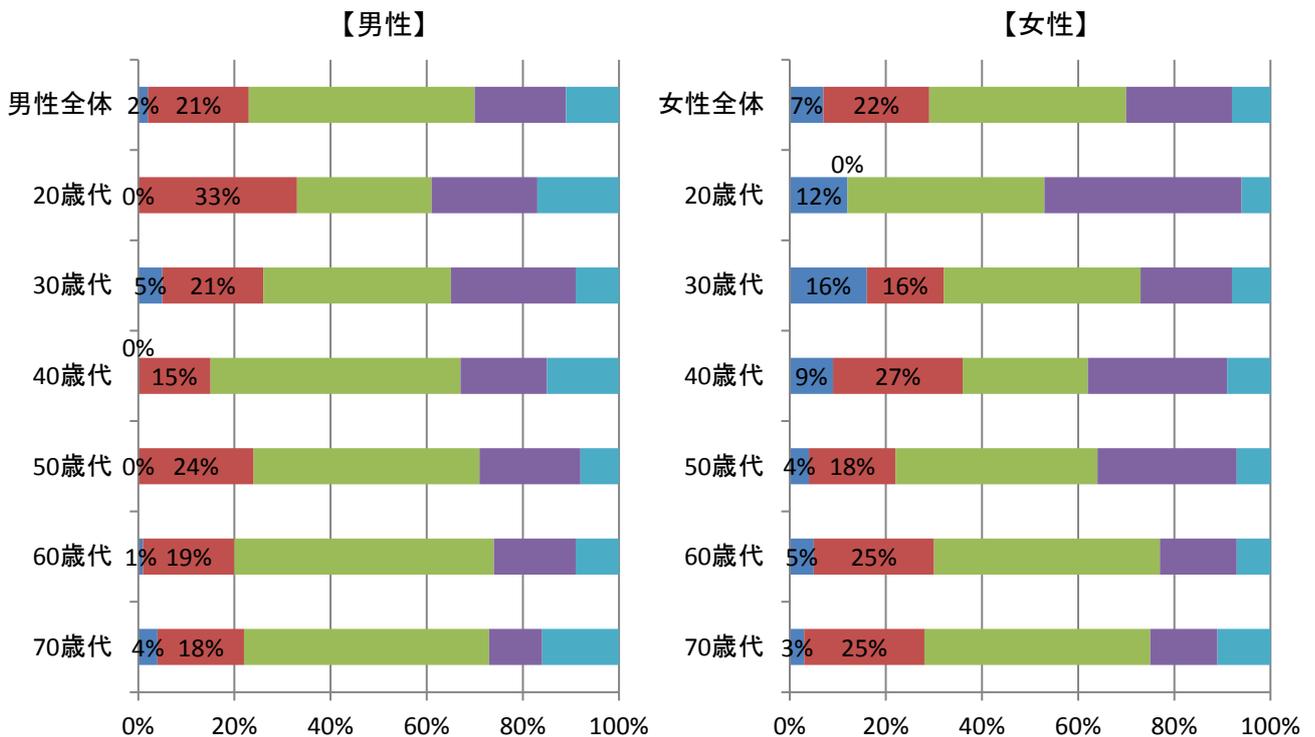
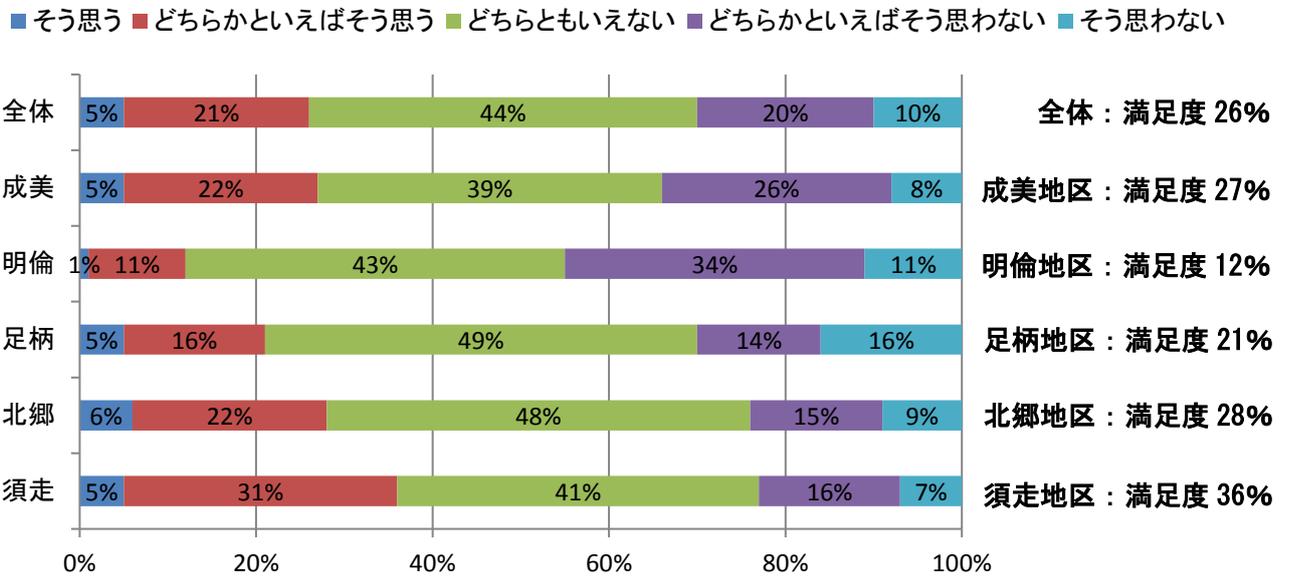


地区別の比較では、北郷地区の満足度がやや高く、明倫地区の満足度はかなり低くなっています。男女（年齢）別の比較では、満足度の違いはありますが、どちらも同じ傾向を示すグラフ構成となっています。

問 8 - (9) 「小山町は快適な公共交通の整備に取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 26%

上記の値は、前回の18%から今回の26%に8%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

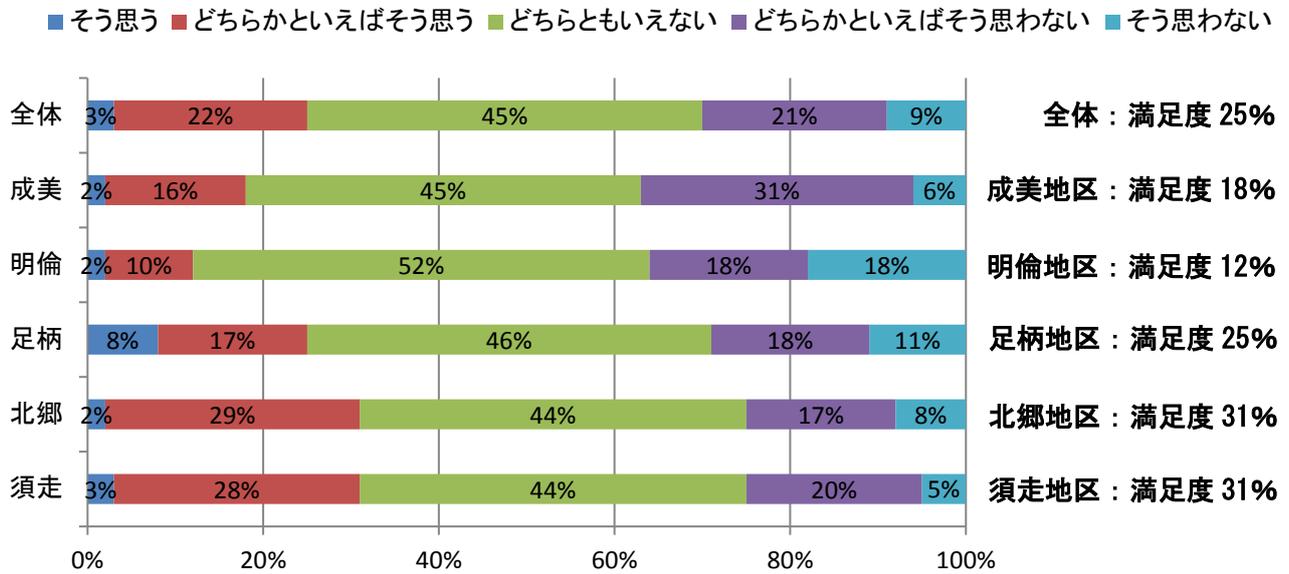


全体では26%の満足度となっていますが、地区別には大きな差があり、特に明倫地区の満足度はかなり低いです。また、男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が高い満足度を示しています。特に、60歳代と70歳代においては明らかに女性の方が高い値となっています。

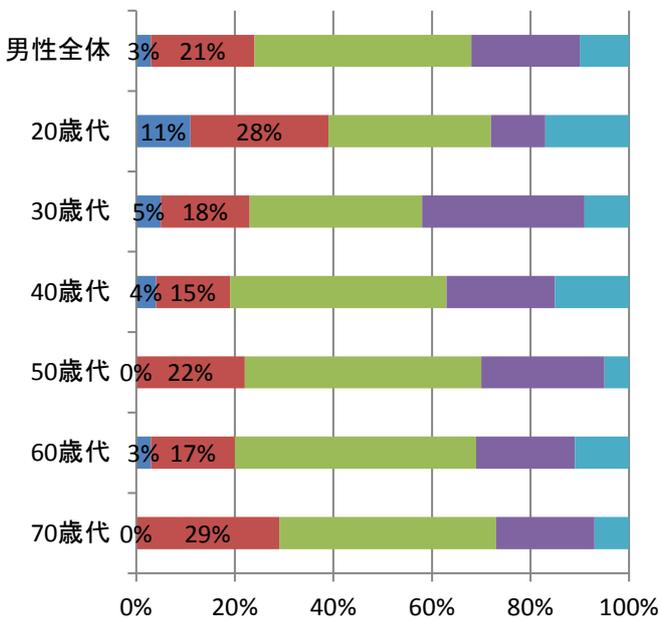
問 8 - (1 0) 「誰もが住みやすい住環境が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 25%

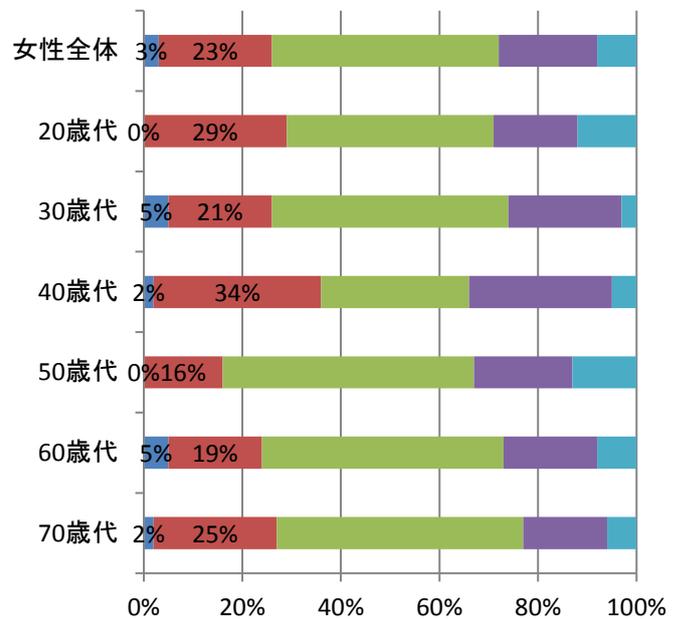
上記の値は、前回の23%から今回の25%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

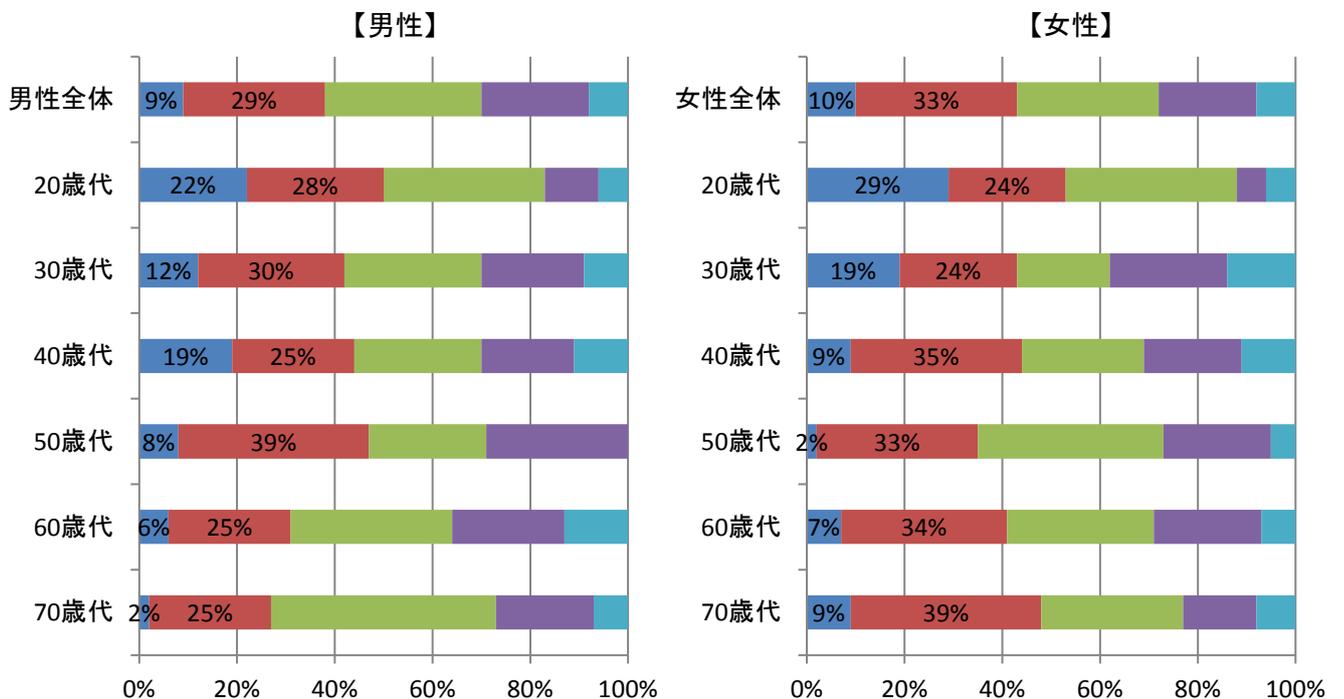
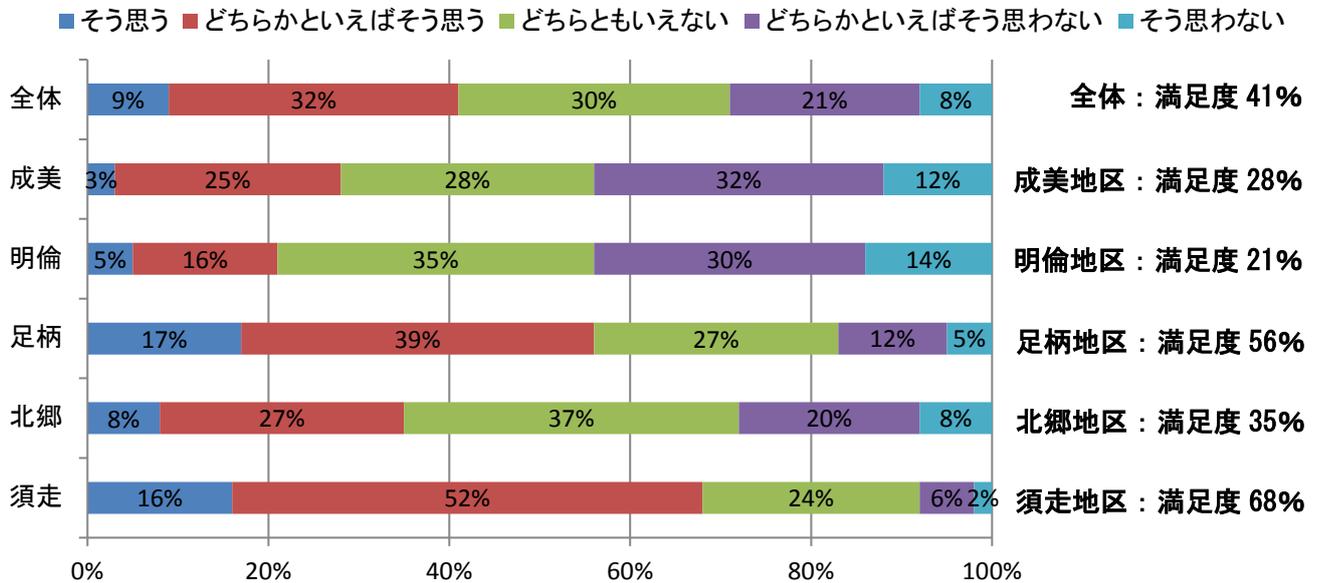


全体としての満足度は25%と低い値となっていて、中でも成美地区と明倫地区の満足度が低い傾向にあります。男女（年齢）別の比較では、どちらも全体的に満足度は低く、特に50歳代女性の満足度がかなり低くなっています。

問 8 - (1 1) 「公園・緑地が確保されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 41%

上記の値は、前回の42%から今回の41%に1%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

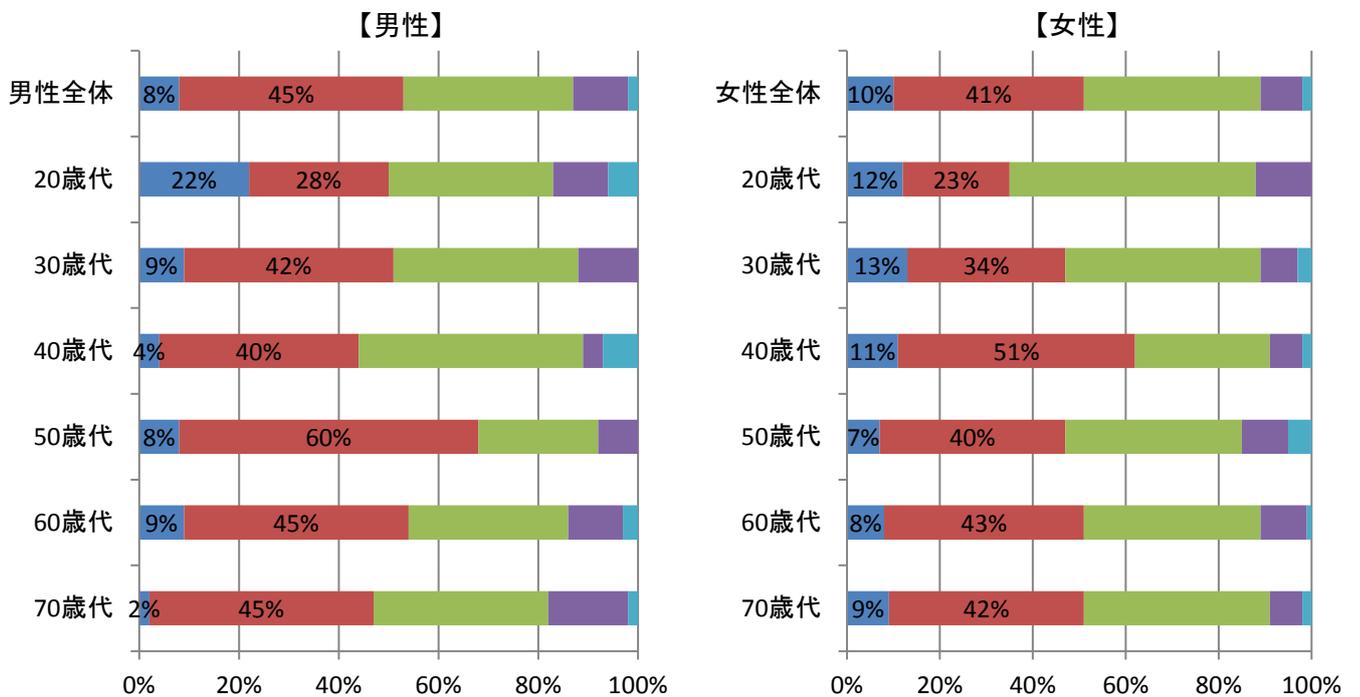
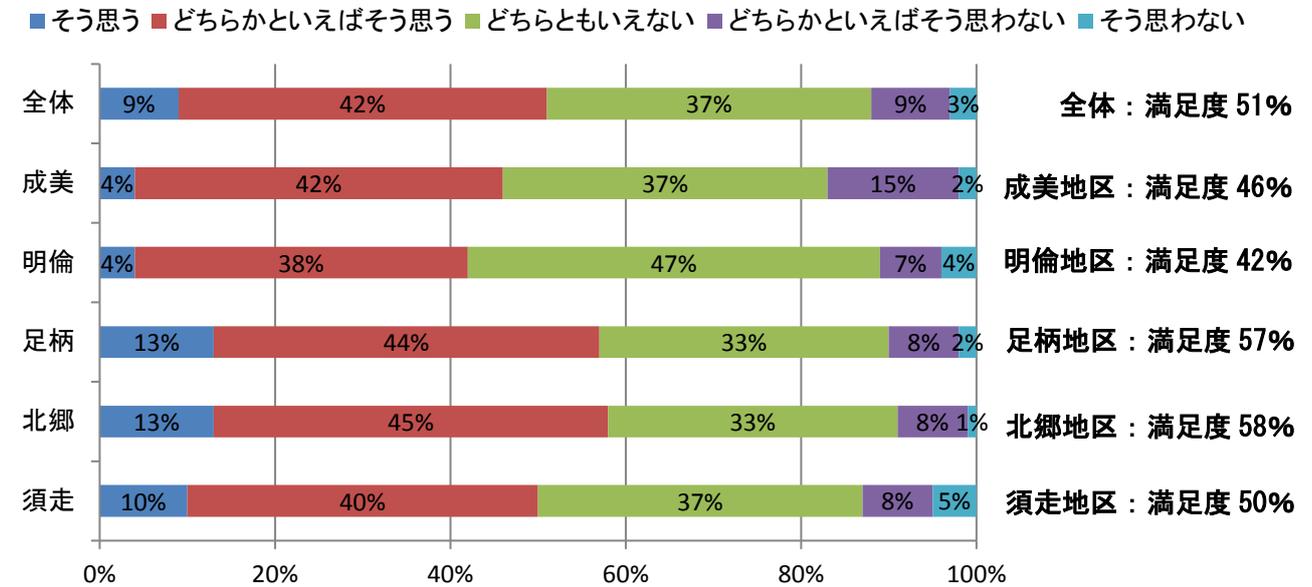


全体の満足度は41%ですが、地域毎で大きな差が出ています。須走地区と足柄地区での満足度はかなり高いですが、成美地区と明倫地区の満足度が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、女性は全体的に40%前後の満足度となっていますが、男性の60歳代と70歳代が低い傾向にあります。また、男女ともに20歳代での満足度がやや高いことも特徴です。

問8－(12) 「町民が地域で互いに支え合って暮らしている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 51%

上記の値は、前回の59%から今回の51%に8%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

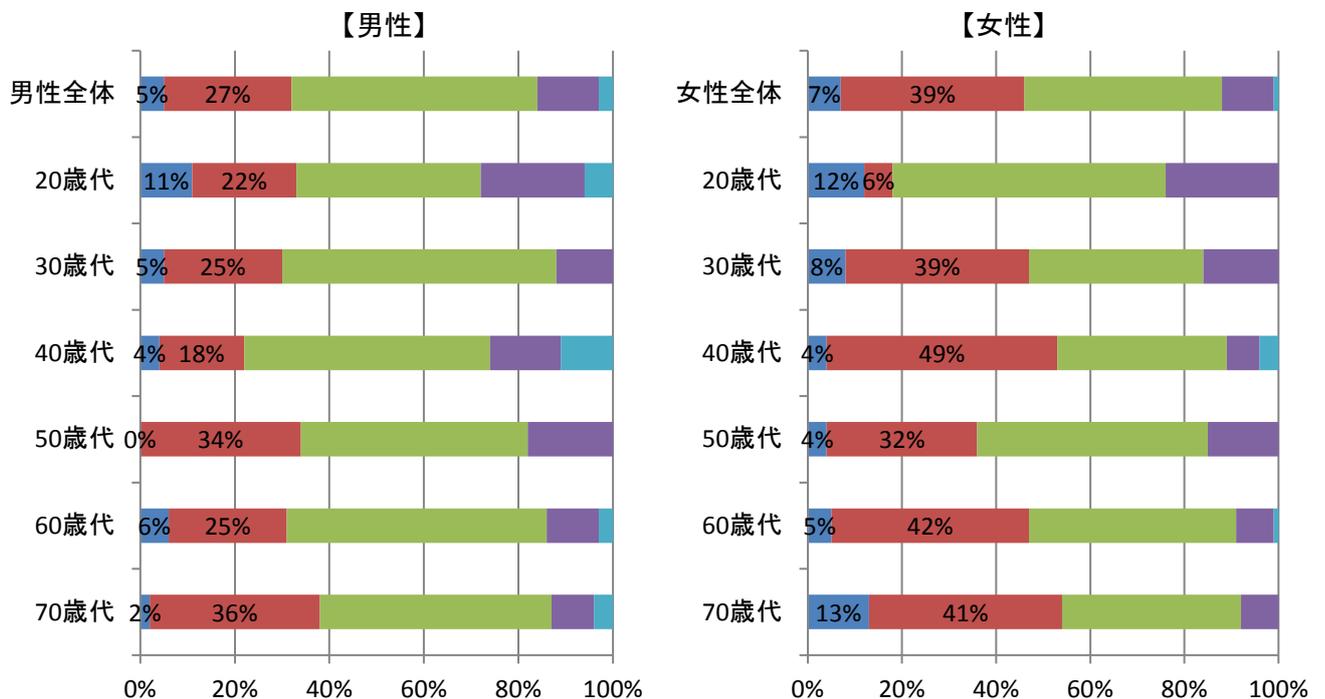
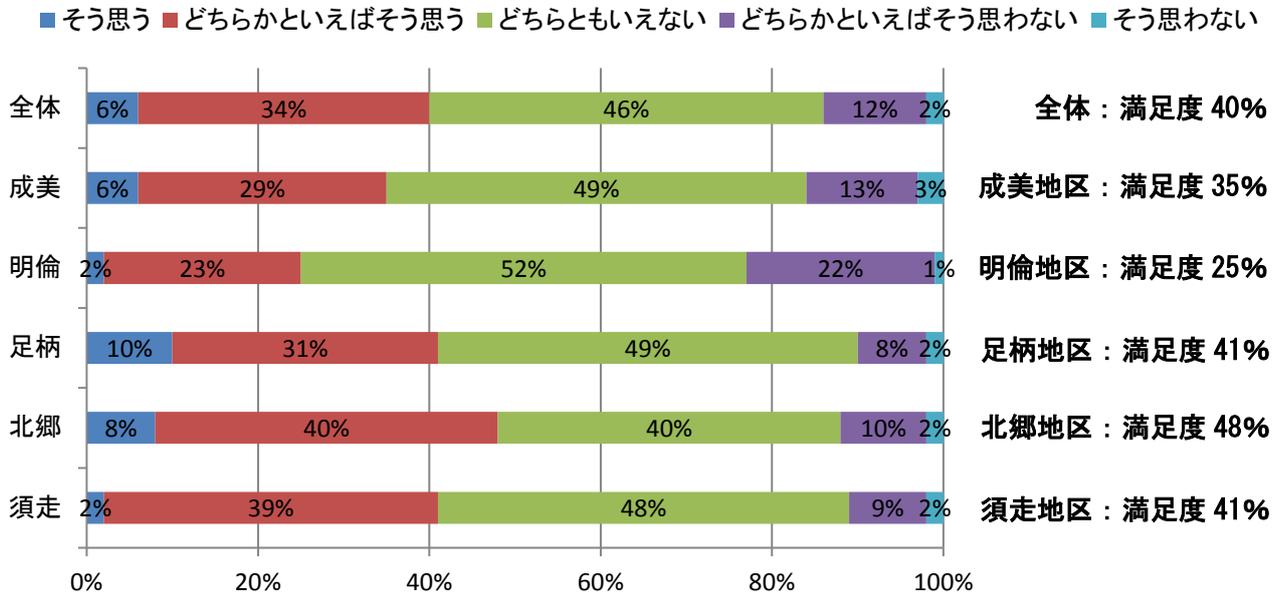


地区別での比較では、足柄地区と北郷地区の満足度が高く、明倫地区が低いです。また、全体的には「どちらともいえない」を選択する人が多い傾向にあります。男女（年齢）別の比較では、男性の方がやや満足度は高い傾向にあり、女性に関しては、20歳代の満足度が特に低くなっています。

問8－(13) 「みんなが主体的に健康づくりに取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 40%

上記の値は、前回の33%から今回の40%に7%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

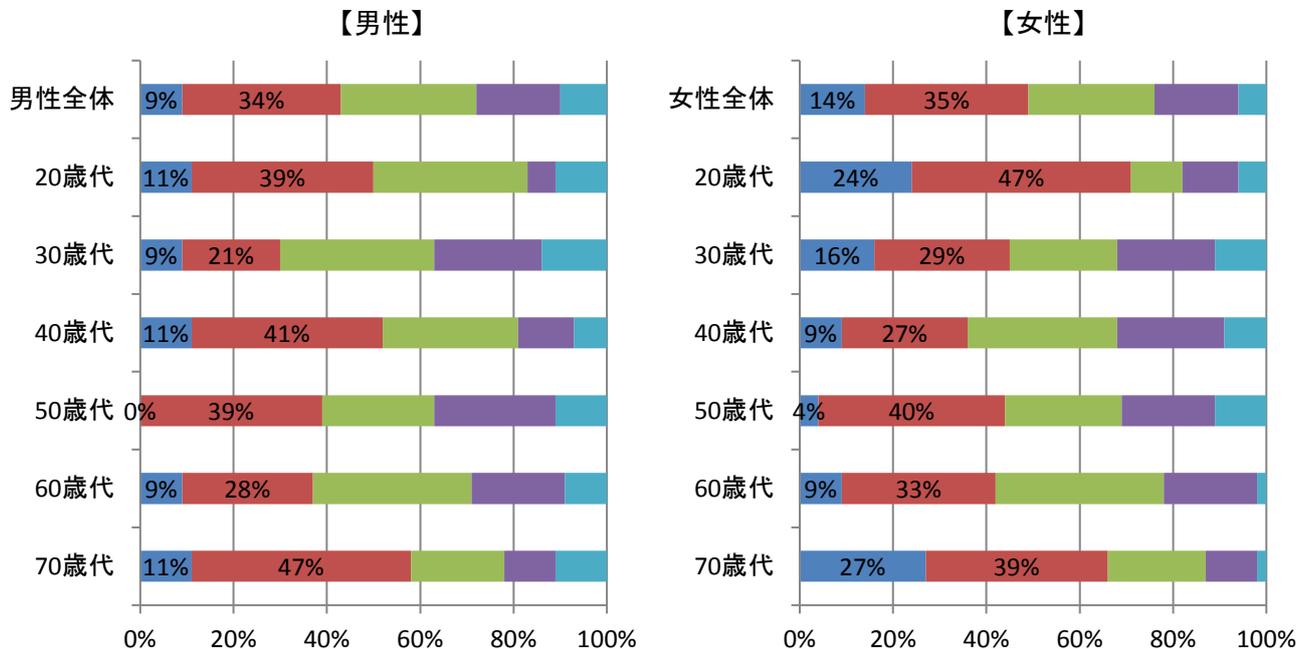
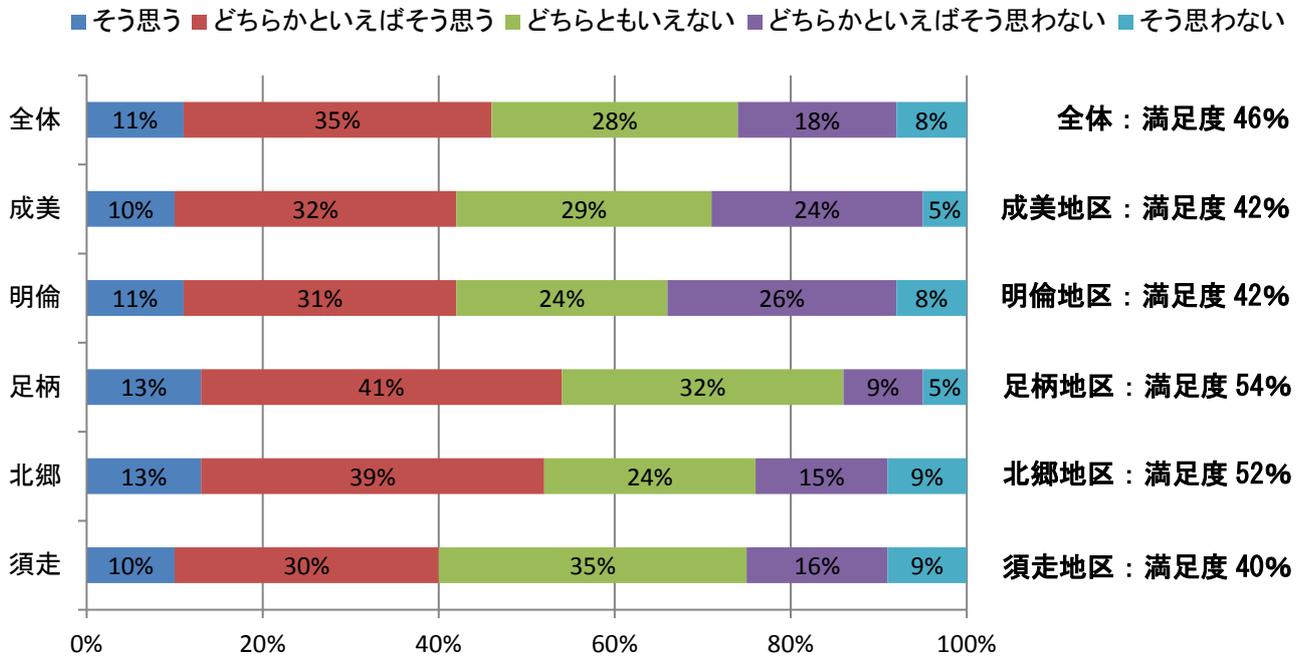


地区別の比較では、北郷地区の満足度が高く、明倫地区が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、全体的に女性の方が満足度は高い傾向にあり、男性に関しては、「どちらともいえない」と回答する人の割合がかなり高くなっています。また、40歳代男性と20歳代女性の満足度が非常に低いという結果も出ています。

問8－(14) 「必要な時に適切な医療が受けられる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 46%

上記の値は、前回調査時と同様の46%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

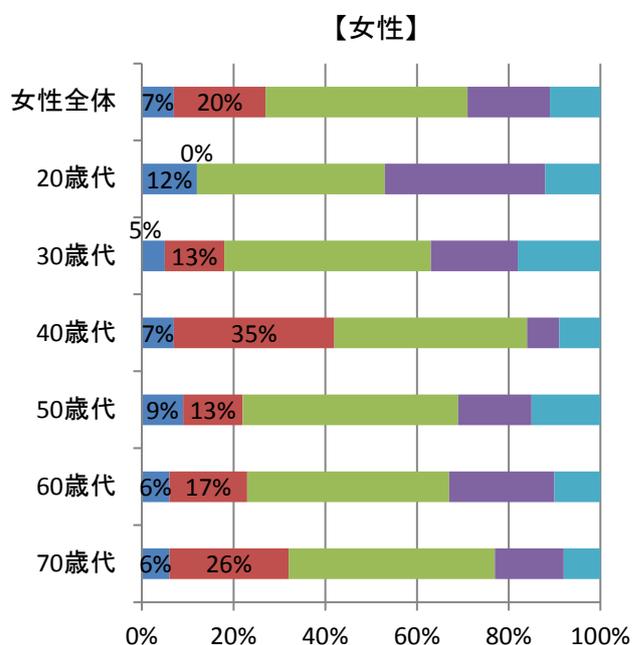
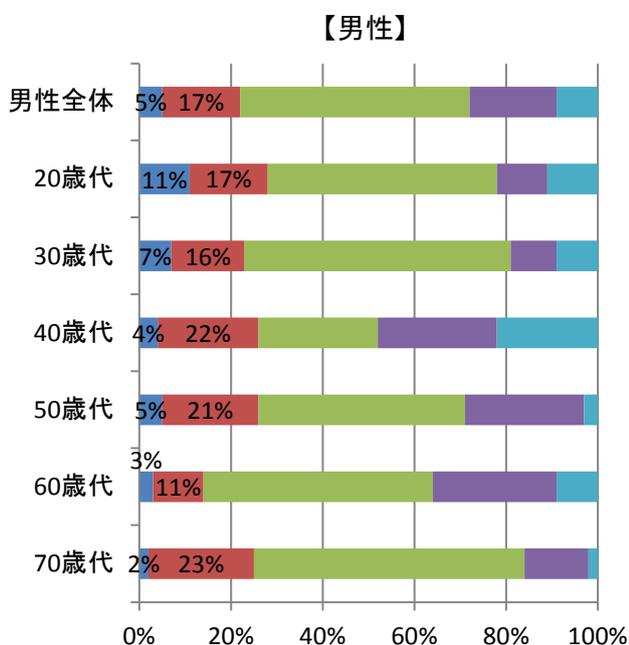
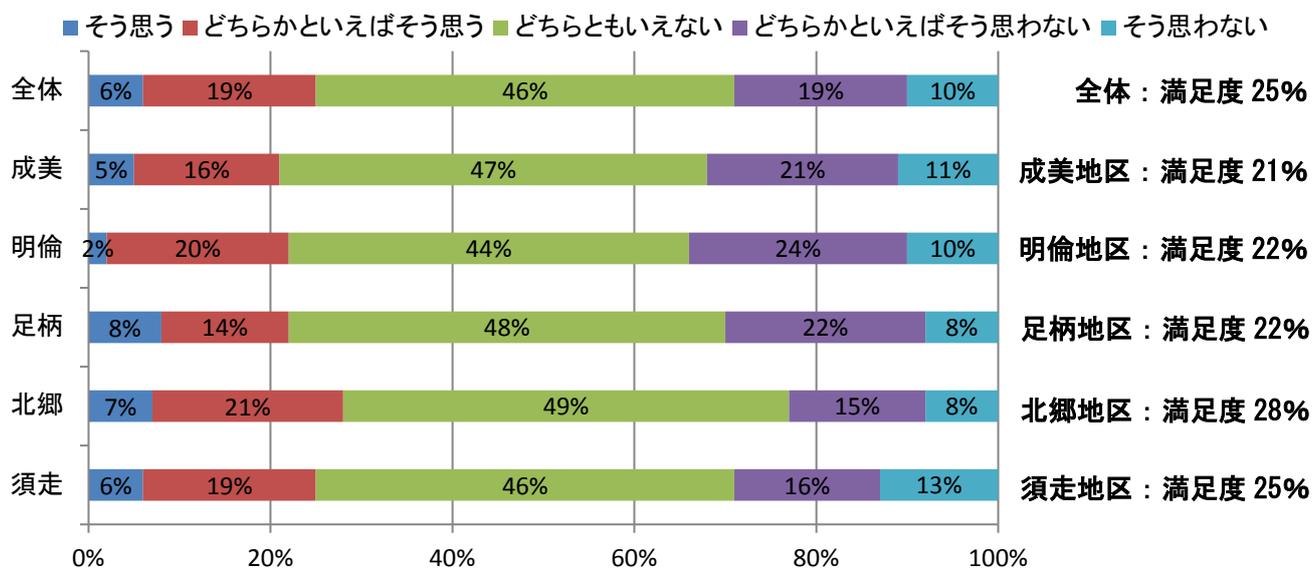


地区別の満足度を比較すると、足柄地区と北郷地区がやや高い値となっています。男女（年齢）別の比較では、女性の方がやや高い満足度となっています。また、男女共に、70歳代の満足度がかなり高いという結果も出ています。

問8－(15) 「地域(近所)において、自身や家族の悩み事などを
真剣に相談できる人間関係が構築されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 25%

本項目は、今回から導入された調査内容であるため、前回との比較はありません。全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

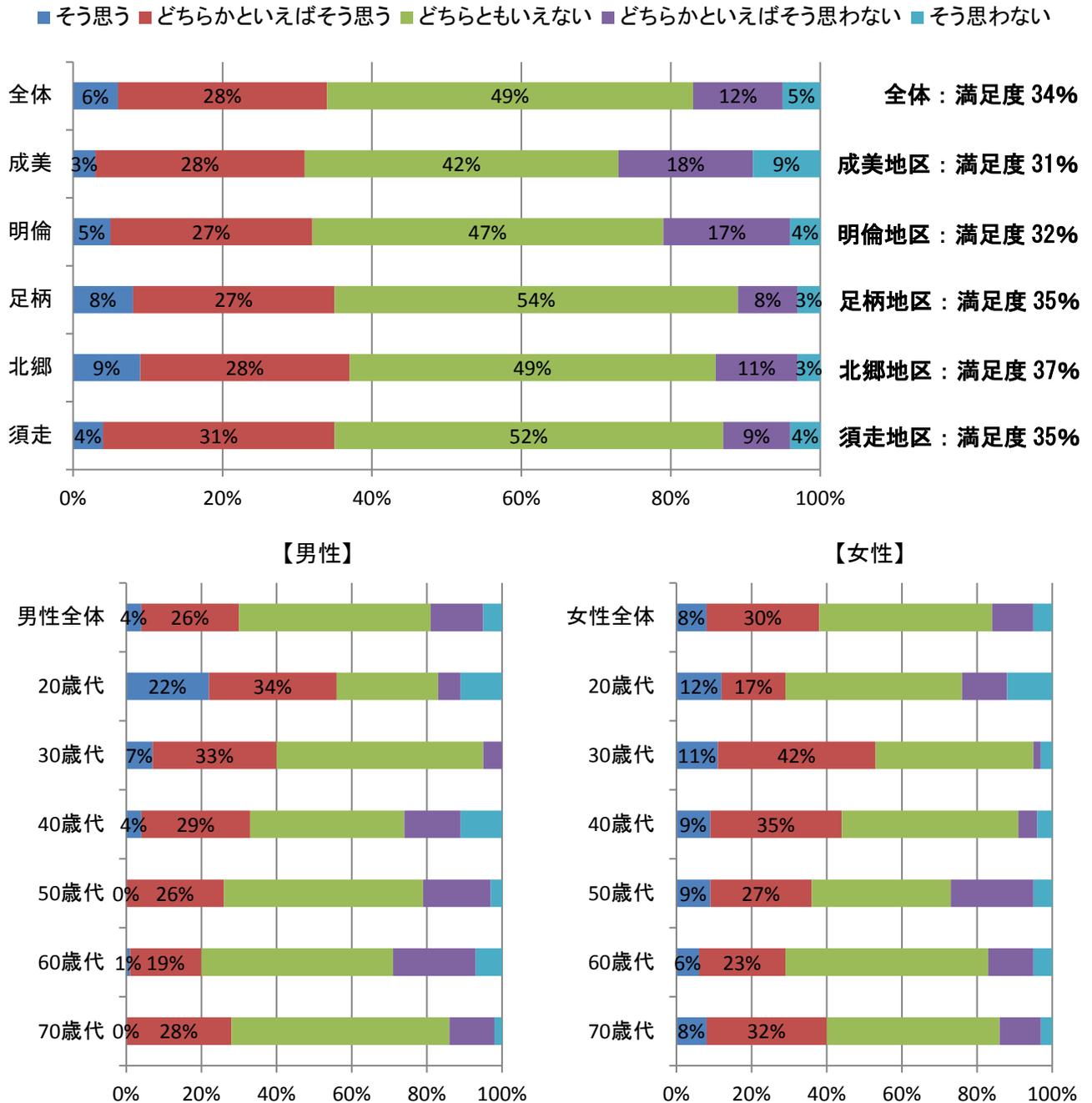


地区別での比較において、満足度に大きな差はありませんが、一様に「どちらともいえない」と回答する人の割合が高いです。男女(年齢)別の比較においても、「どちらともいえない」と回答する人の割合が高いです。また、20歳代女性の満足度の低さが特に目立ちます。

問8－(16) 「高齢者が自立していきいきと暮らしている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **34%**

上記の値は、前回の36%から今回の34%に2%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

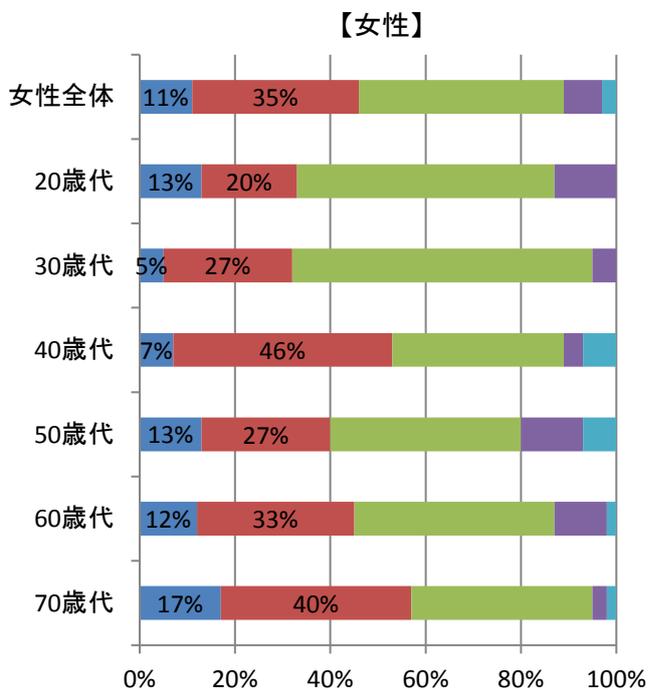
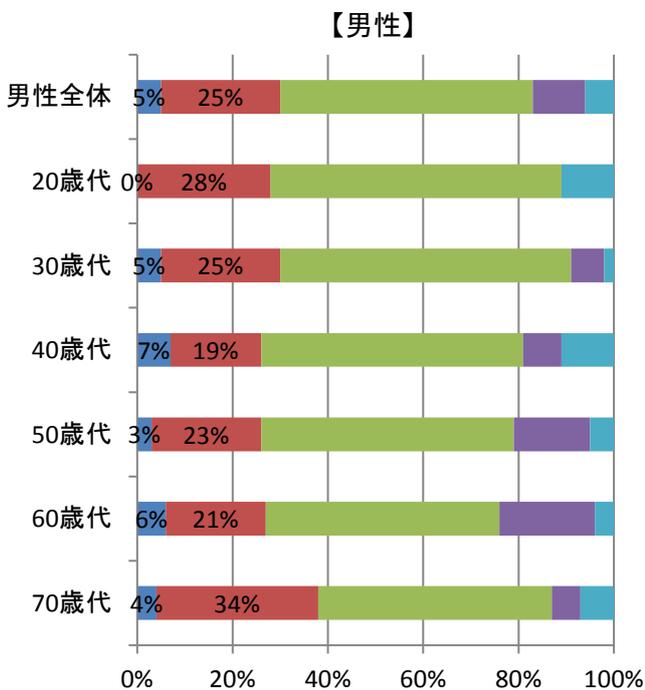
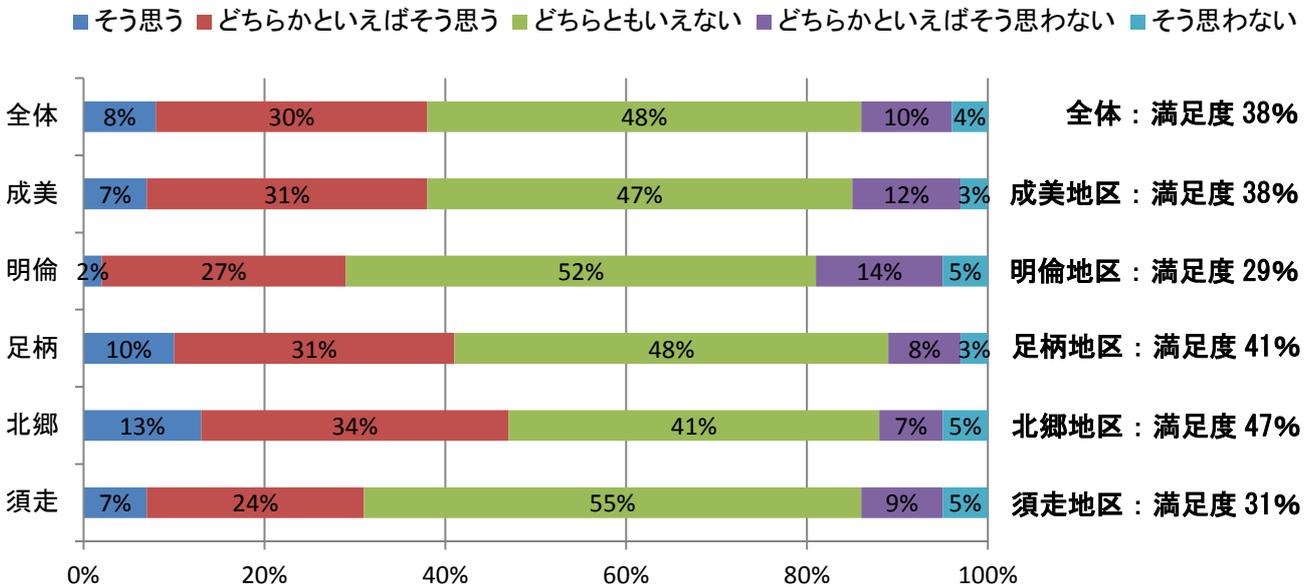


地区別での比較においては満足度に大きな差はありませんが、一様に「どちらともいえない」と回答する人の割合が高いです。また、成美地区においては「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答する方の割合が高くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性は20歳代、女性は30歳代をピークに満足度が下がり続け、どちらも70歳代でまた満足度が上がり始めるという、同じ性質を持ったグラフ構成になっています。

問 8 - (1 7) 「介護が必要な状態になった場合、適切な公的サービスを受けることができる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **38%**

上記の値は、前回の37%から今回の38%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

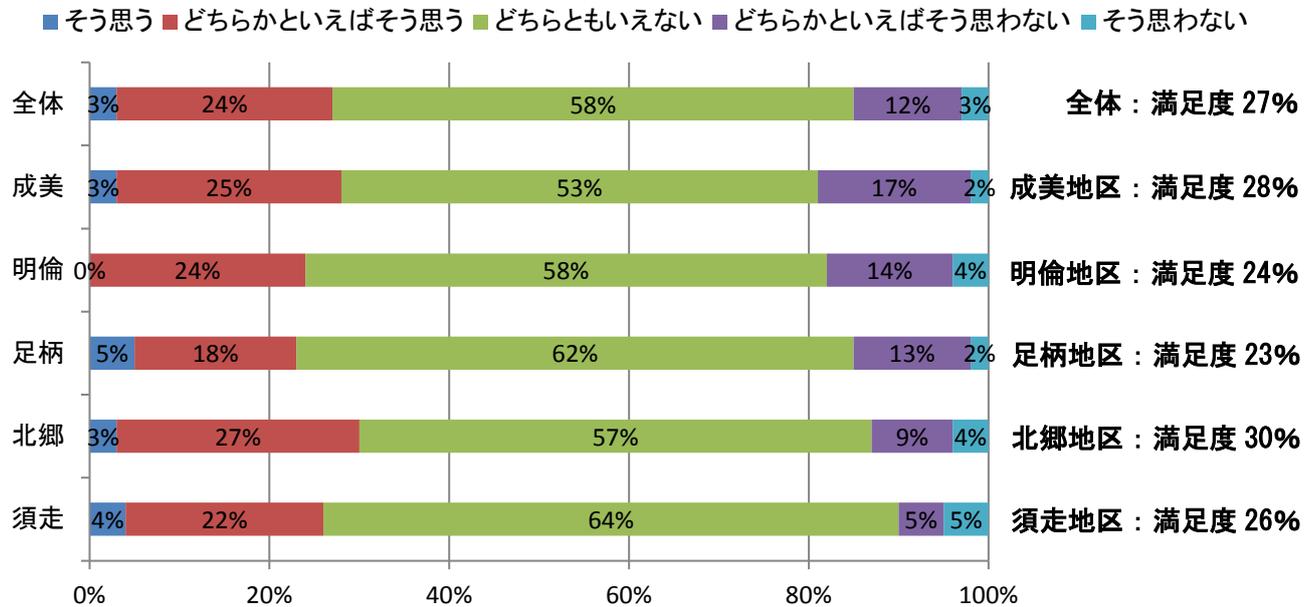


地区別の比較では、北郷地区の満足度が高く、明倫地区の満足度が低い結果となっていて、どの地区も一様に「どちらともいえない」を選択する方が多い傾向にあります。また、男女（年齢）別の比較では、女性の方が満足度はやや高い傾向にあります。

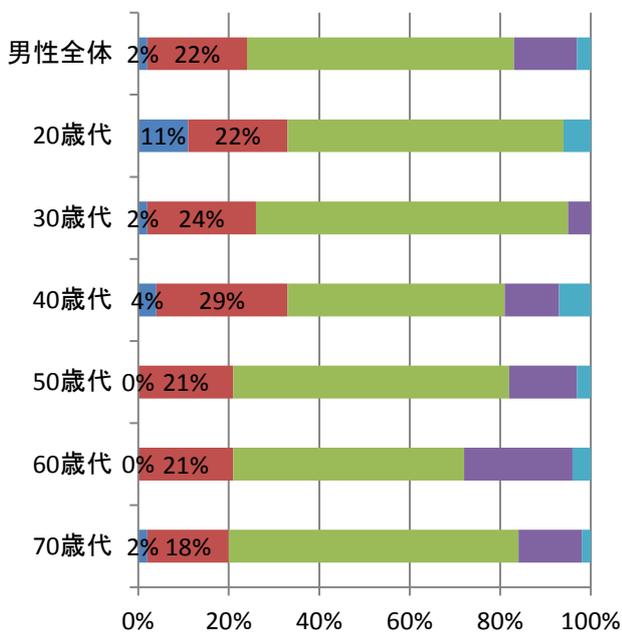
問8－(18) 「障がいのある人が社会参加し、自立している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 27%

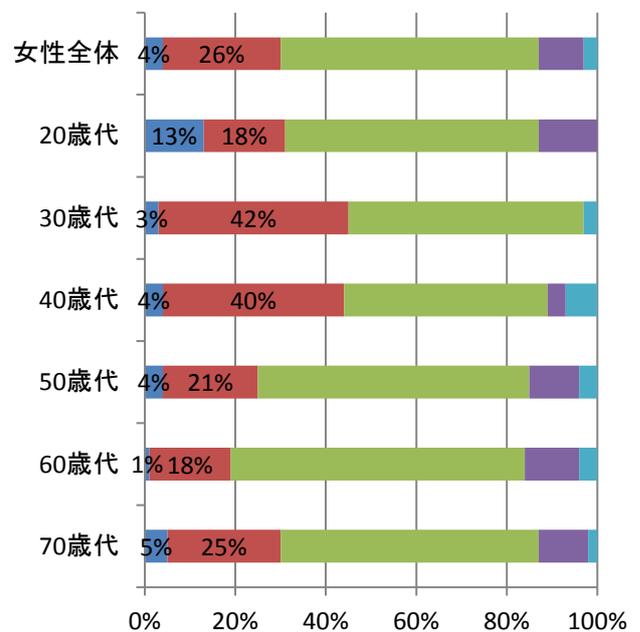
上記の値は、前回の22%から今回の27%に5%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

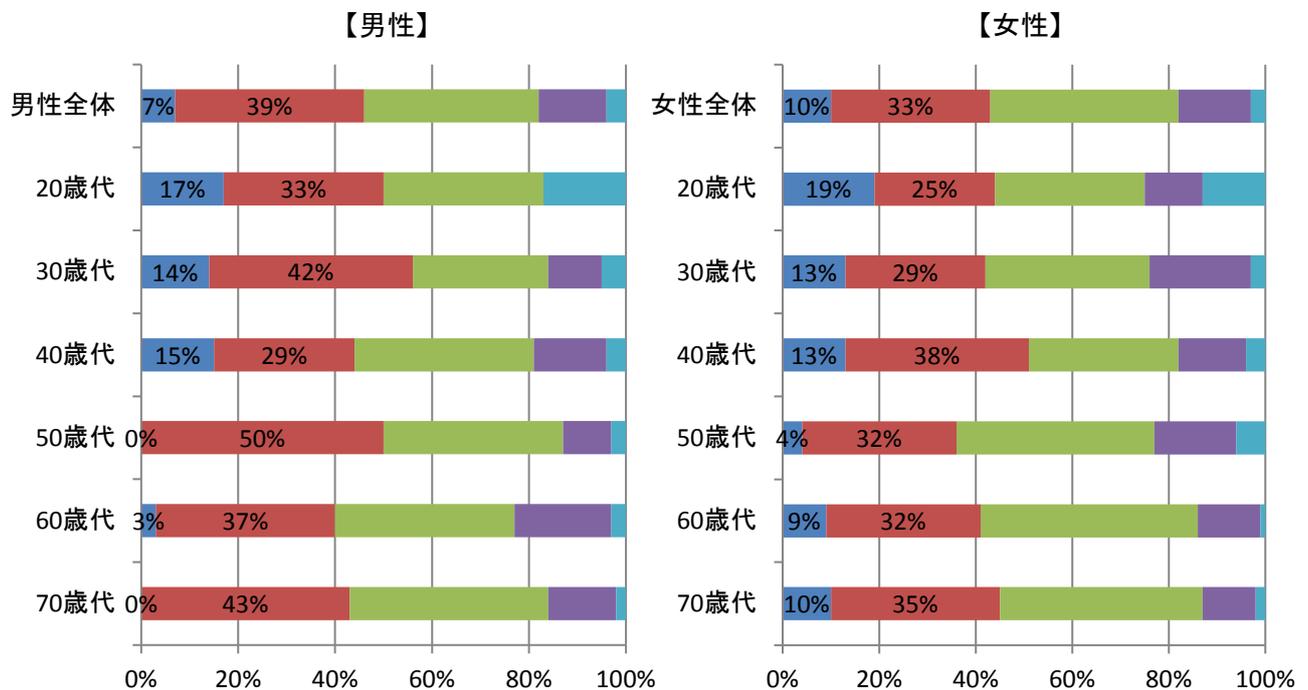
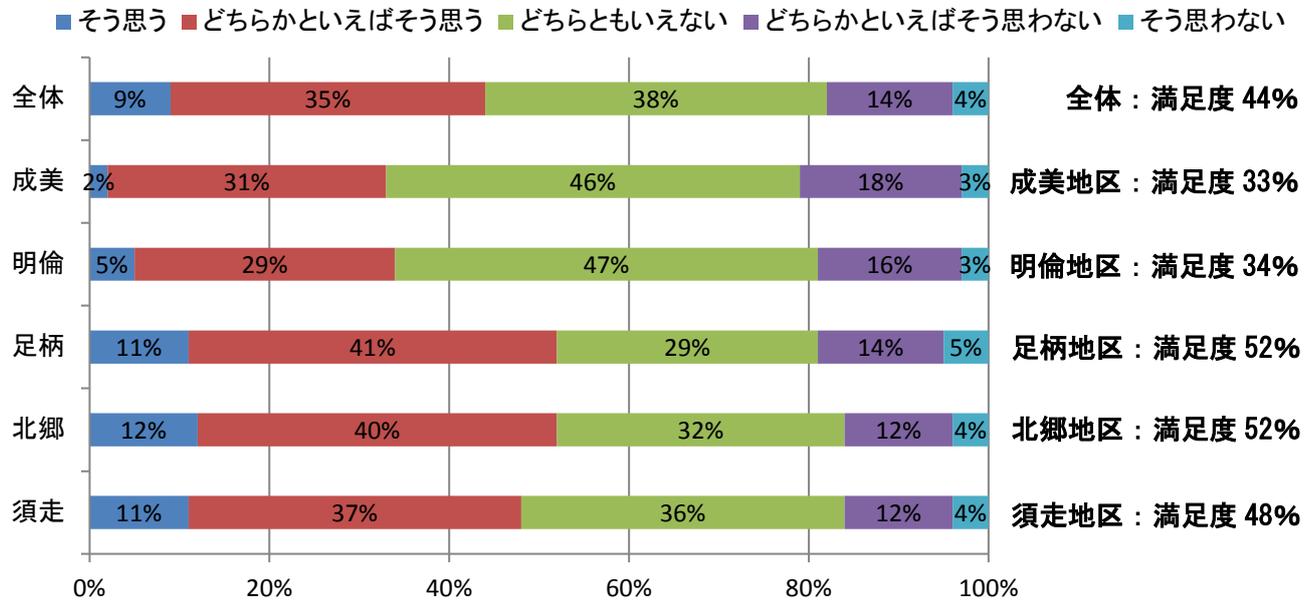


全ての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合がかなり多いです。地区別の満足度の比較に大きな差はありませんが、成美地区と明倫地区において、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を選択する人の割合がやや高くなっています。男女別の比較では、女性の方が満足度はやや高い傾向にあります。特に、30歳代と40歳代の女性は高い満足度となっています。

問8－(19) 「安心して子どもを育てる環境が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **44%**

上記の値は、前回の42%から今回の44%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

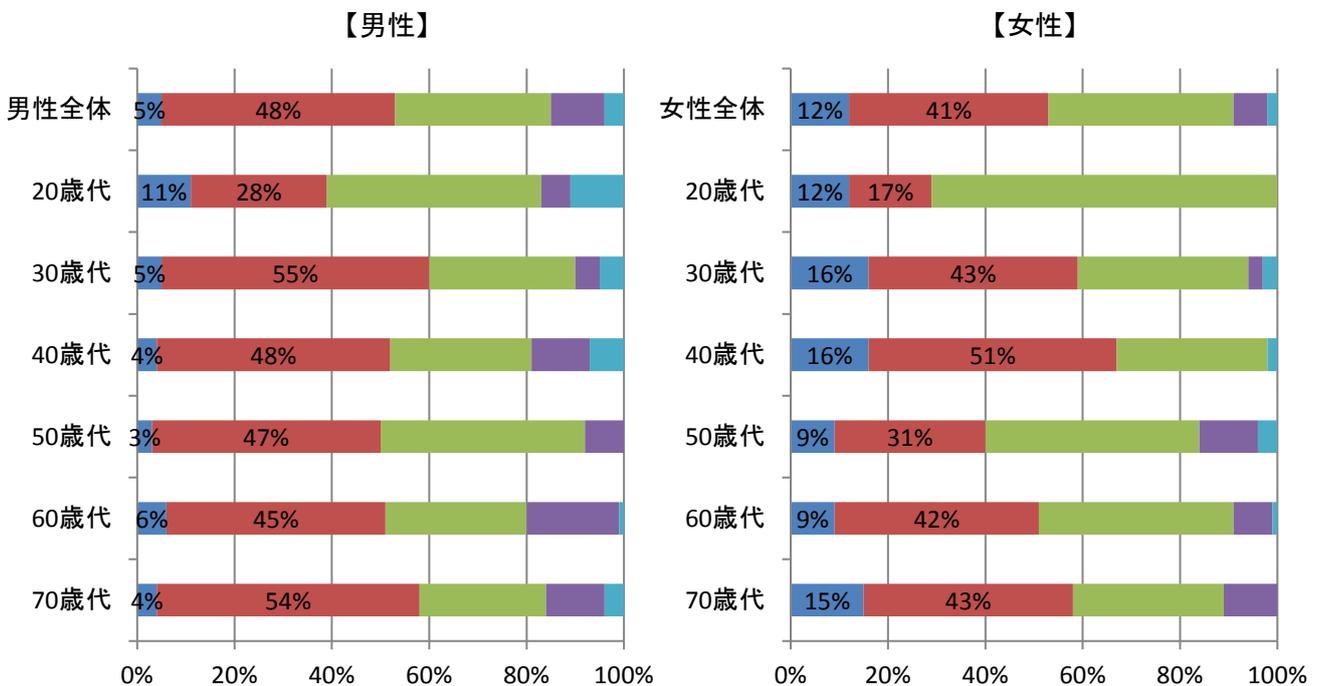
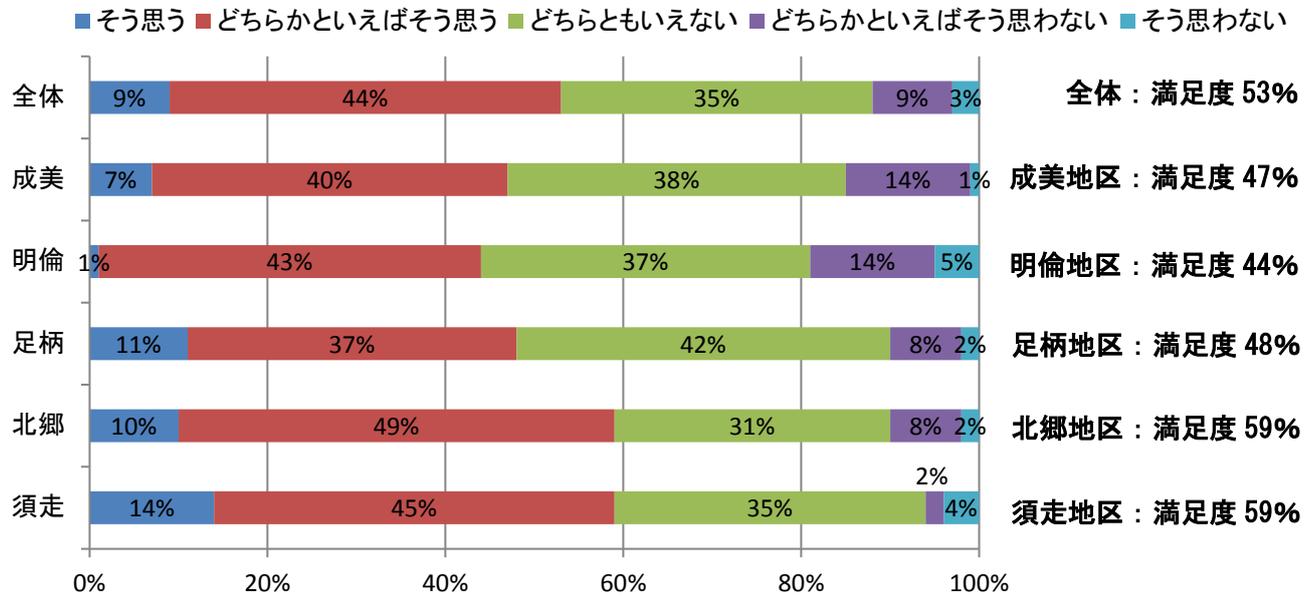


地区別の比較では、足柄地区と北郷地区の満足度が高く、成美地区と明倫地区の満足度が低いです。男女（年齢）別の比較に大きな差はありませんが、「そう思う」を選択している人の割合は、女性の方がやや多いです。

問8－(20) 「地域に安心できる防災の仕組みがある」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 53%

上記の値は前回の51%から今回の53%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

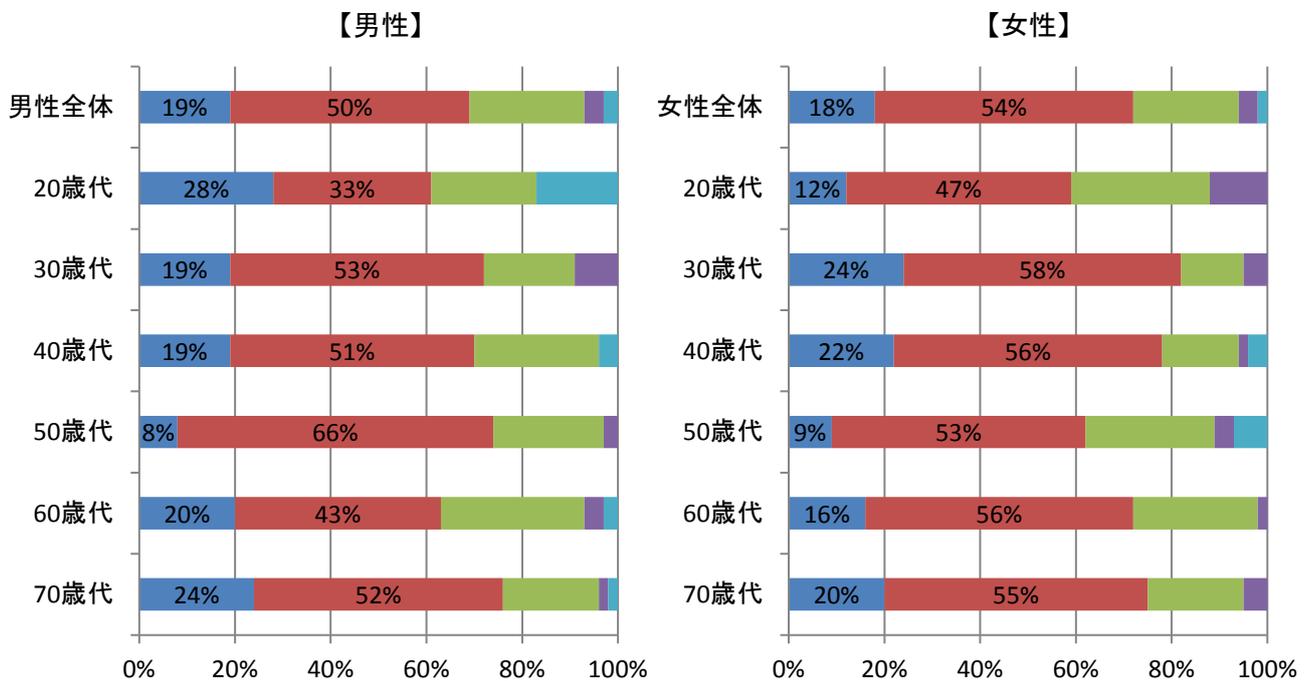
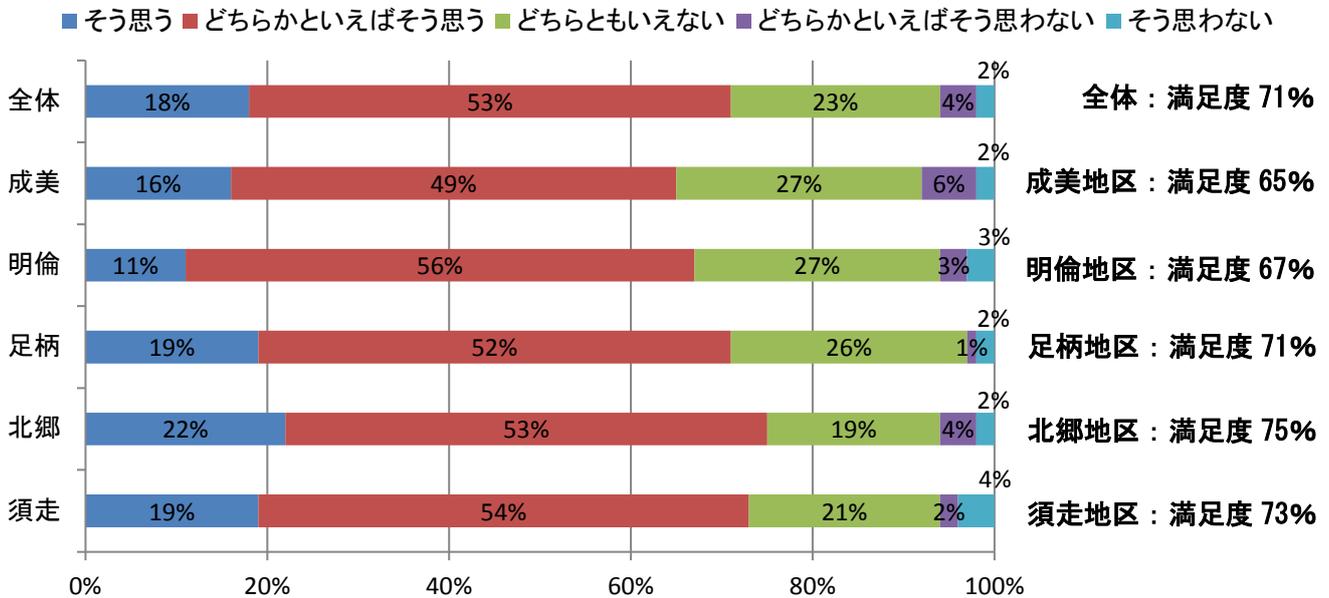


地区別での比較では、北郷地区と須走地区の満足度が高く、明倫地区が低いです。男女（年齢）別の比較では、どちらも20歳代の満足度が低い傾向にあります。

問 8 - (2 1) 「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 71%

上記の値は、前回の72%から今回の71%に1%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

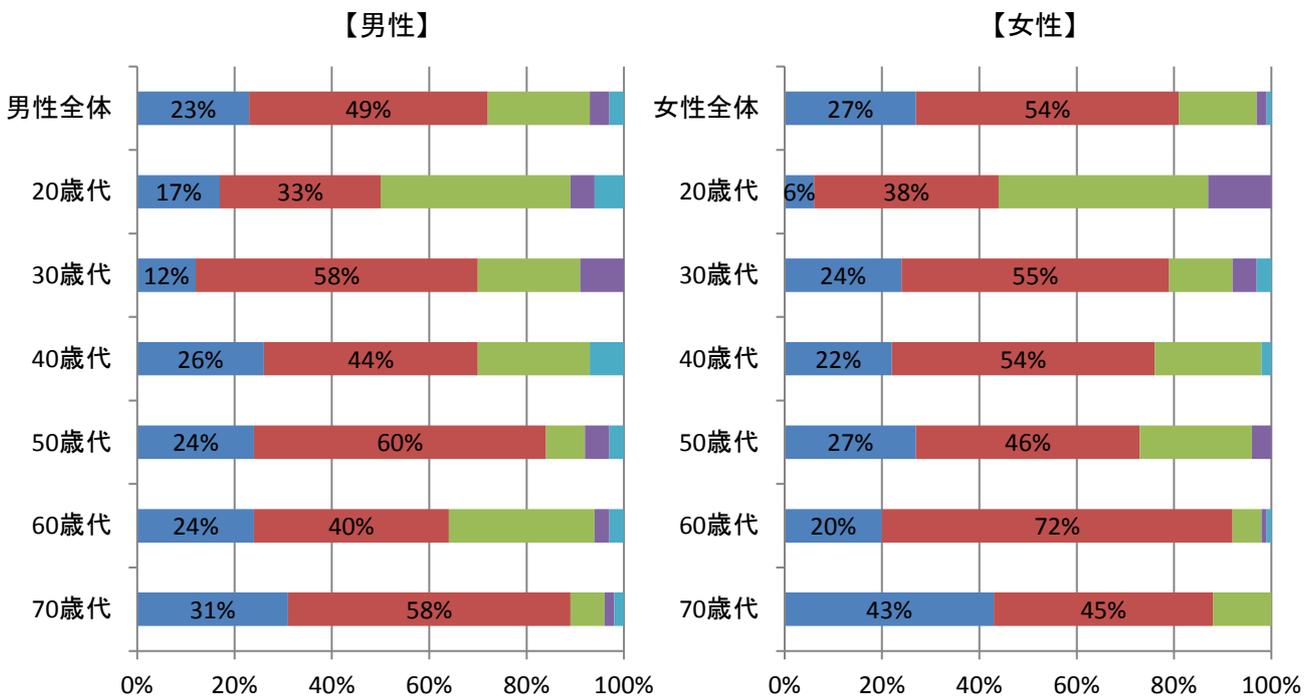
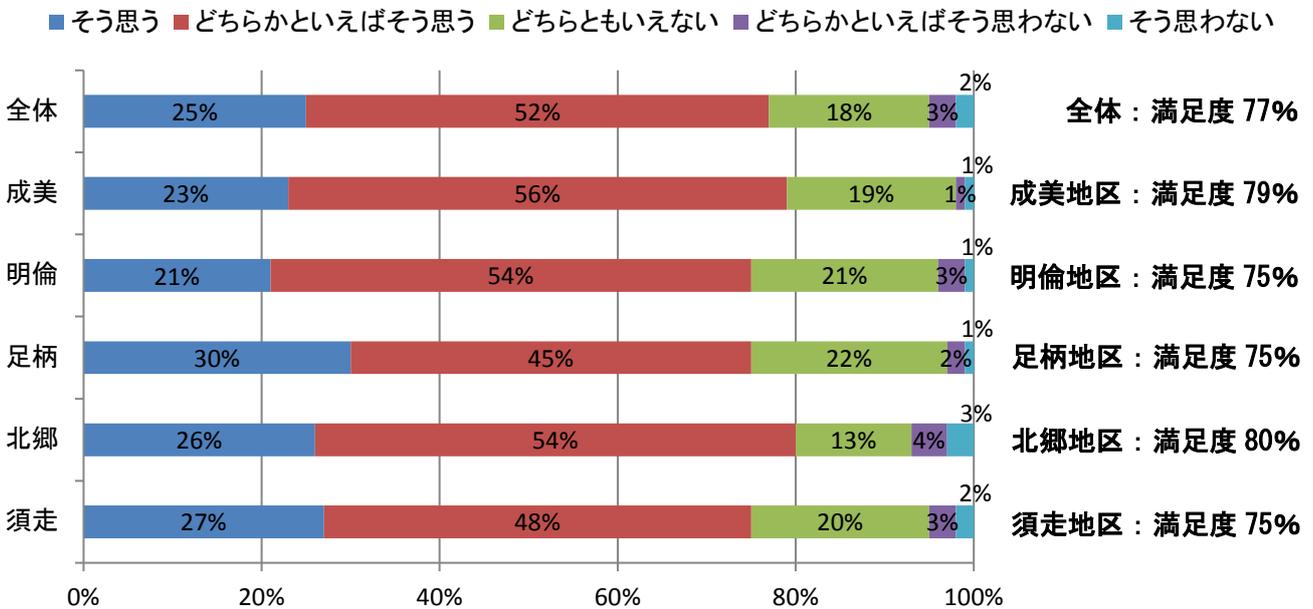


地区別の比較では、成美地区と明倫地区の満足度がやや低いですが、全体的に高い満足度となっています。男女（年齢）別の比較では、どの世代も概ね70%前後の高い満足度となっていますが、男女ともに20歳代の満足度がやや低いことが特徴です。

問 8 - (2 2) 「消防・救急体制が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 77%

上記の値は前回の70%から今回の77%に7%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

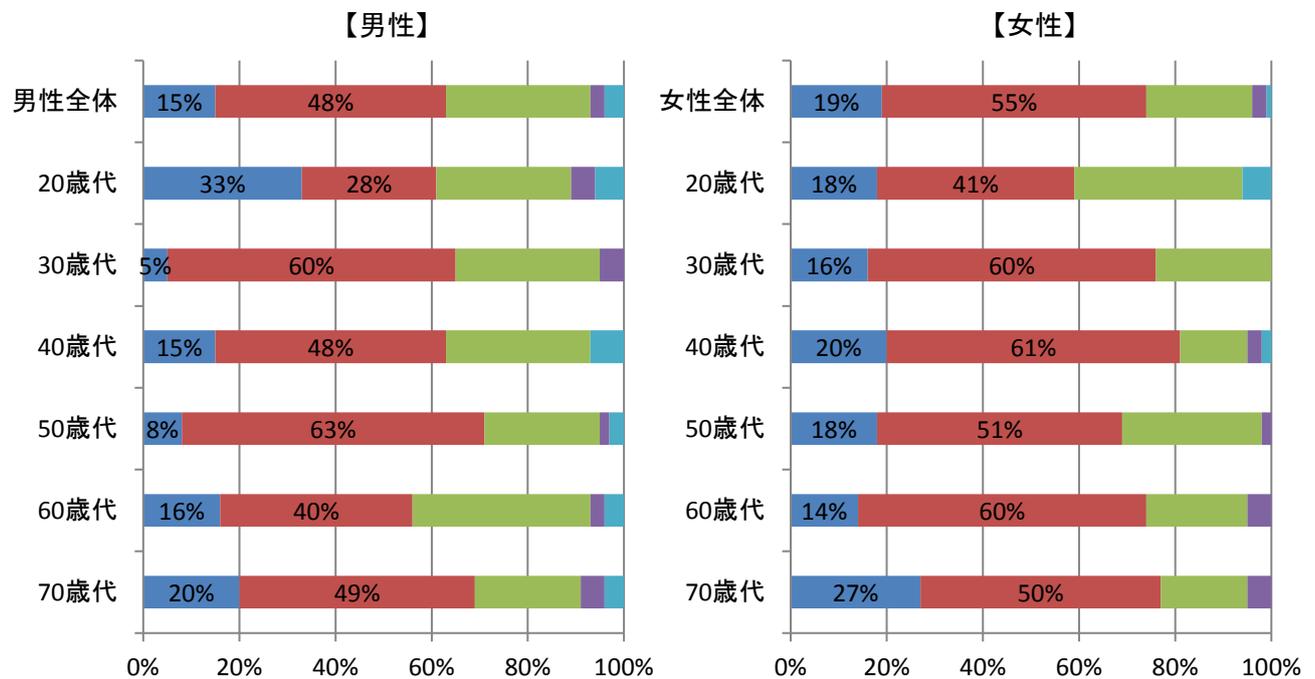
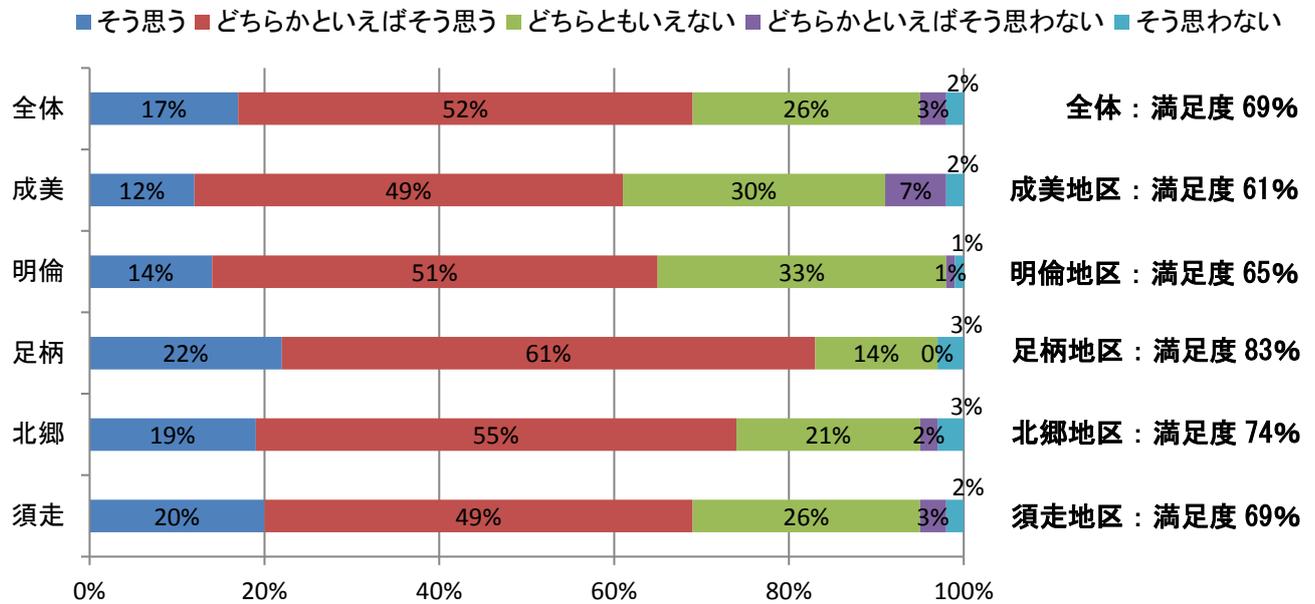


地区別での比較に大きな差はなく、どの地区もかなり高い満足度となっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに20歳代の満足度が、他の年代に比べてかなり低くなっています。また、男性は70歳代、女性は60歳代と70歳代の満足度がかなり高いことから、高齢者の満足度が高いといえます。

問8－(23) 「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 69%

上記の値は、前回の66%から今回の69%に3%増加しています。全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

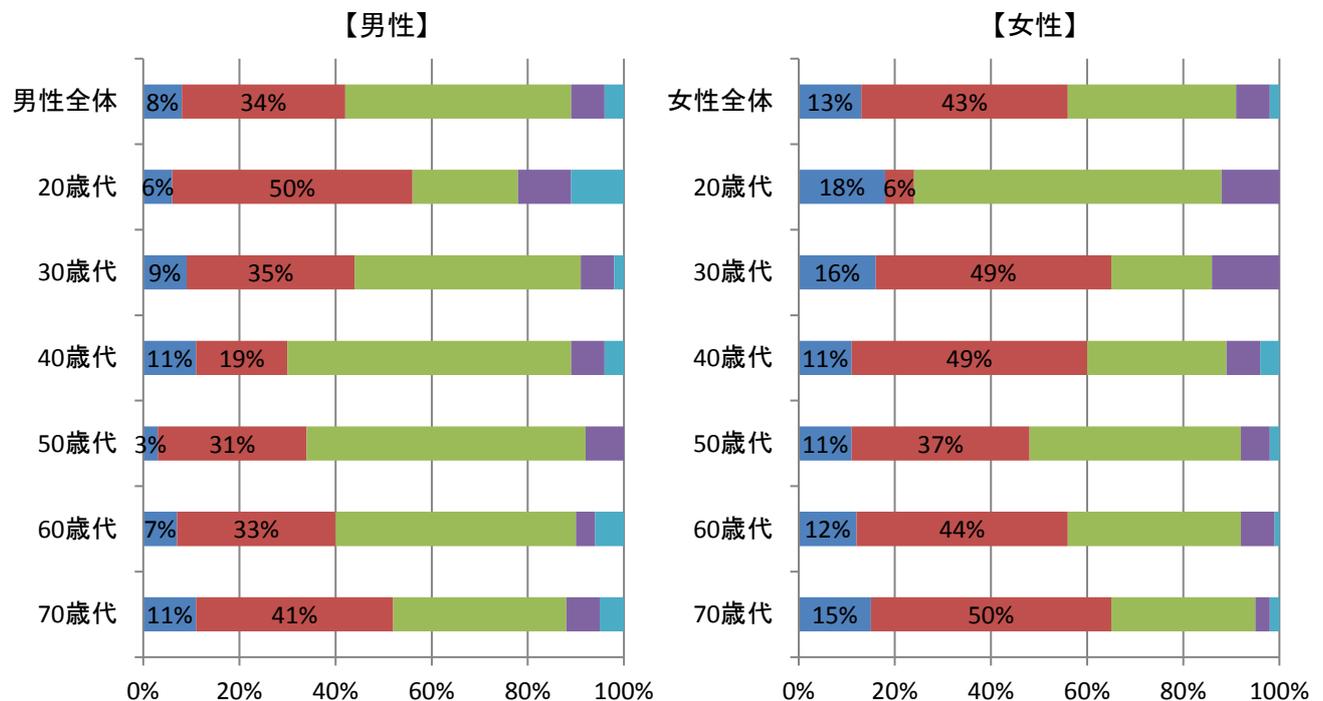
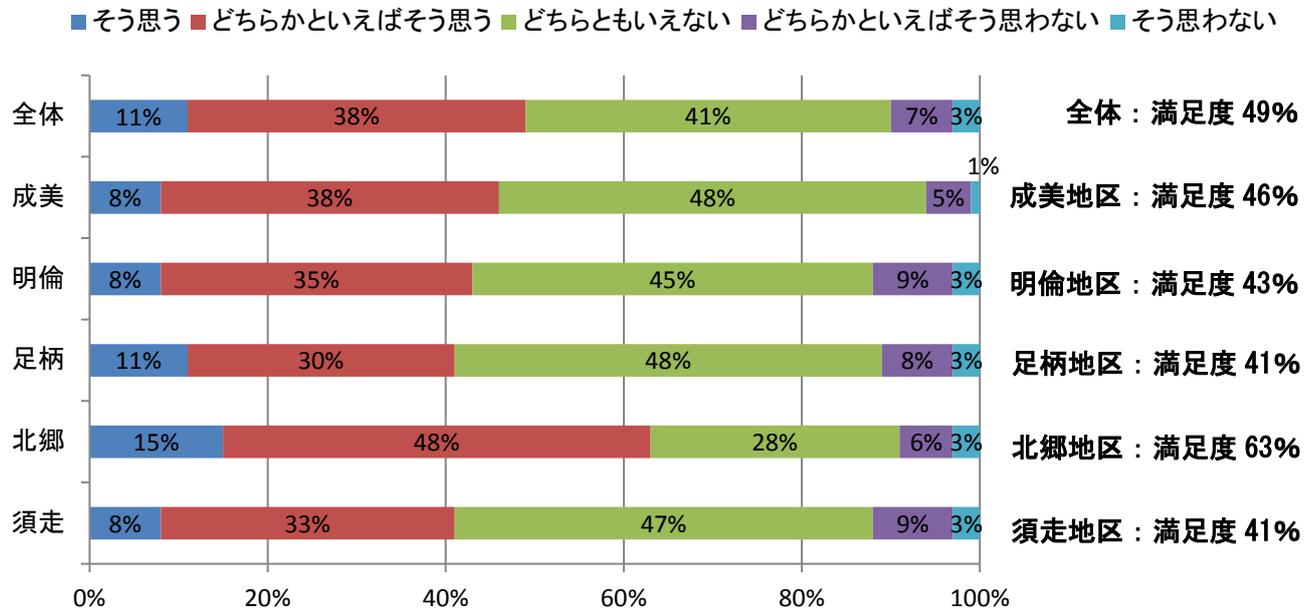


地区別での比較では、足柄地区の満足度が非常に高く、成美地区と明倫地区の満足度がやや低い傾向にあります。男女(年齢)別の比較では、男性に比べ女性の方が満足度は高い傾向にあります。

問 8 - (2 4) 「生涯学習活動の機会や場が充実している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 49%

上記の値は、前回の44%から今回の49%に5%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

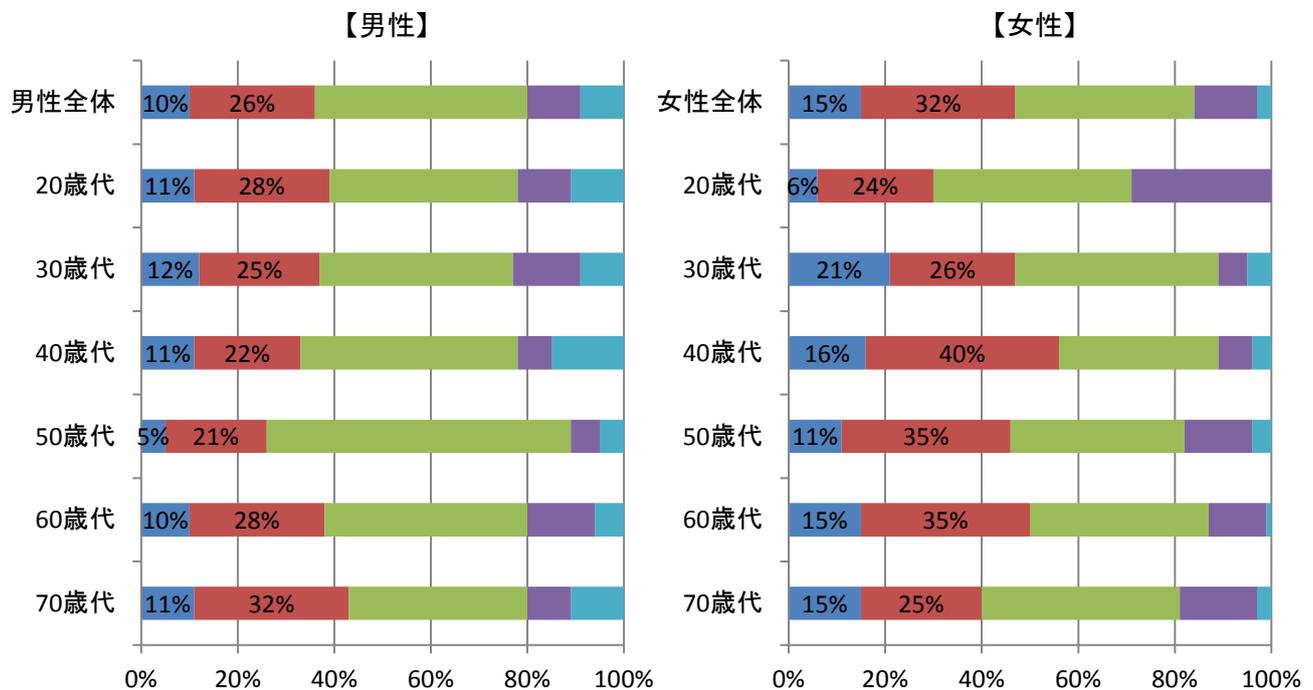
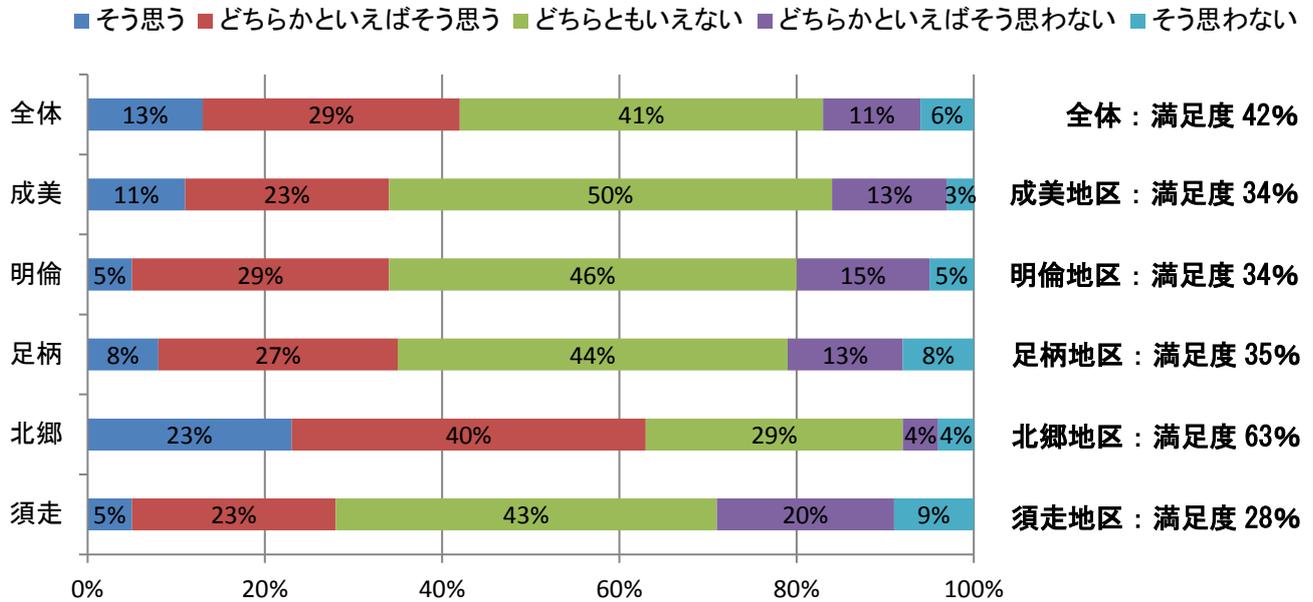


地区別の比較においては、北郷地区の満足度が非常に高く、足柄地区と須走地区の満足度がやや低くなっています。男女（年齢）別の比較において、男性の場合、20歳代の満足度がかなり高く、30歳代と40歳代の満足度が低くなっています。逆に女性の場合、20歳代の満足度がかなり低く、30歳代と40歳代の満足度が高いという対照的な結果が出ています。また、男女ともに50歳代以降は、年齢と共に満足度が増加していく傾向にあります。

問8－(25) 「図書館が便利で使いやすい」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 42%

上記の値は、前回調査時と同様の42%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

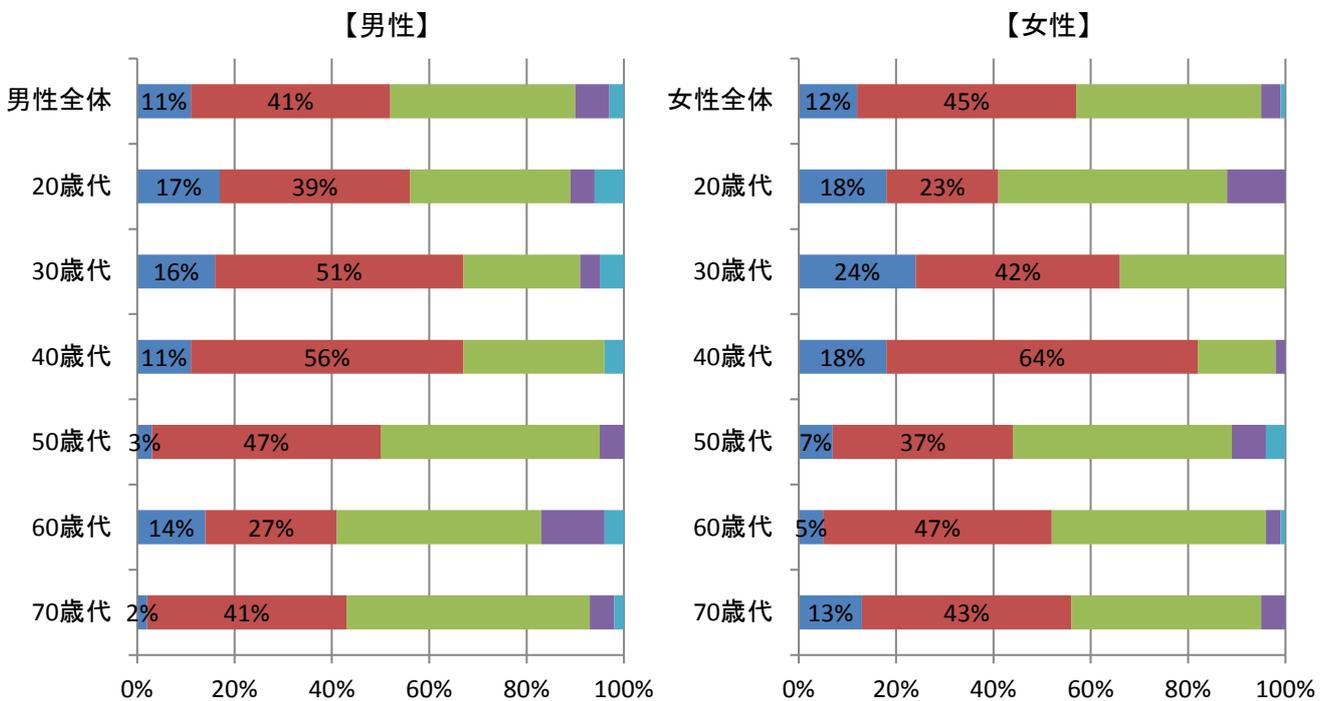
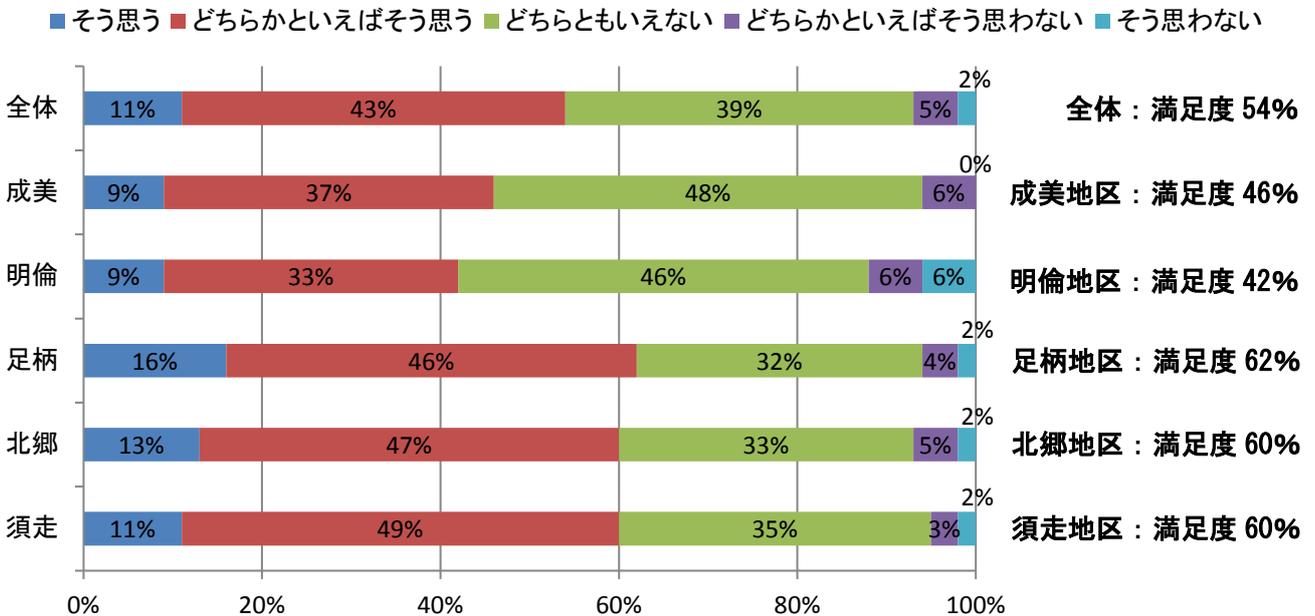


地区別での比較では、北郷地区の満足度がかなり高く、須走地区の満足度が低くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度はやや高い傾向にあり、特に40歳代女性の満足度が高くなっています。また、男性の30歳代から50歳代の満足度は低い傾向にあります。

問 8 - (2 6) 「伝統文化や郷土を大切にしている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 54%

上記の値は前回の 65%から今回の 54%に 11%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

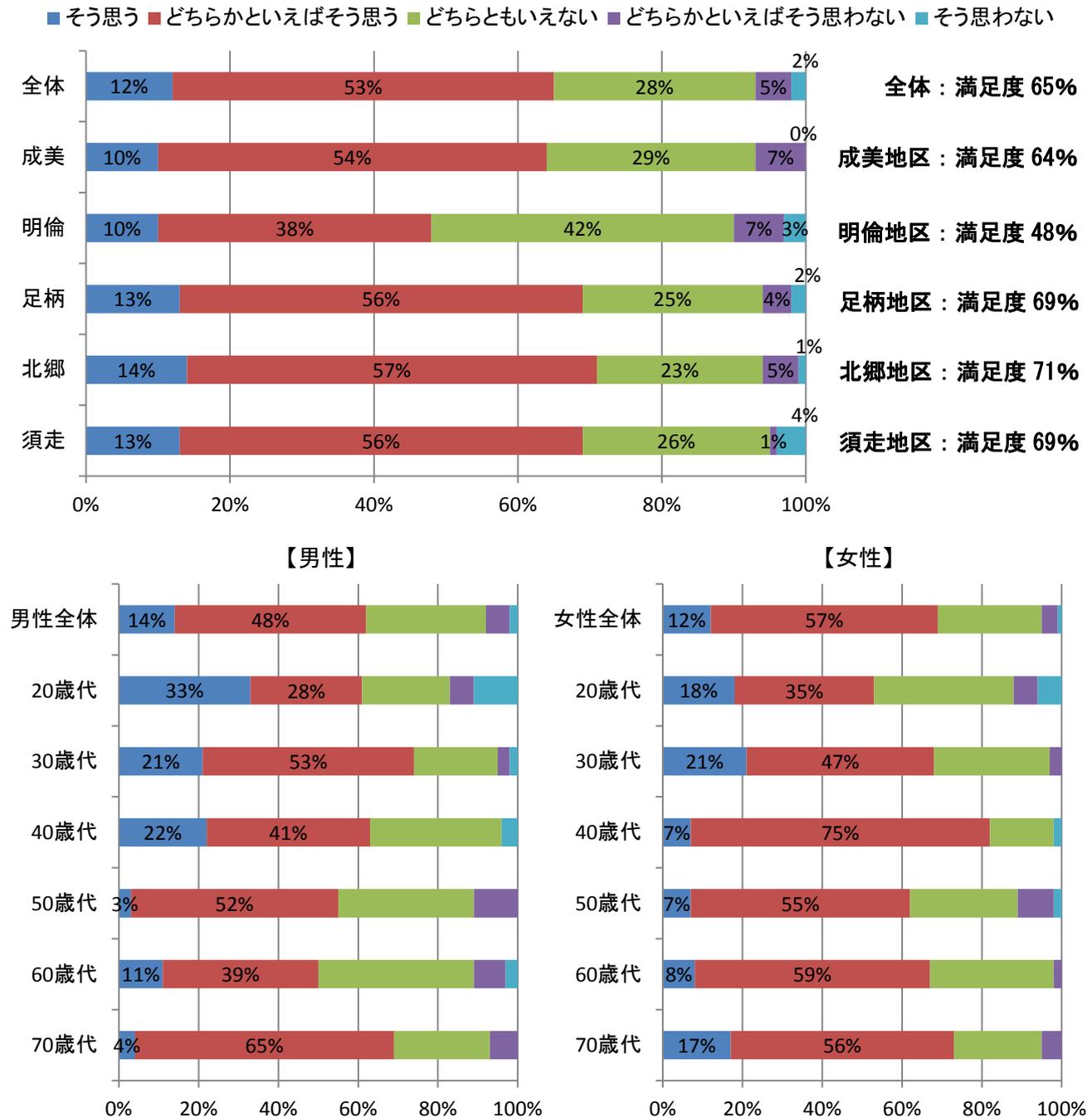


地区別の比較においては、足柄地区、北郷地区、須走地区の満足度に比べて、成美地区と明倫地区の満足度が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度はやや高い傾向にあり、特に、40歳代女性の満足度が非常に高いです。また男性の場合、50歳代以降の満足度がやや低い傾向にあります。

問 8 - (2 7) 「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 65%

上記の値は前回の64%から今回の65%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

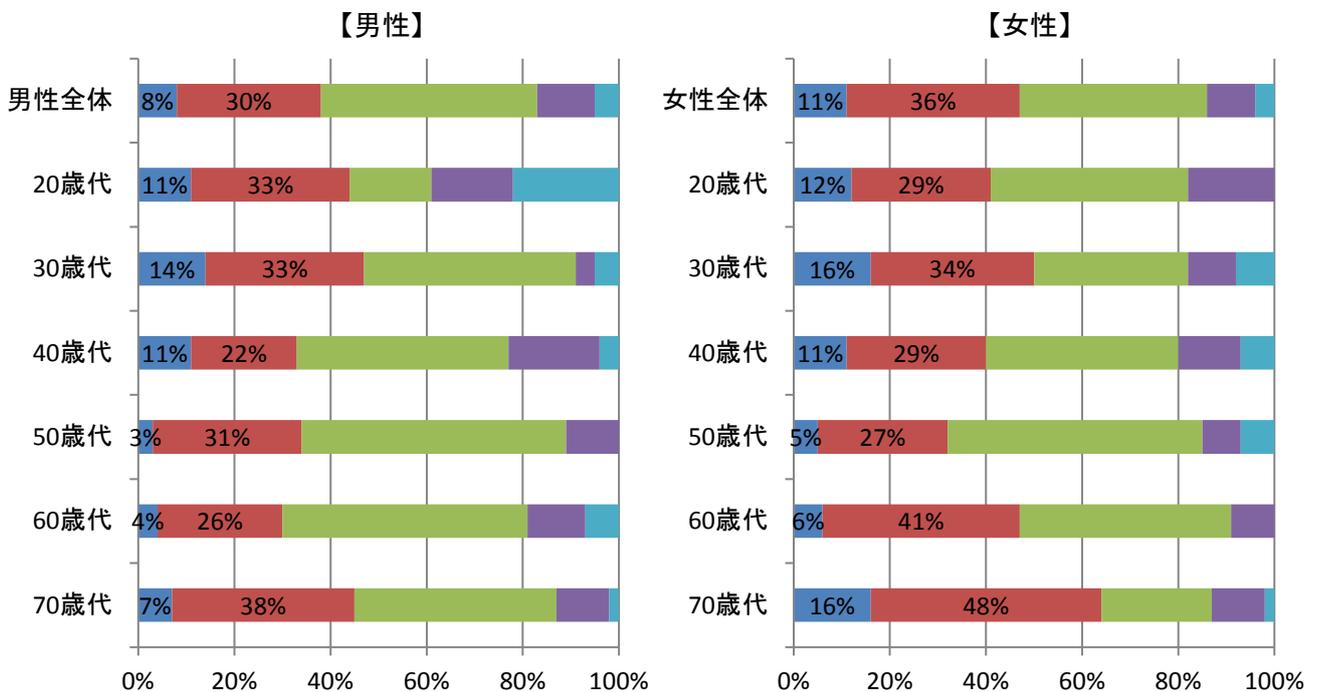
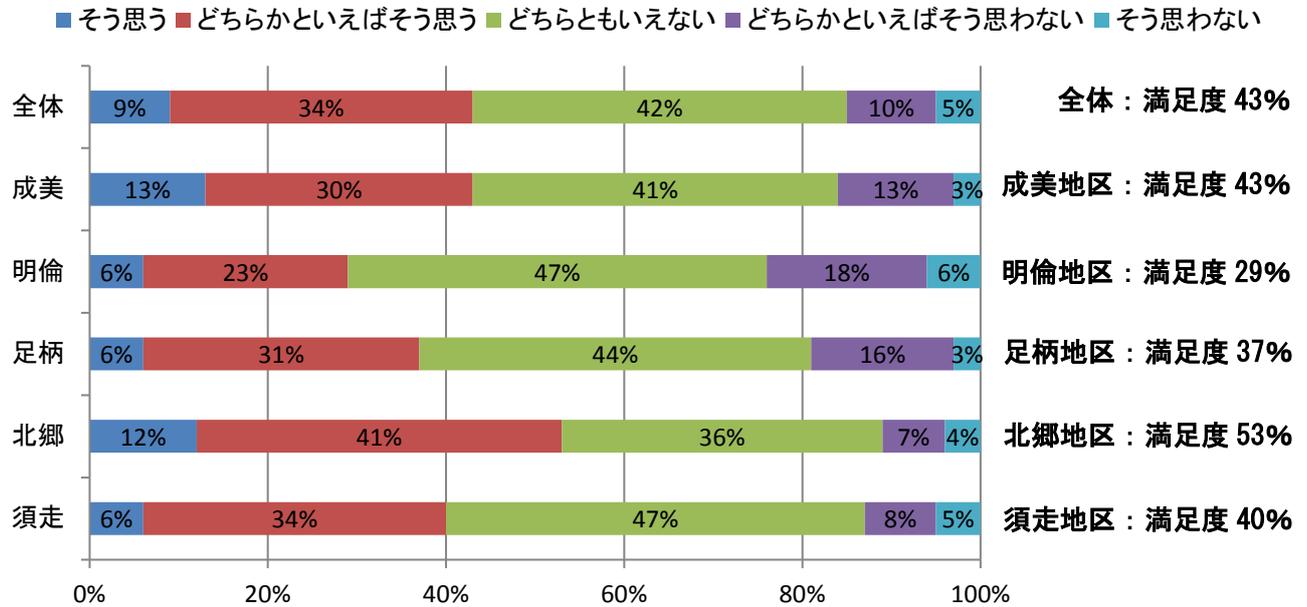


地区別の比較では、足柄地区・北郷地区・須走地区の満足度が70%前後と高い値であるのに対し、明倫地区の満足度はかなり低いです。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度は高い傾向にあり、特に40歳代女性の満足度は80%を超えています。また、男女ともに70歳代の満足度が高いことも特徴です。

問 8 - (2 8) 「みんなが気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 43%

上記の値は、前回の37%から今回の43%に6%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

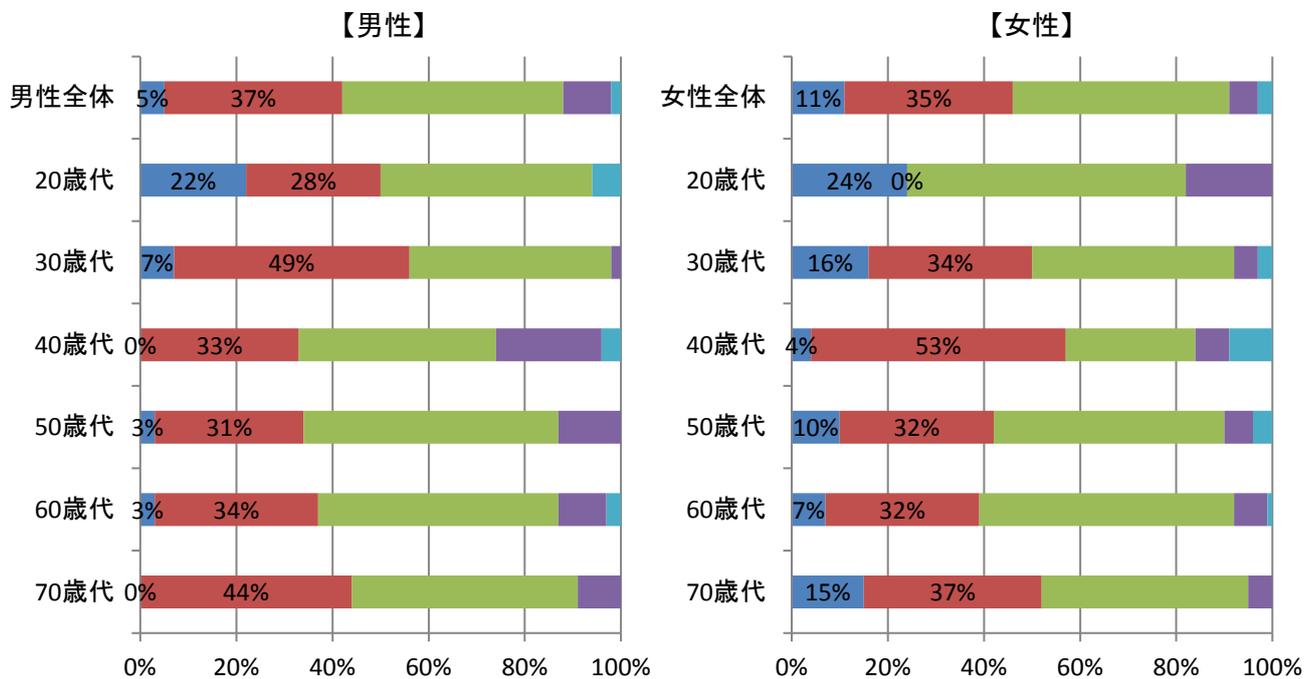
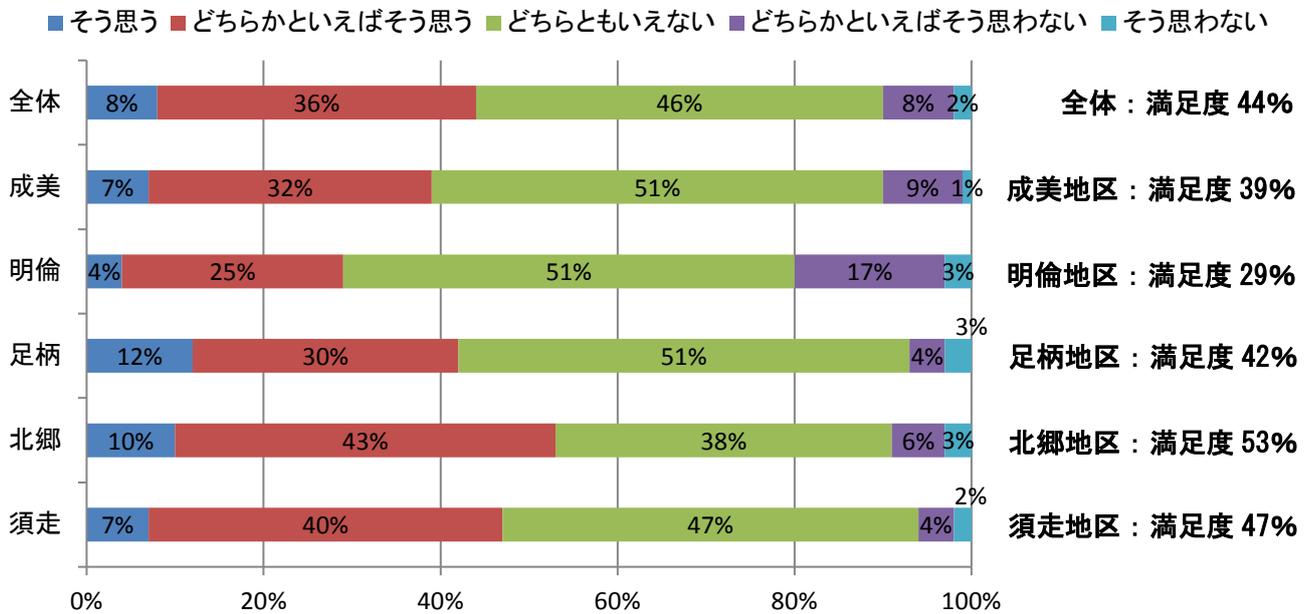


地区別での比較では、北郷地区の満足度が高く、明倫地区が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度はやや高い傾向にあります。また女性の場合、60歳以上の満足度が高く、特に70歳代女性の満足度はかなり高いです。

問 8 - (2 9) 「生きる力を育む学校教育が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 44%

上記の値は前回調査時と同様の 44%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

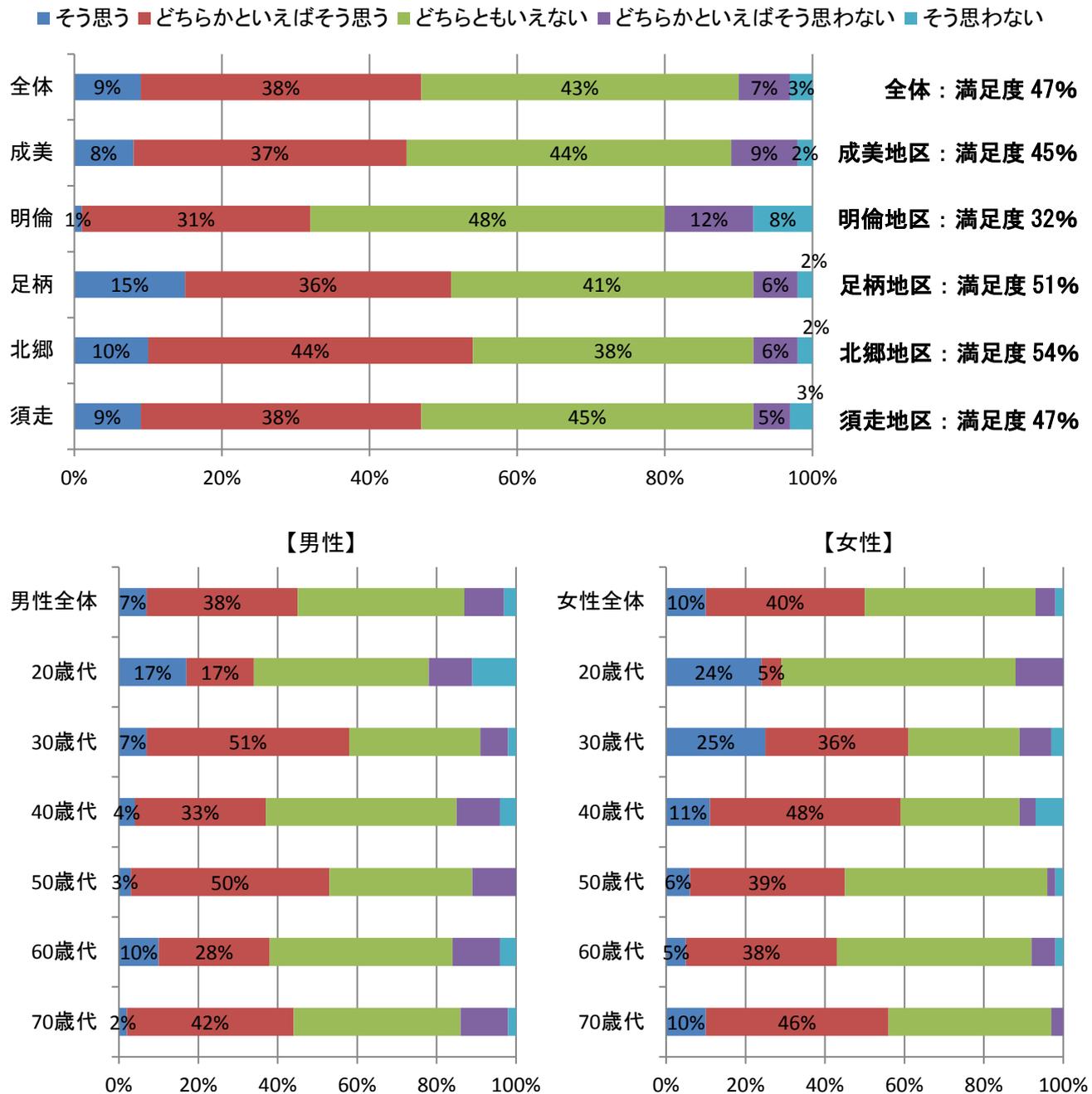


地区別での比較では、北郷地区の満足度がやや高く、明倫地区がかなり低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度は高い傾向にあり、特に 40 歳代女性の満足度が高いです。しかし、20 歳代女性の満足度は、非常に低い値となっています。

問 8 - (3 0) 「子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 47%

上記の値は、前回の51%から今回の47%に4%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

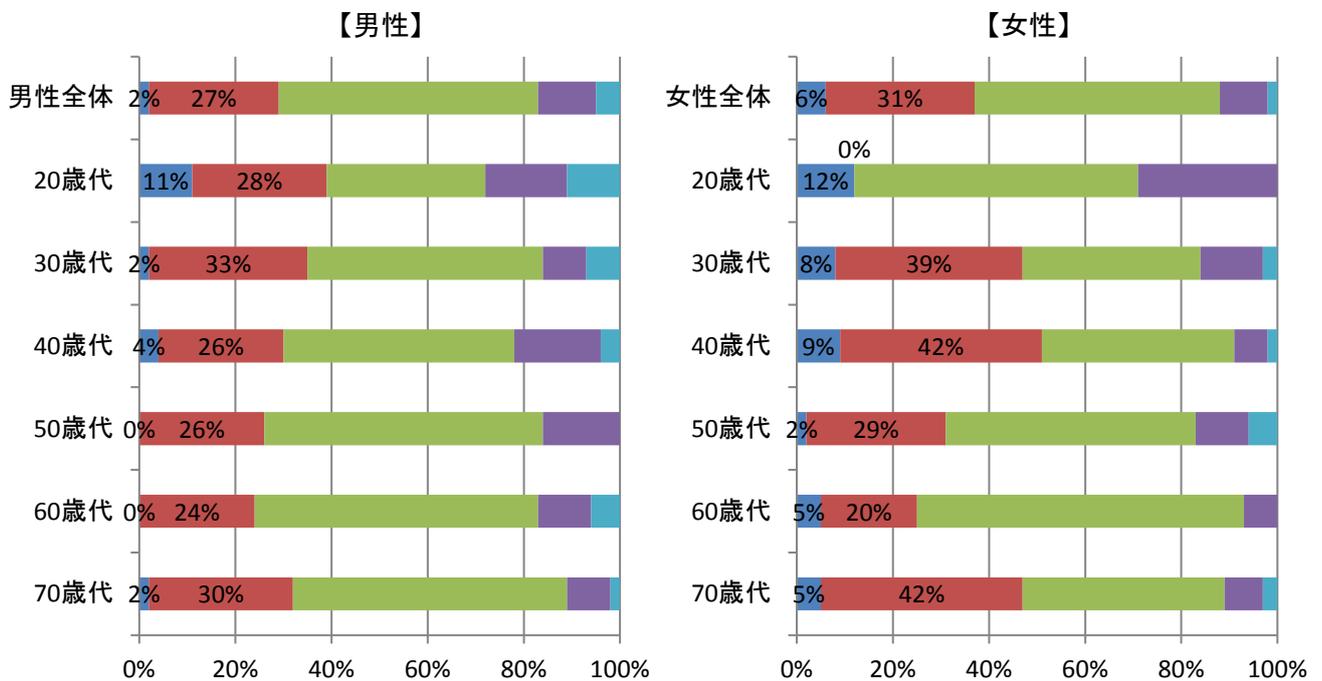
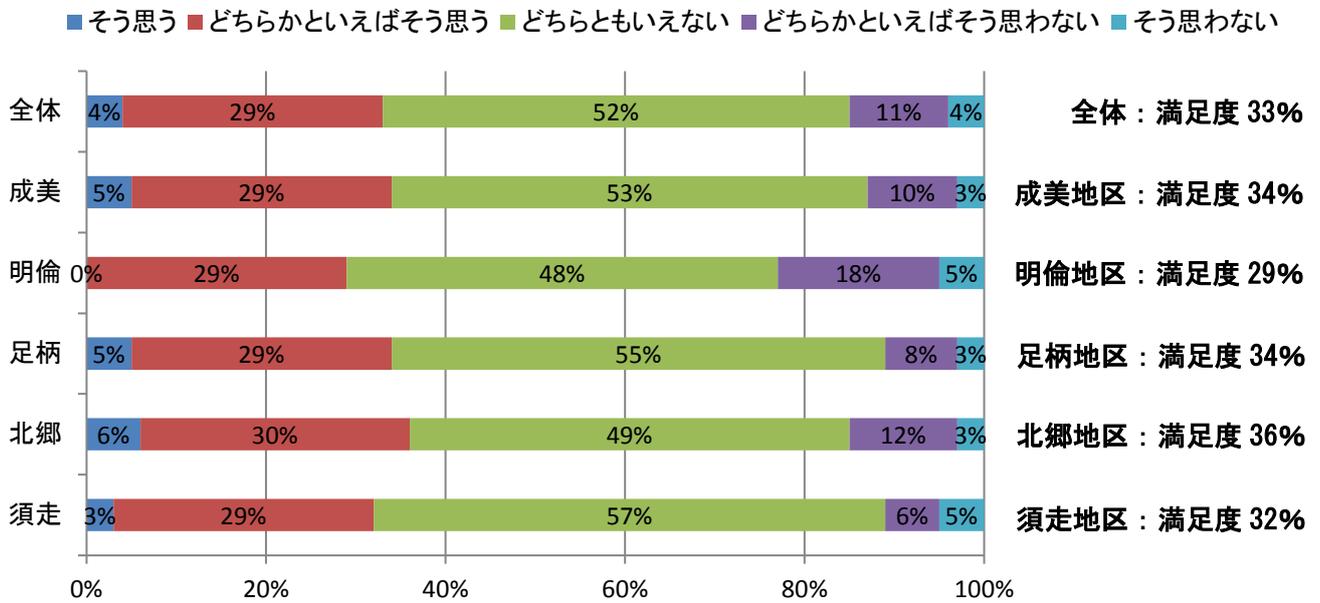


地区別の比較では、北郷地区の満足度がやや高く、明倫地区の満足度が低い結果となっています。また全体的に、「どちらともいえない」と回答する方の割合が高いです。男女（年齢）別の比較では、男性に比べ女性の方がやや満足度が高い傾向にあり、特に30歳代女性と40歳代女性の満足度が高くなっています。

問 8 - (3 1) 「地域間交流や国際交流が活発に行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 33%

上記の値は、前回の27%から今回の33%に6%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

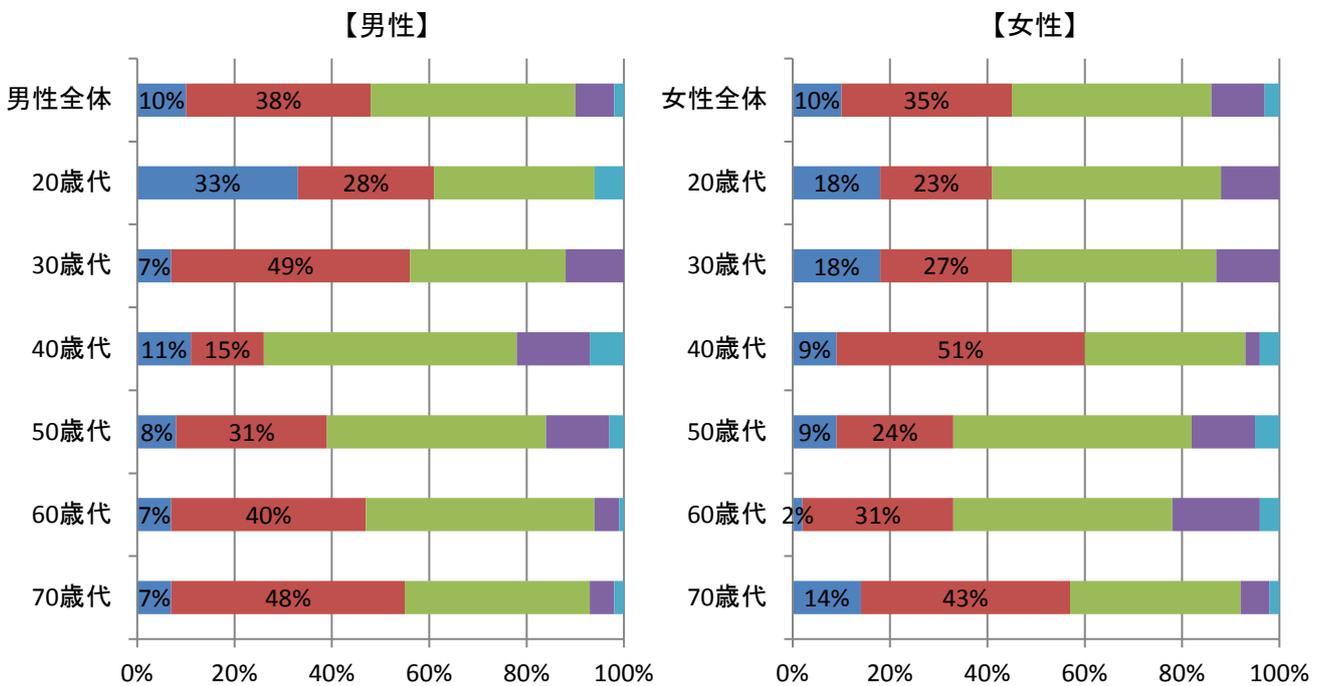
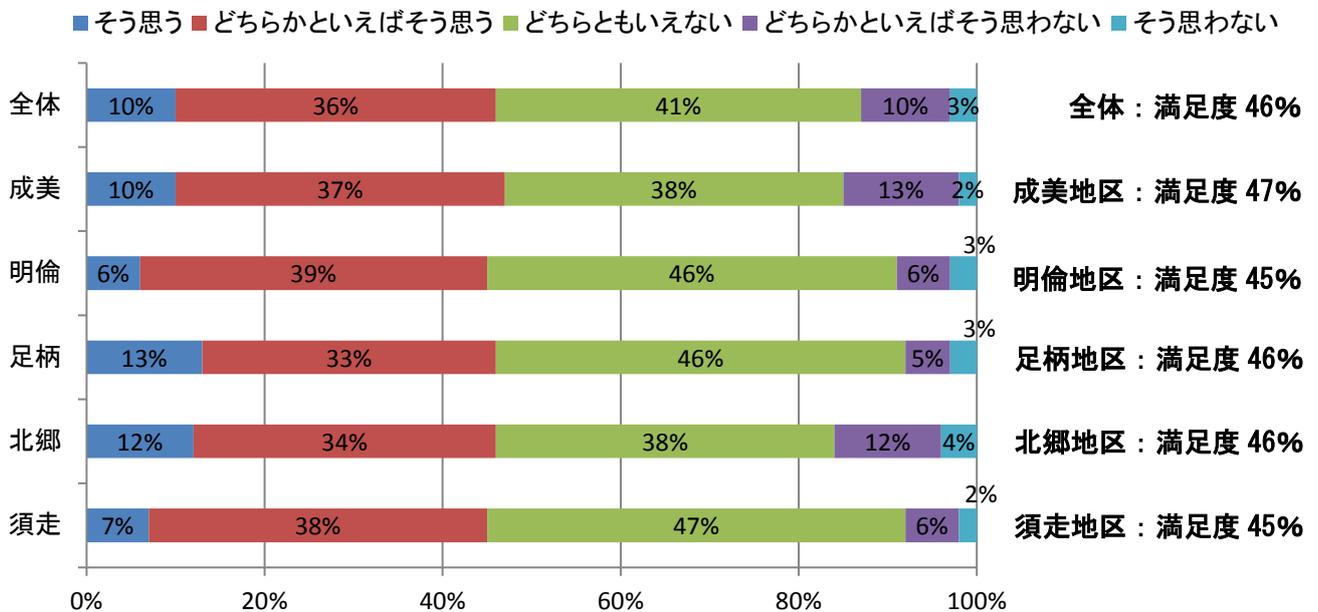


地区別の比較に大きな差はありませんが、明倫地区における満足度がやや低く、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を選択している人も多いです。また全地区に共通して、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高くなっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度はやや高いですが、20歳代女性の満足度が非常に低くなっています。

問 8 - (3 2) 「普段の生活の中で、男女が平等である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 46%

上記の値は前回調査時と同様の 46% となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

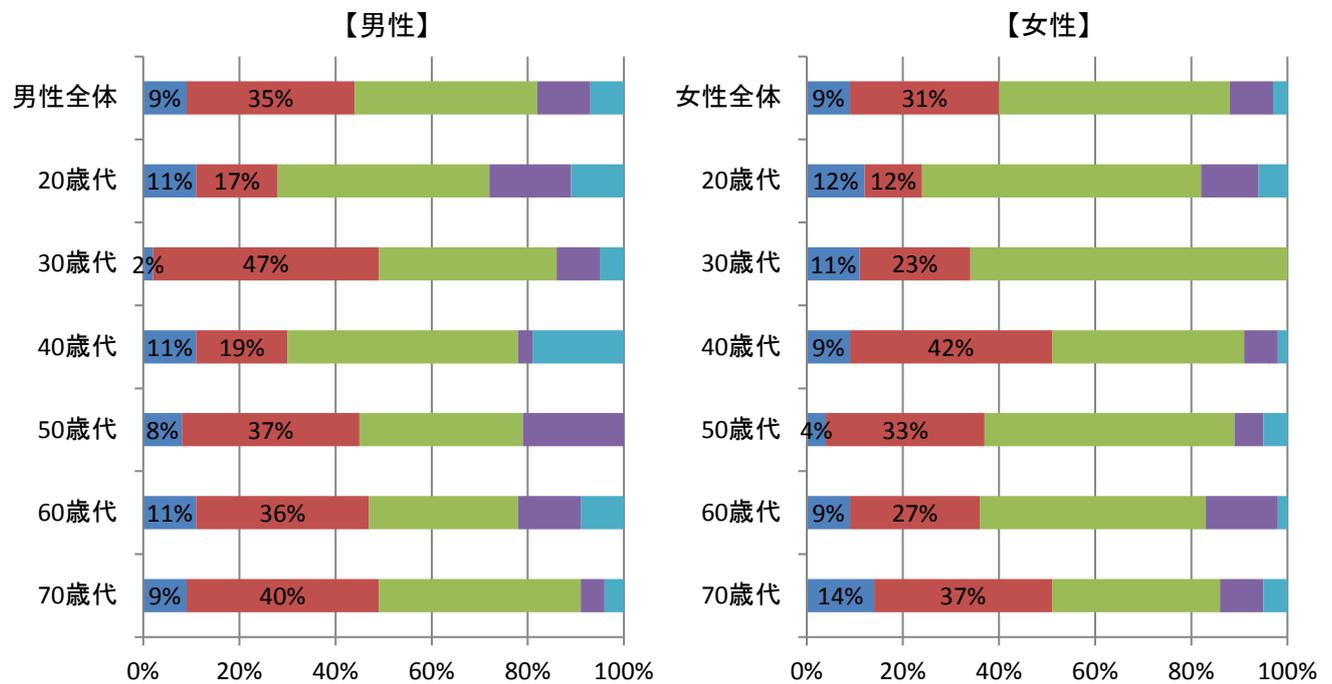
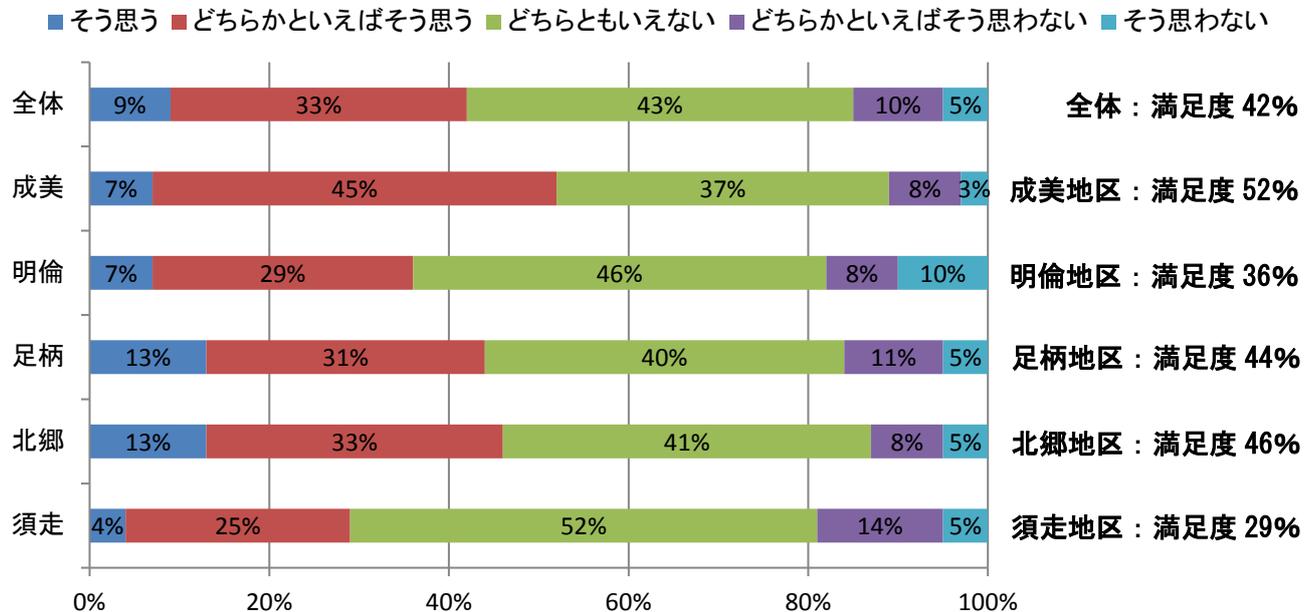


地区別の比較では大きな差はありませんが、男女（年齢）別の比較では、かなり大きな差が出ています。男性で最も満足度が低いのは 40 歳代ですが、逆に女性は 40 歳代が最も高い満足度となっています。また、男性は 20 歳代と 30 歳代の満足度が高いですが、逆に女性は男性に比べてやや低い傾向にあります。

問 8 - (3 3) 「企業誘致を活発に進めている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 42%

上記の値は、前回の 30%から今回の 42%に 12%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



地区別の比較では、成美地区の満足度が最も高く、次いで北郷地区、足柄地区の順となっています。また明倫地区と須走地区の満足度が低く、特に須走地区の満足度はかなり低くなっています。男女（年齢）別の比較では、女性より男性の方が満足度は高い傾向にあります。40歳代のみ女性の方が満足度は高いです。また、男女ともに20歳代の満足度が低い傾向にあります。

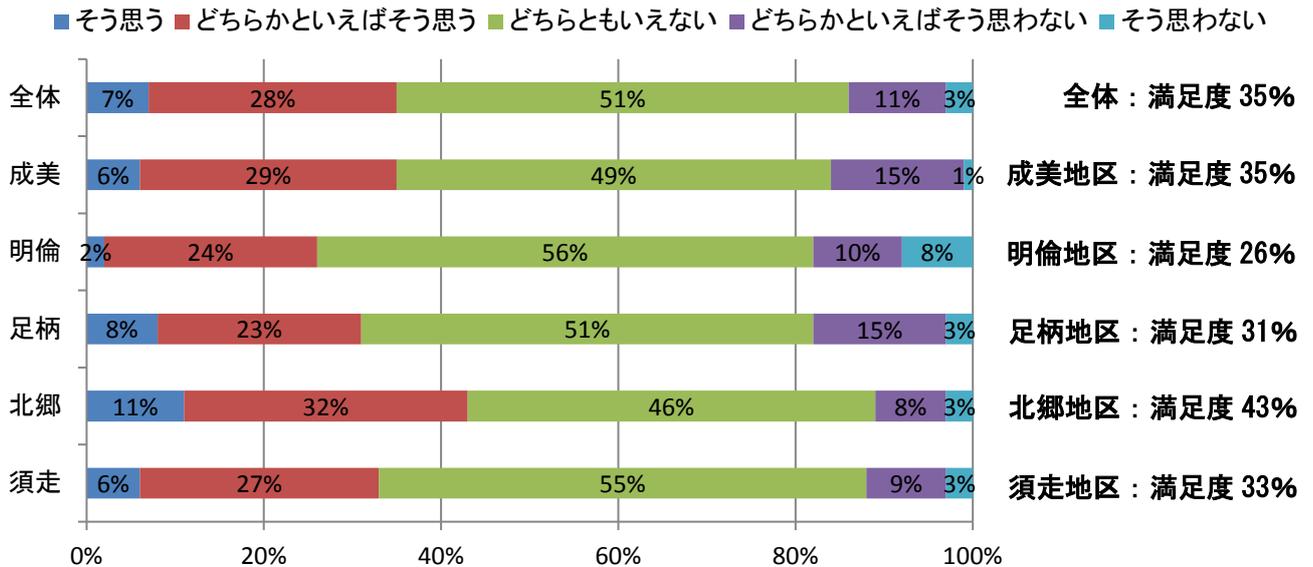
問8－(34) 「小山町が“農業”の活性化に取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 35%

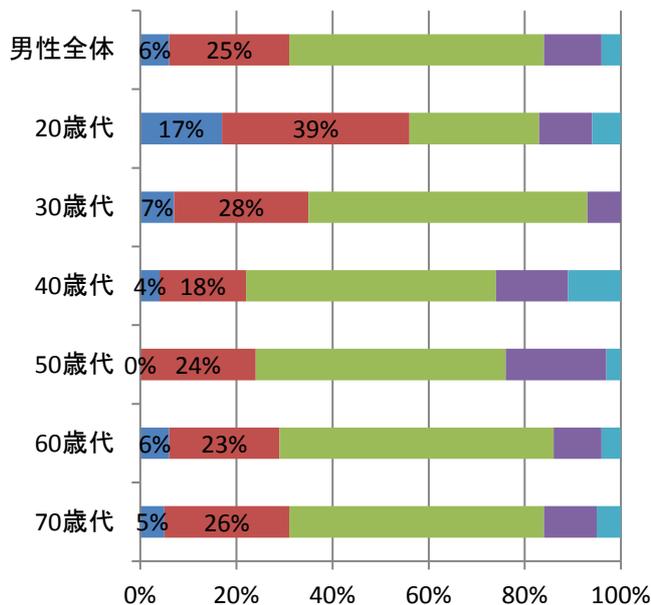
上記の値は、前回の24%（参考値）から今回の35%に11%増加しています。

（※なお、前回調査時は「小山町が“農林業”の活性化に取り組んでいる」という設問であり、今回から“農業”に特化した設問としているので、前回の数値はあくまでも「参考値」としてしています。）

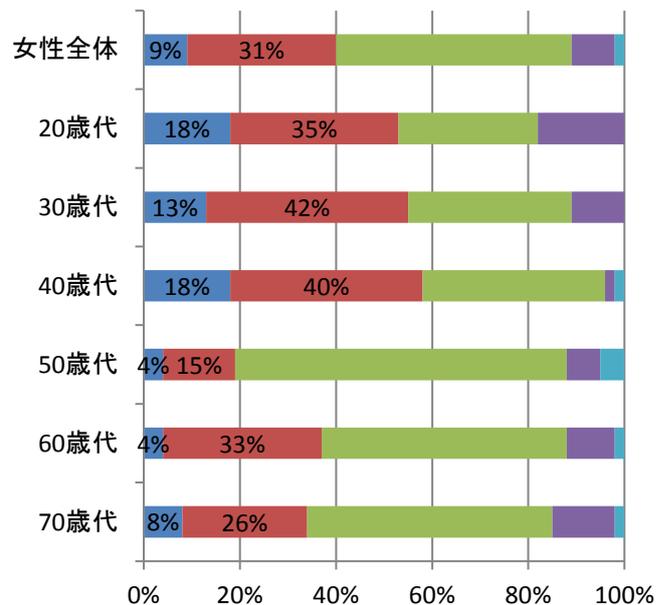
全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】



地区別の比較では、北郷地区の満足度が高く、明倫地区が低いという結果が出ています。また、全ての地区に共通して、「どちらともいえない」を選択する人の割合がほぼ半数を占めています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が高い満足度を示す年齢層が多く、特に20歳代から40歳代のグラフを比べると、明らかに女性の方が満足度が高い傾向にあります。

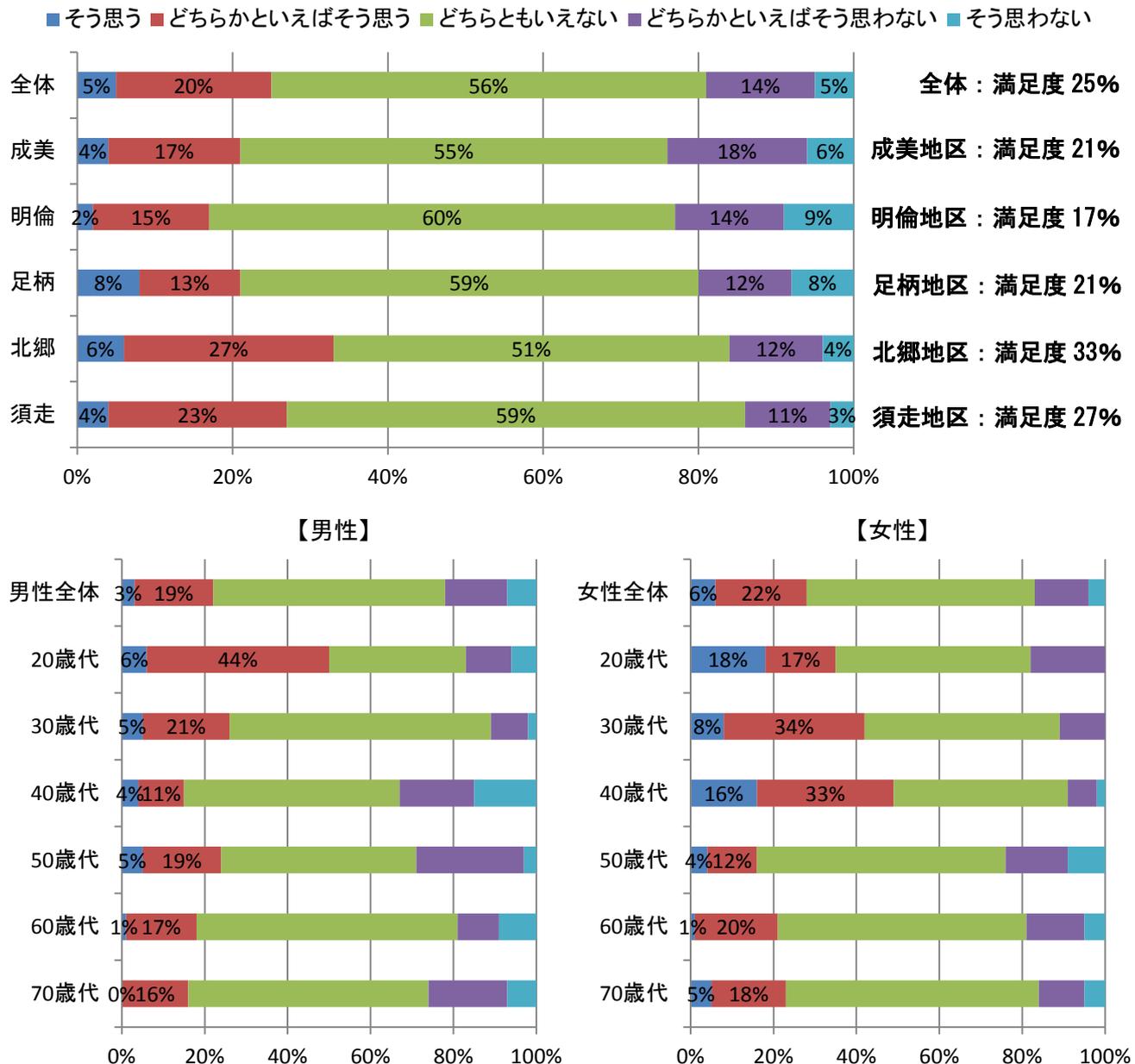
問8－(35) 「小山町が“林業”の活性化に取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 25%

上記の値は、前回の24%（参考値）から今回の25%に1%増加しています。

（※なお、前回調査時は「小山町が“農林業”の活性化に取り組んでいる」という設問であり、今回から“林業”に特化した設問としているので、前回の数値はあくまでも「参考値」としています。）

全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

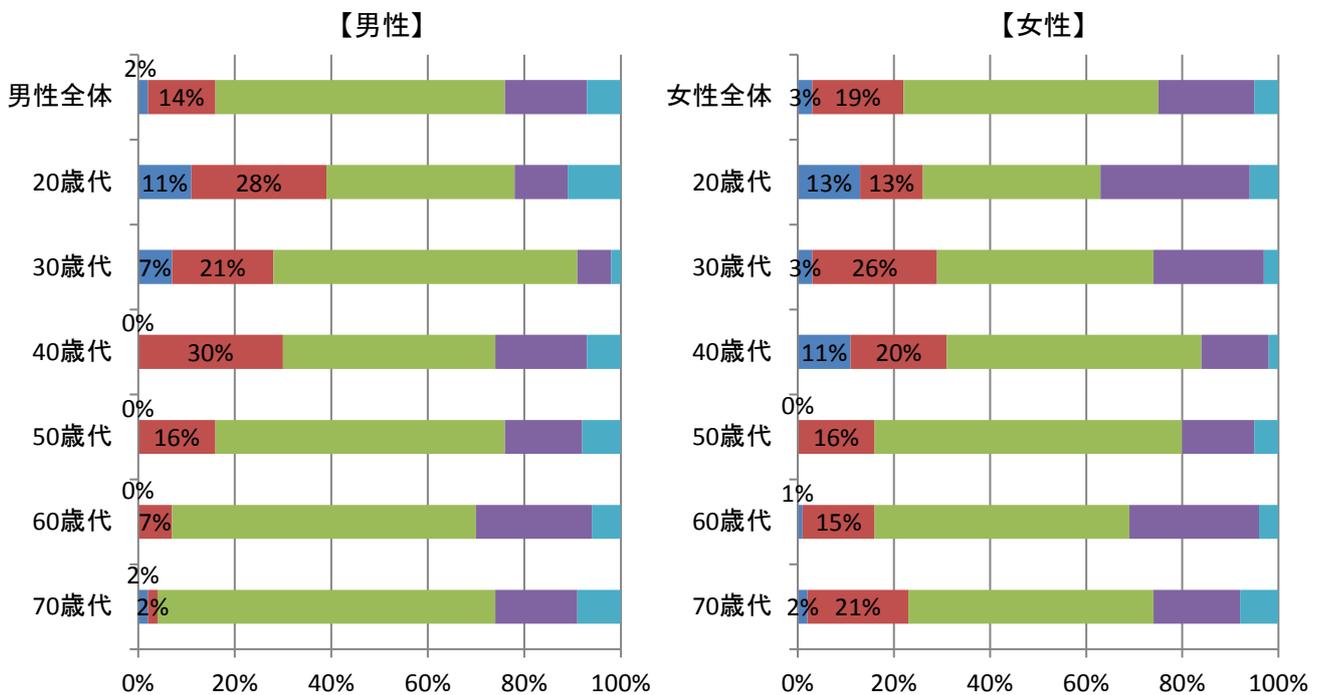
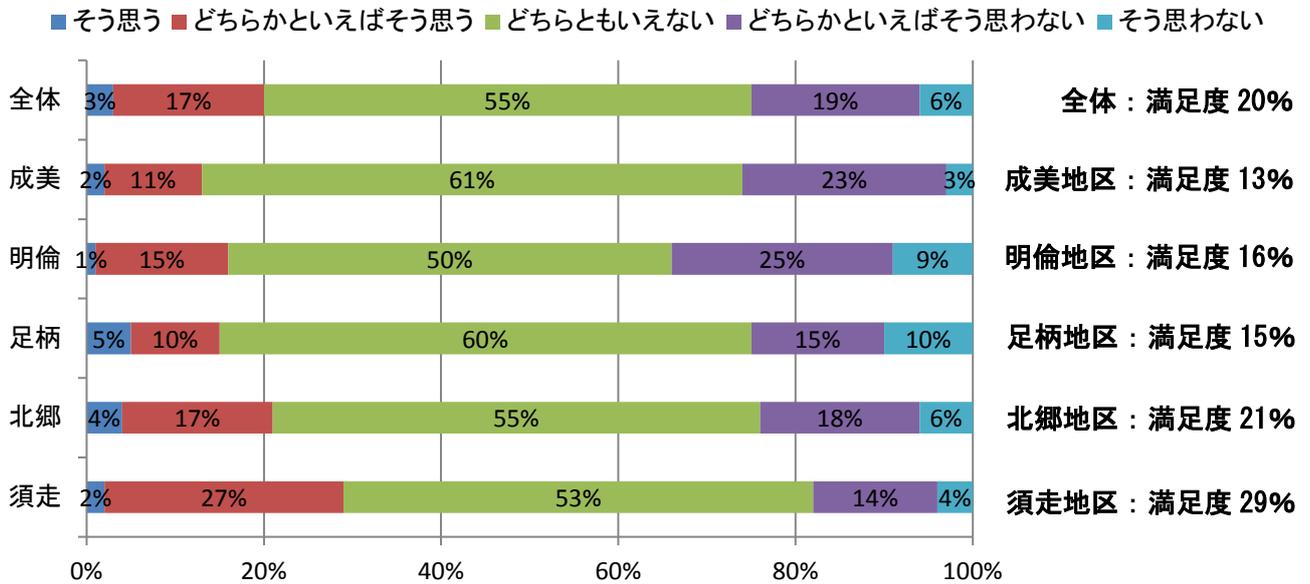


地区別の比較では、北郷地区の満足度が高く、明倫地区の満足度が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性は20歳代、女性は20歳代から40歳代といった、比較的若い世代で満足度が高い傾向にあります。また、地区別比較及び男女（年齢）別比較の両方において、「どちらともいえない」を選択する人が、かなり多い傾向にあります。

問 8 - (3 6) 「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 20%

本項目は、今回から導入された調査内容であるため、前回との比較はありません。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

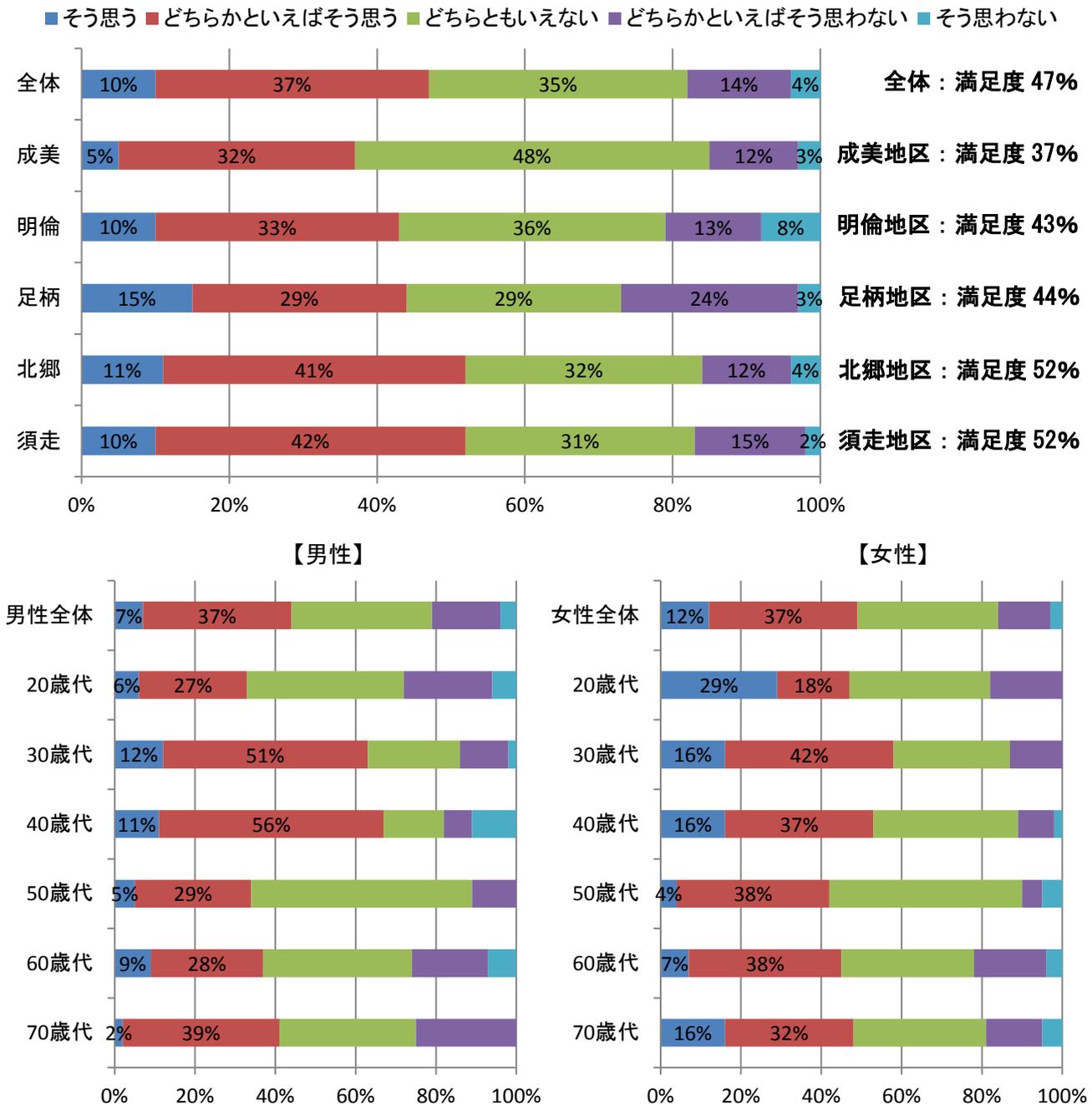


地区別の比較では、須走地区の満足度がやや高いものの、全体としては20%という低い値になっています。男女（年齢）別の比較では、ともに20歳代から40歳代までの比較的若い世代でやや高い満足度となっていますが、全体的には低い値となっています。また、全ての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高くなっています。

問 8 - (3 7) 「金太郎生誕の地おやま」のPRが行われている

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 47%

本項目は、今回から導入された調査内容であるため、前回との比較はありません。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

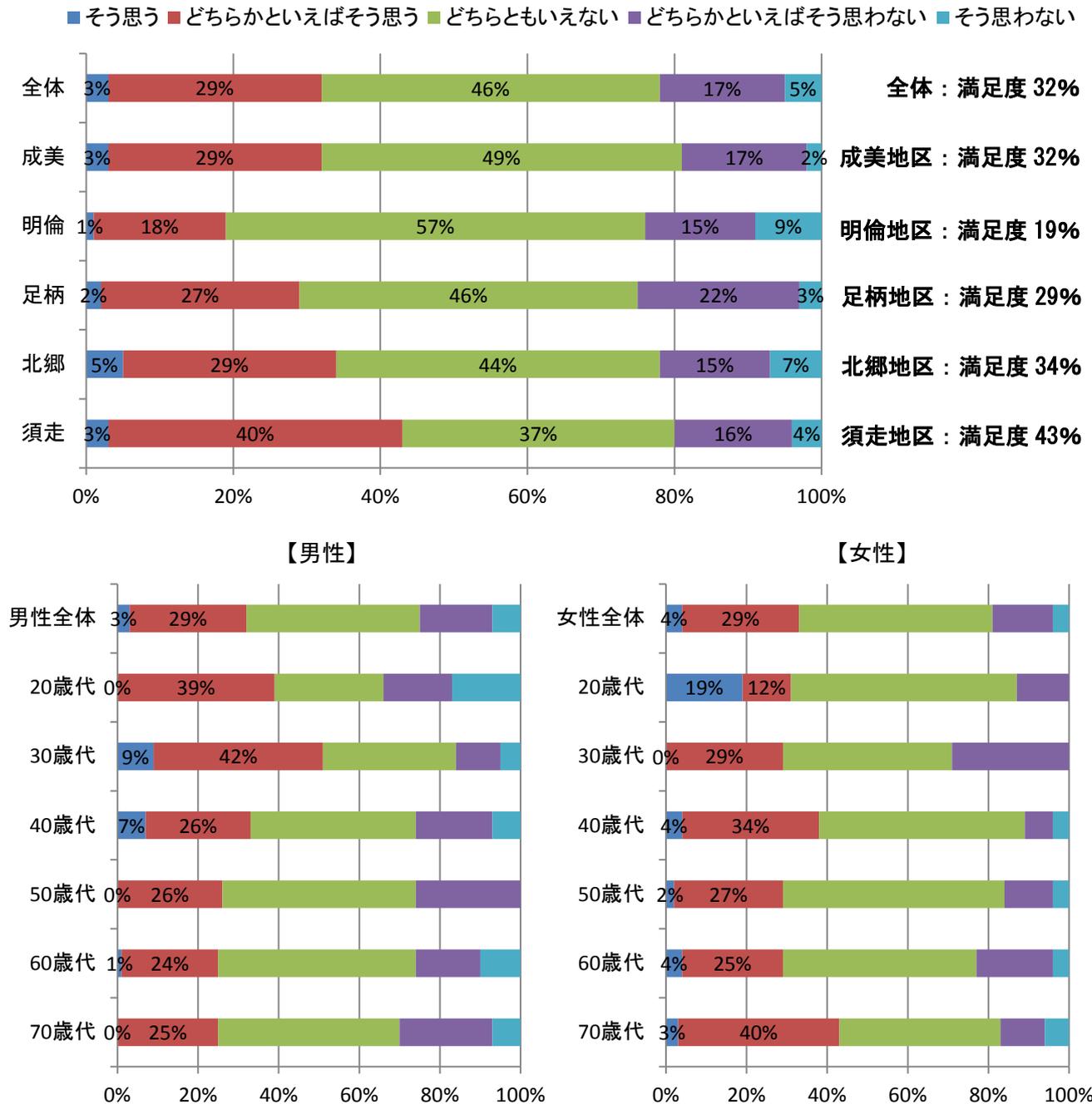


地区別の比較では、北郷地区と須走地区の満足度が高く、成美地区が低い結果となっています。男女（年齢）の比較では、2つのグラフは同じような傾向を示していて、ともに30歳代と40歳代の満足度がやや高い傾向となっています。

問 8 - (3 8) 「富士山須走口について情報発信が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 32%

本項目は、今回から導入された調査内容であるため、前回との比較はありません。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

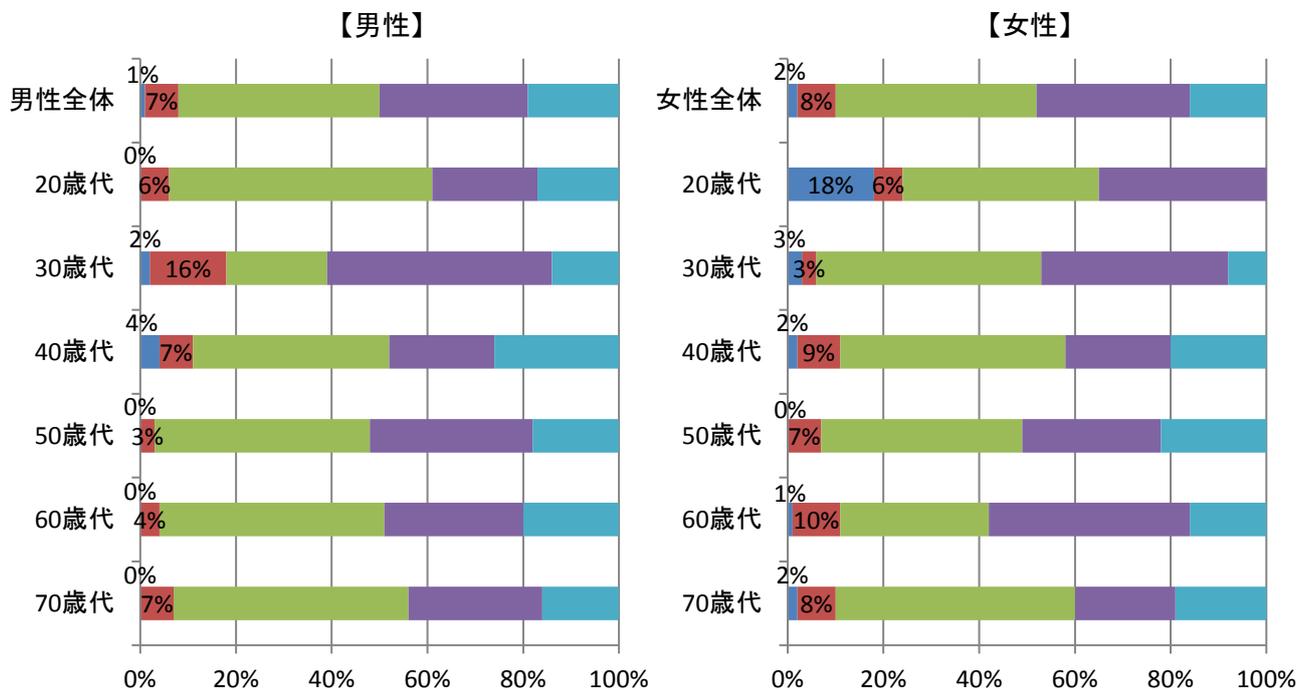
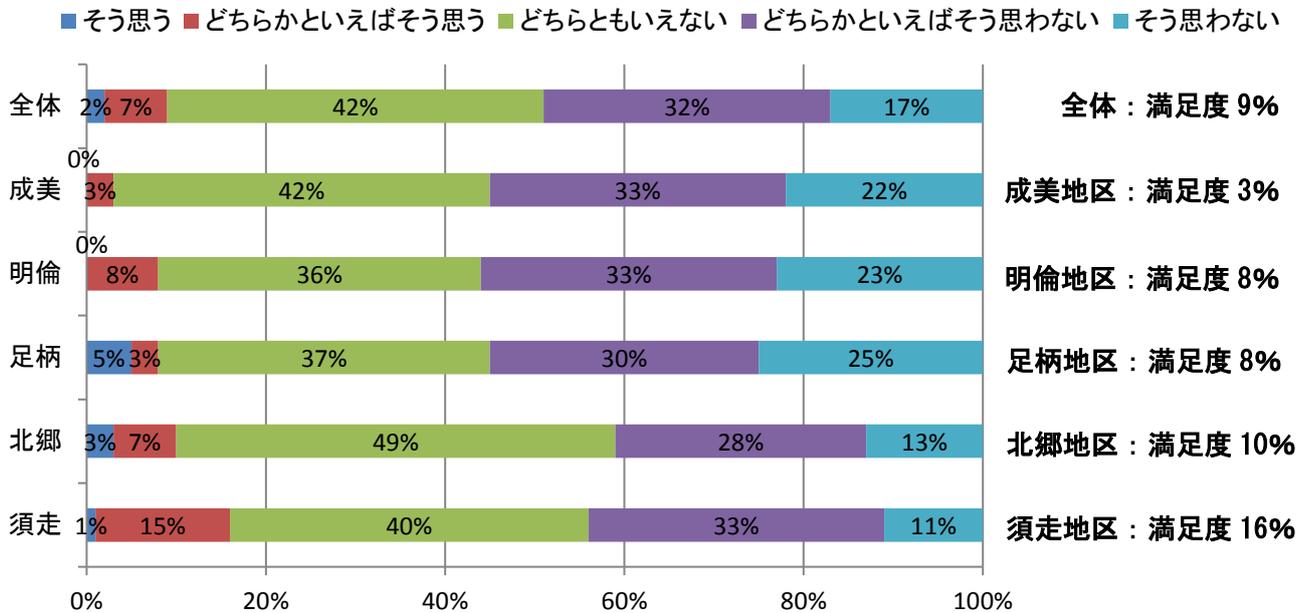


地区別の比較では、須走地区の満足度が高く明倫地区が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、30歳代男性と70歳代女性を除いて、全体的に低い結果となっています。また、特に女性の場合、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高くなっています。

問8－(39) 「賑わいのある商業地づくりを行っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 9%

上記の値は、前回の6%から今回の9%に3%上昇しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

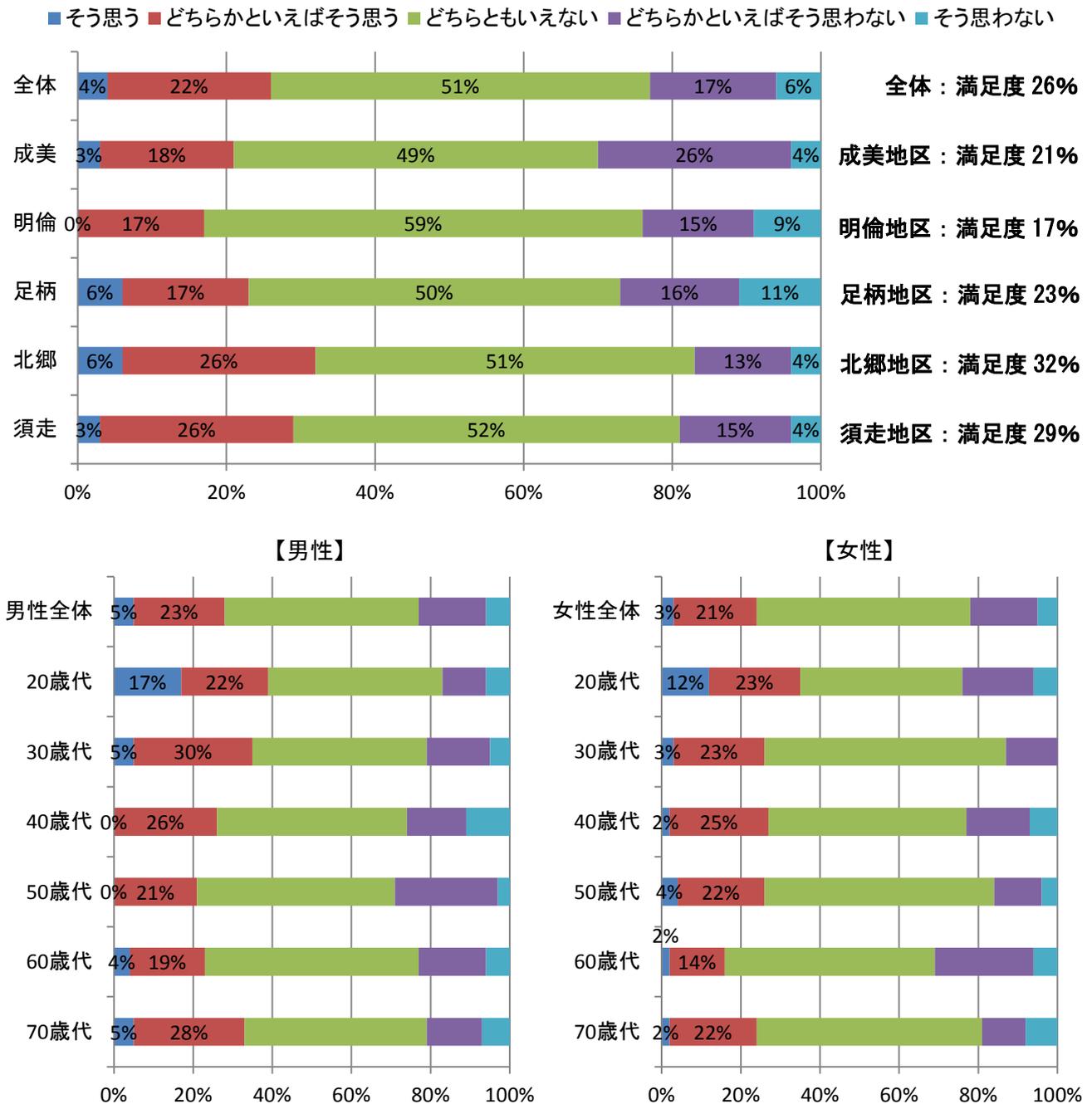


地区別の比較では、全体的に満足度は低いですが、中でも成美地区の満足度の低さが目立ちます。男女（年齢）別の比較でも満足度は全体的に低く、「どちらかといえばそう思わない」及び「そう思わない」を選択する人の割合が多い傾向にあります。

問8－(40) 「周辺市町村との連携が進んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 26%

上記の値は、前回の23%から今回の26%に3%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

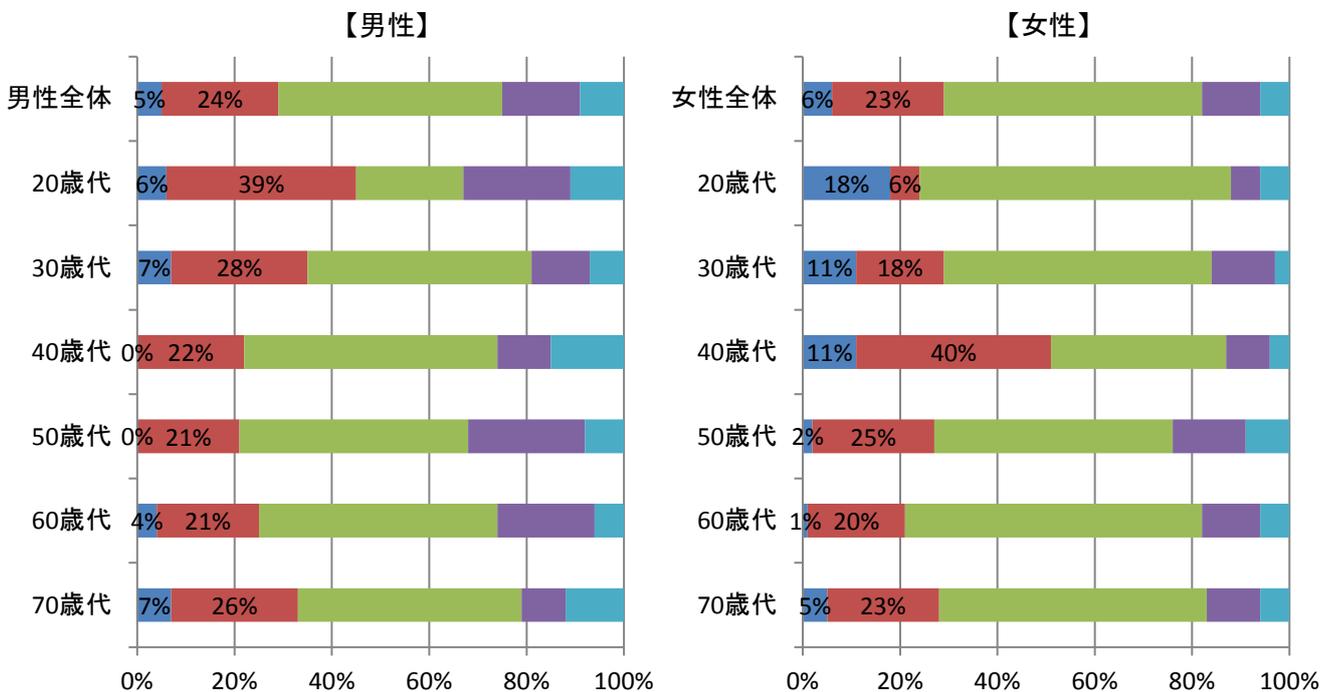
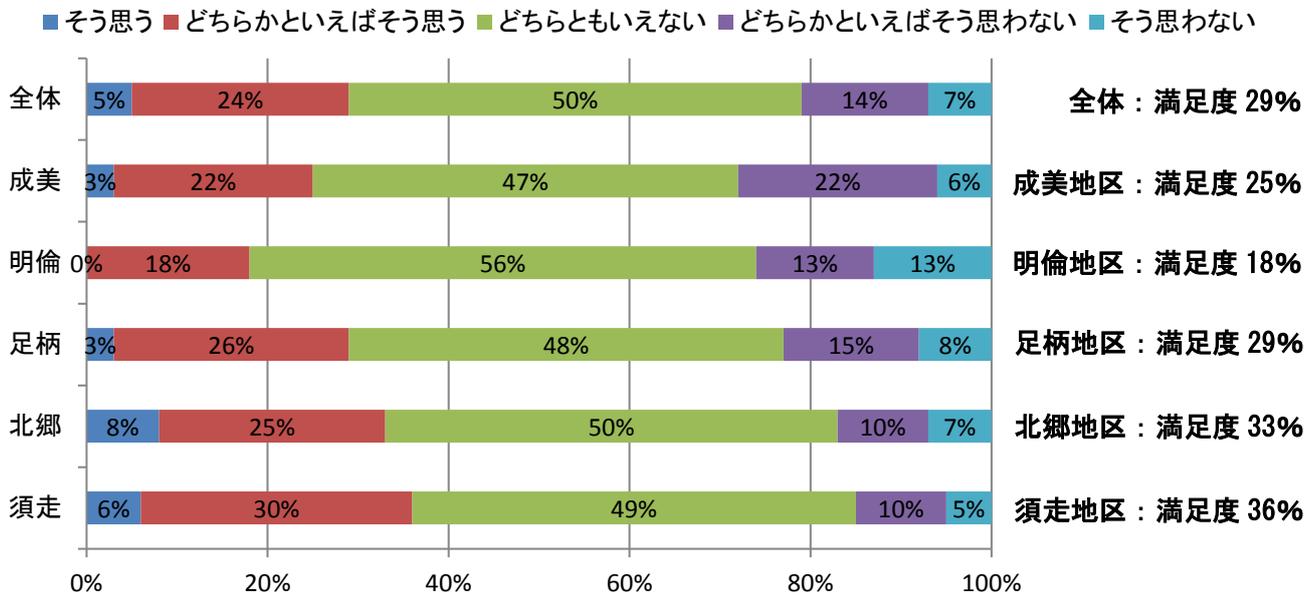


全体としての満足度は低く、地区別の比較でも大きな差はありませんが、中でも明倫地区の満足度が低くなっています。男女（年齢）別の比較でも大きな差はなく、全体的に低い満足度となっています。また、全ての比較において「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問 8 - (4 1) 「町の財政運営が健全である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 29%

上記の値は、前回の28%から今回の29%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

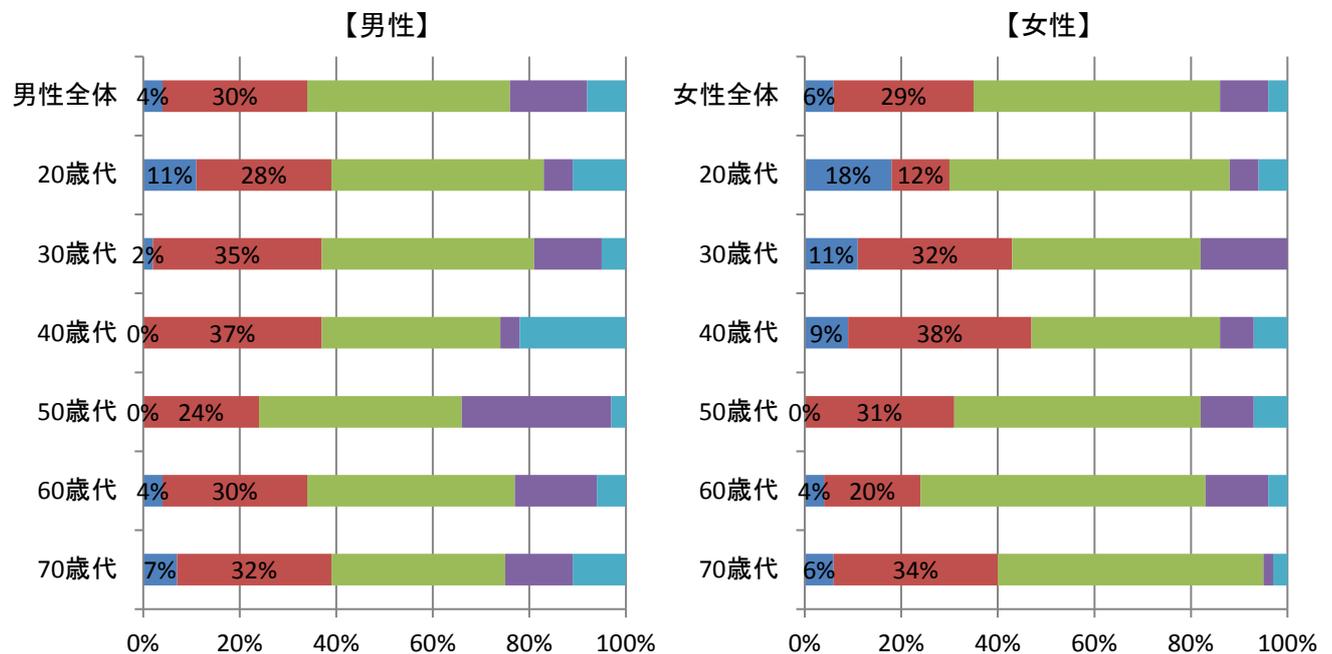
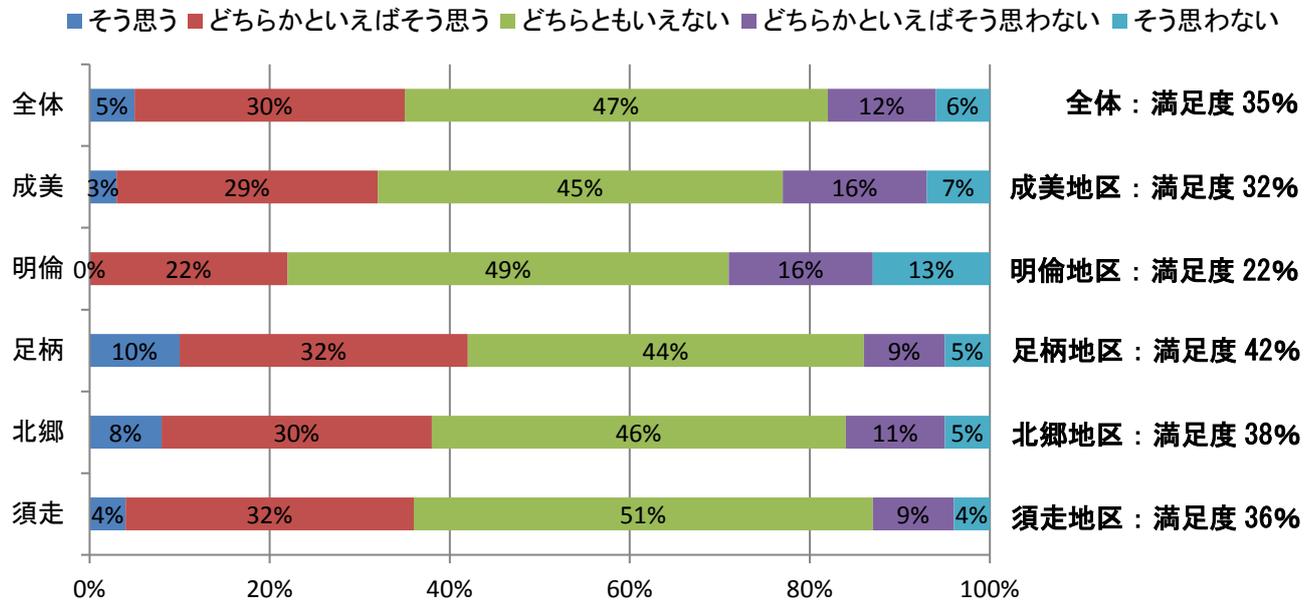


地区別の比較では、明倫地区の満足度が低い結果となっています。また、全地区において「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。男女（年齢）別の比較では40歳代女性のみが50%を超える満足度を示していますが、全体的に満足度は低い傾向にあります。

問8－(42) 「町民のための行政運営が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 35%

上記の値は、前回の30%から今回の35%に5%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

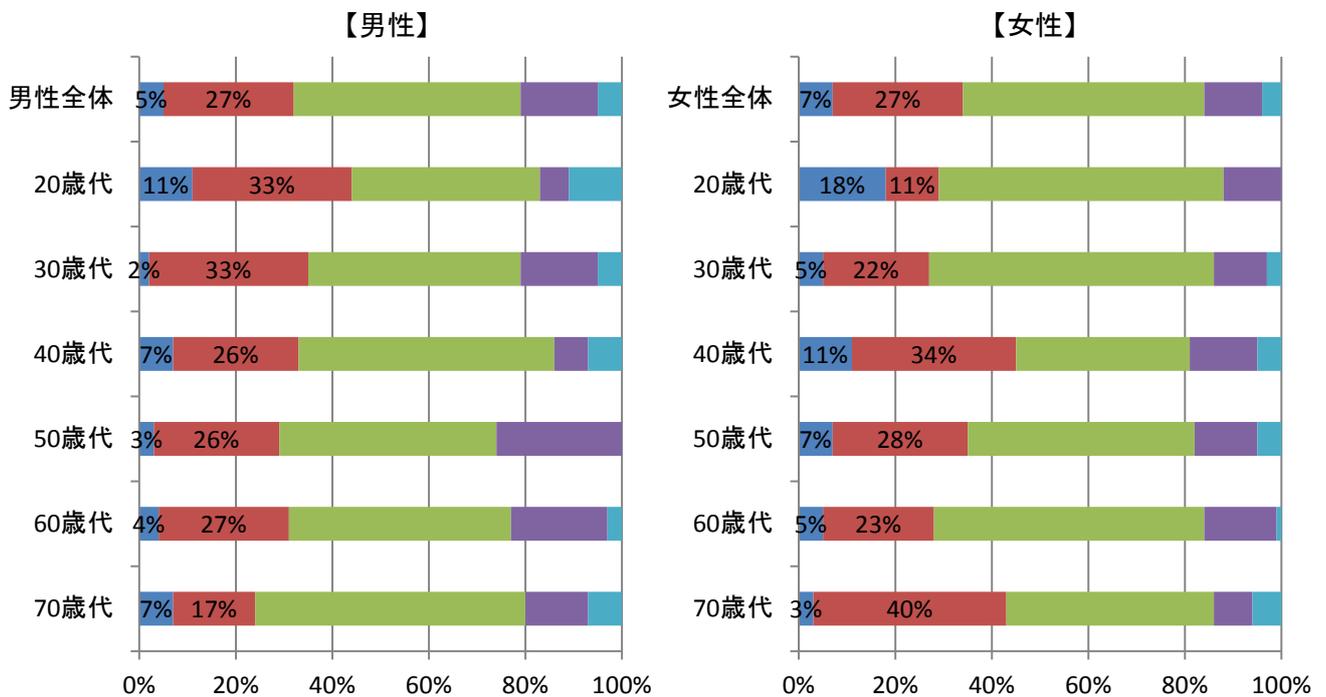
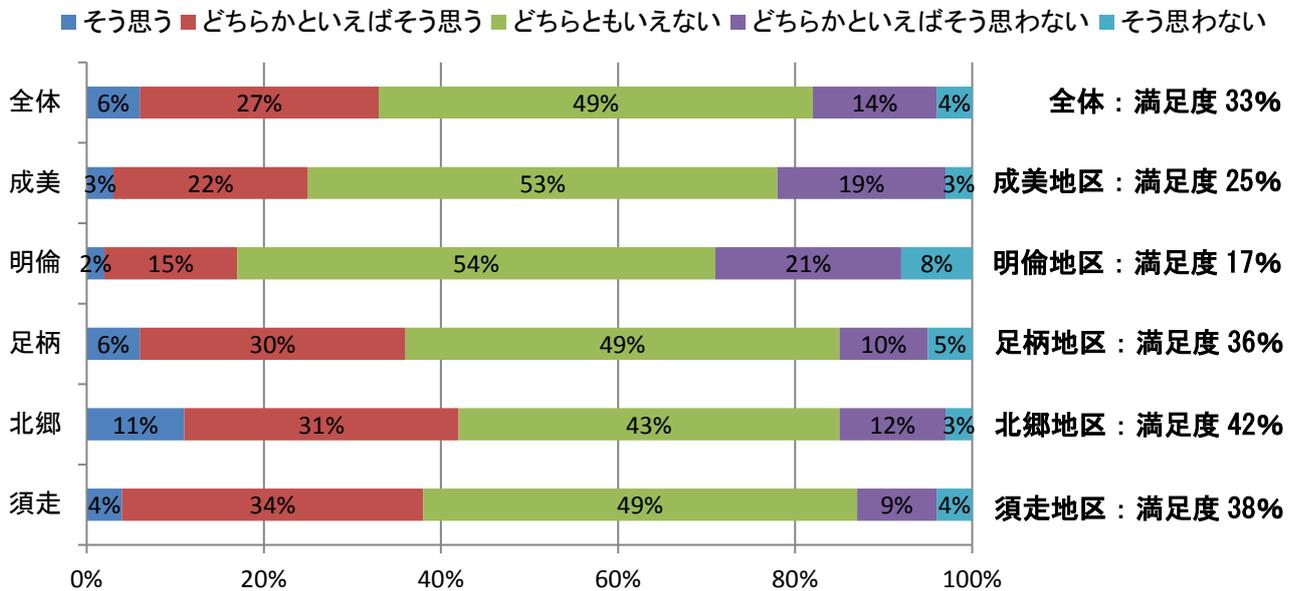


地区別の比較では、満足度は足柄地区が高く、明倫地区が低い結果となっています。また、どの地区でも「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8- (43) 「地域コミュニティが活発である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 33%

上記の値は、前回の29%から今回の33%に4%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

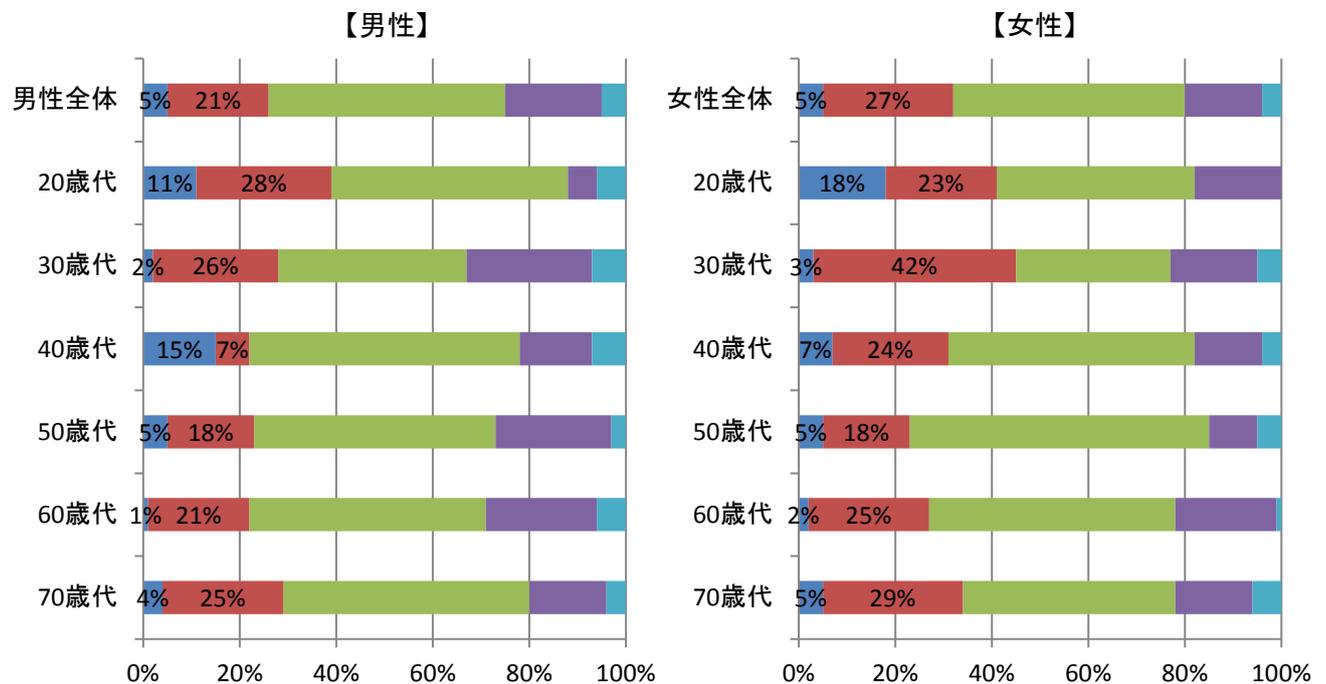
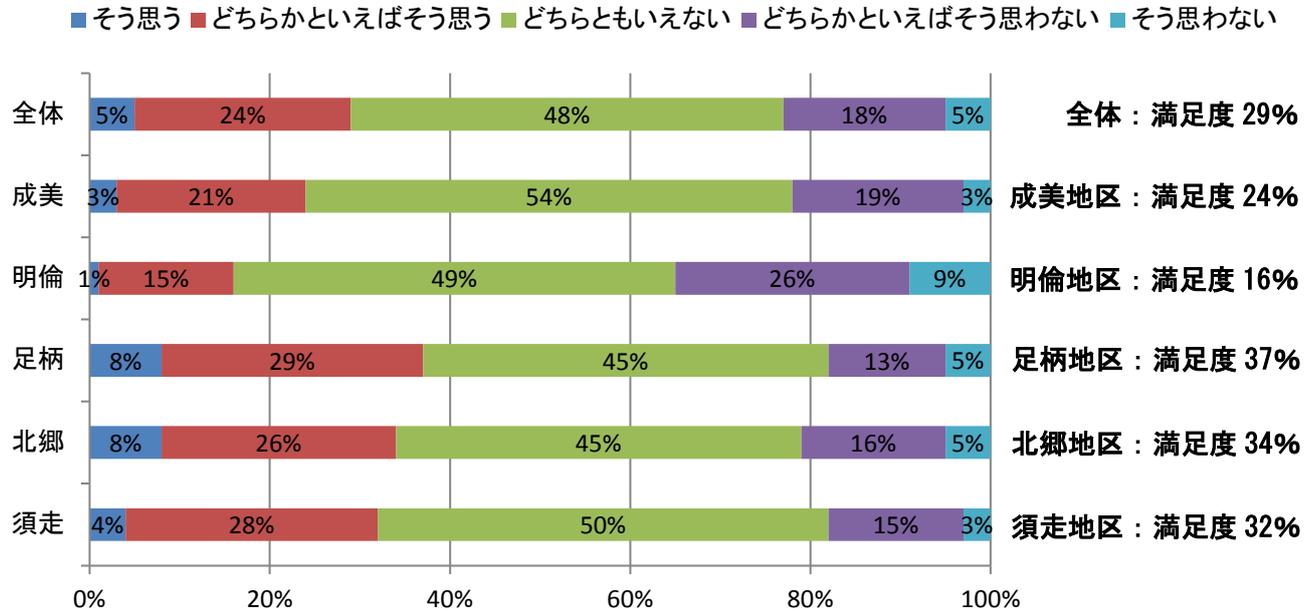


地区別の比較では、満足度は北郷地区が高く、明倫地区が低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方がやや高い満足度となっていますが、全体的に満足度は低いといえます。また、全ての比較において「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(44) 「町民が参加してまちづくりを進めている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 29%

上記の値は、前回の28%から今回の29%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

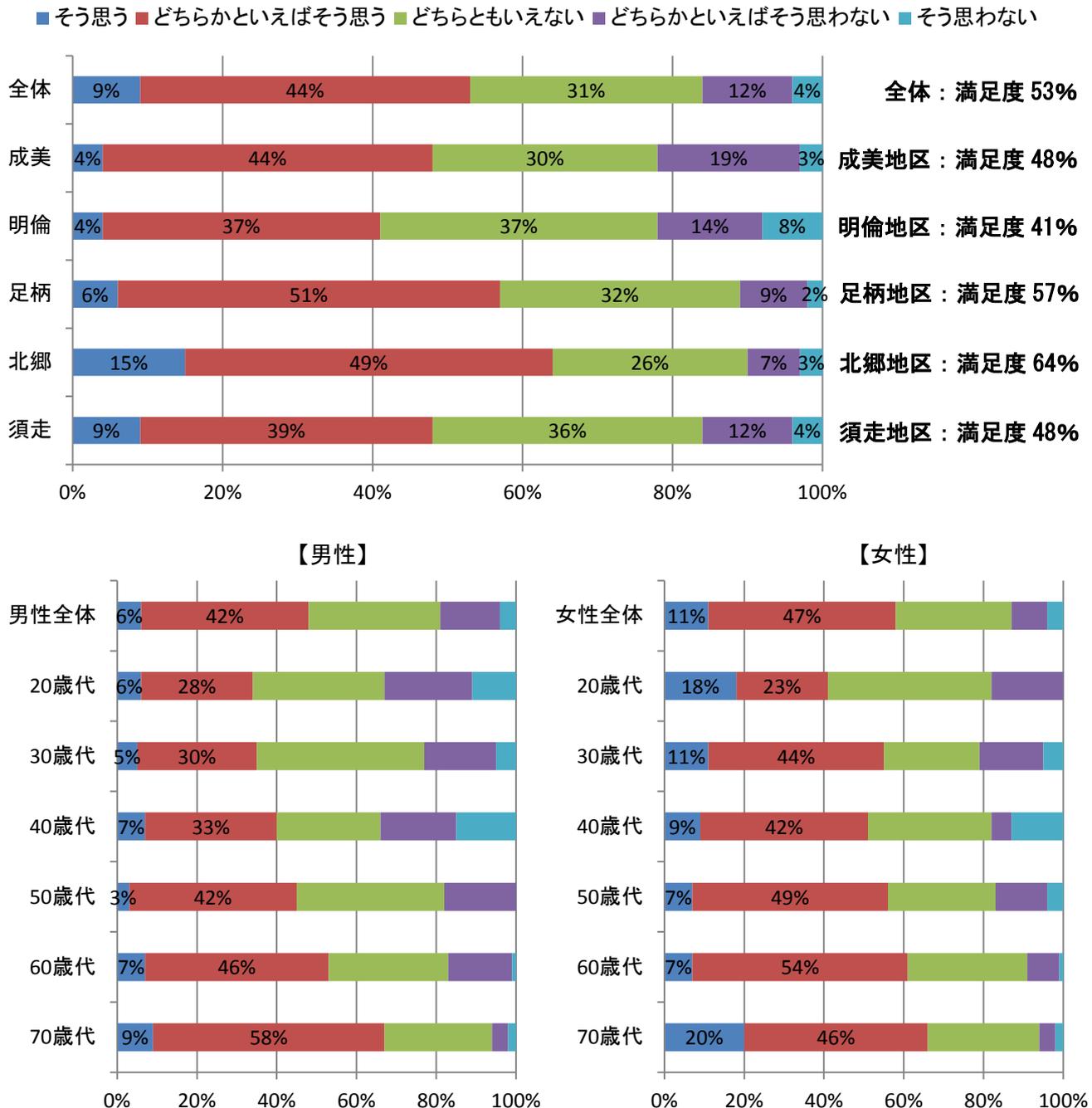


地区別の比較では、足柄地区の満足度が高く、明倫地区が低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、全体的に男性より女性の方が満足度はやや高い傾向にあり、また、男女ともに若い世代で満足度がやや高くなっています。

問8－(45) 「役場からの必要な情報が伝わっている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 53%

上記の値は、前回の56%から今回の53%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



地区別の比較では、北郷地区の満足度が高く、明倫地区が低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに年齢を追うごとに満足度が増加する傾向になっています。

